

# 理研精神八十八年

資料編



## 目 次

年表 .....	1
役員・所長・センター長一覧 .....	6
経理の概況 .....	8
基礎科学研究等課題の推移 .....	10
科学講演会開催実績一覧 .....	17
年度別国別外国人研究者受入数 .....	20
年度別外来研究者等受入数 .....	24
国際協力の現状 .....	25
受賞一覧 .....	32
建物使用区分の概要 .....	52
組織の推移 .....	59
研究室の系統図 .....	61
認可予算及び定員の推移 .....	73

## 年表

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1911 (明治44)			カイザー・ヴィルヘルム協会 創立(独国)
1913 (大正2)	6. 高峰讓吉、米国から帰朝、「国民科学研究所」設立を提唱 6.24 「理化学研究所」設立協議会開催(設立委員 渋沢栄一 以下18名)		
1914 (大正3)			パナマ運河開通 第1次世界大戦勃発
1915 (大正4)	「理化学研究所創立」を決定 第37回帝国議会で法案 成立		アインシュタイン、一般相 対性原理を発表
1916 (大正5)	1.21 大隈重信内閣総理大臣宛に「理化学研究所」の設立計画 に際し政府の補助を建議 3.6 理化学を研究する公益法人の国庫補助に関する法律公布		
1917 (大正6)	1. 「(財)理化学研究所ノ事業ト産業界」(附、重要ナル研究 事項ノ例)発行 3.19 財団法人理化学研究所に対する民間寄付金の申込済総 額218.7万円 3.20 財団法人理化学研究所設立 設立認可農商務省指令第3692号 所在地東京市本郷区 3.28 総裁 伏見宮貞愛親王殿下 副総裁 理博 菊池大麓 副総裁 渋沢栄一 4.26 皇室より御下賜金(毎年10万円ずつ、10年間) 6.29 初代所長 理博 菊池大麓 物理学部長 理博 長岡半太郎 化学部長 理博 池田菊苗 10.12 第2代所長 工博 古市公威		ロシア革命
1918 (大正7)			第1次世界大戦終結
1921 (大正10)	9.30 第3代所長 工博 大河内正敏(主任研究員制度の設置)		
1922 (大正11)	1.1 物理学及び化学の2部制から主任研究員の名を冠した研 究室制が布かれ、14研究室が発足 5.8 理研欧文報告創刊 6.7 理研彙報創刊		
1923 (大正12)	6.30 第2代総裁 伏見宮博恭王殿下	(関東大震災)	
1927 (昭和2)	11.25 理化学興業(株)創立 (理研の研究を支援し、研究と発明から新産業を創出する 会社で、後の理研産業団の中核となった)		
1931 (昭和6)			国際学術連合(ICSU)設立
1933 (昭和8)	3.14 三菱造船(株)より同社研究所(駒込東洋文庫裏)の建物 及び諸設備等一切及び岩崎家より土地9,276.6㎡ (2,812坪)寄附		
1937 (昭和12)	4. 小サイクロトロン(26インチ、28トン)完成	(日中戦争勃発)	
1939 (昭和14)			国立科学研究センター (CNRS)設立(仏国) 第2次世界大戦勃発
1941 (昭和16)		(太平洋戦争勃発)	
1942 (昭和17)	3.20 創立25周年式典開催 「研究二十五年」発行		
1943 (昭和18)	12. 大サイクロトロン(60インチ、210トン)完成		
1945 (昭和20)	8.8~ 15 仁科芳雄らは新型原子爆弾と確認、広島・長崎を相次い で被害調査 11.24 サイクロトロン2基は、米国占領軍により破壊され東京湾 に投棄	8月6日広島に原爆 8月9日長崎に原爆 (ポツダム宣言受託、太 平洋戦争終結)	第2次世界大戦終結

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1946 (昭和21)	11.11 第4代所長 理博 仁科芳雄	日本国憲法公布	
1947 (昭和22)	1. 連合軍最高司令官の指令による過度経済力集中排除の措置(財閥解体指令)により理研産業団は解体	財閥解体	
	11.17 「財団法人理化学研究所に関する措置に関する法律」公布施行		
1948 (昭和23)	3.1 「財団法人理化学研究所に関する措置に関する法律」に基づき(財)理研は解散 株式会社科学研究所(第1次)設立、 初代社長 理博 仁科芳雄	GHQ, 経済安定9原則を指令	カイザー・ヴィルヘルム協会(独国)解散、マックス・プランク協会設立(独国)
1949 (昭和24)		湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞	
1950 (昭和25)			科学財団(NSF)設立(米国)
1951 (昭和26)	2. 第2代社長 阪谷希一		独研究協会(GRA)設立(独国)
1952 (昭和27)	8.4 (株)科研(第1次)の研究部門は分離独立して、 (株)科学研究所(第2次)を設立、 初代会長 工博 亀山直人 初代社長 村山威士 (株)科研(第1次)の生産部門は科研化学(株)(現科研製薬(株))に名称変更	通産省工業技術庁設置	
	12.29 サイクロトロン(小型)完成		
1954 (昭和29)			欧州核科学研究センター(CERN)設立
1956 (昭和31)	2.4 (株)科学研究所法により(株)科学研究所(第3次)設立、半官半民の会社となった 初代会長 工博 亀山直人 初代社長 村山威士	原子力委員会設置 科学技術庁設置 日本原子力研究所設立 原子燃料公社設立 金属材料技術研究所設置	
	11. 第2代会長 村山威士 第2代社長 工博 佐藤正典		
1957 (昭和32)		放射線医学総合研究所発足 日本科学技術情報センター発足 南極昭和基地建設	スプートニク打ち上げ(ソ連) 国際地球観測年(IGY)
1958 (昭和33)	2.19 理化学研究所法案(内閣提出)を衆参両議院に提出	第1回科学技術白書発表	欧州原子力共同体(EURATOM)設立 航空宇宙局(NASA)設立(米国)
	10.21 理研法に基づき(株)科研(第3次)は解散、理化学研究所(特殊法人)設立、 初代理事長 長岡治男		
1959 (昭和34)		科学技術会議設置	英国科学技術省設立 宇宙ロケット月に到着(ソ連)
1960 (昭和35)		短距離離着陸(STOL)実験機「飛鳥」初飛行	国立研究センター設立(独国)
1961 (昭和36)	7.1 開発部門は、分離独立して新技術開発事業団として発足	新技術開発事業団設立 日米科学協力委員会第1回会合開催	有人宇宙飛行に成功(ソ連)
1962 (昭和37)	10.21	YS-11試験飛行に成功	
1963 (昭和38)	3.30 埼玉県大和町(現和光市)の土地22万3,641㎡(約6万7,700坪)を政府より現物出資	国立防災科学技術センター発足	OECD科学技術担当大臣会合発足
1965 (昭和40)		朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞	
1966 (昭和41)	10. 160cmサイクロトロン完成	無機材質研究所発足	
	12.17 第2代理事長 理博 赤堀四郎		
1967 (昭和42)	6.5 主たる事務所の所在地「文京区本駒込」を「大和町」へ変更	動力炉・核燃料開発事業団設立	
1968 (昭和43)	10.18 明仁皇太子殿下行啓	第1回日独科学大臣会合開催	
	10. 「理研ニュース」創刊		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1969 (昭和44)		原子力船「むつ」進水 宇宙開発事業団設立	アポロ計画による月の有人探査・アポロ11号月面到着(米国) コンコルド処女飛行(英国)
1970 (昭和45)	4.15 第3代理事長 理博 星野敏雄	初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功	
1971 (昭和46)		海洋科学技術センター設立 科学技術会議5号答申(総合的科学技術の基本について)	マルス3号が火星に難着陸「がんの10年」(米国)
1972 (昭和47)	3.31 板橋分所(宇宙線研究室)の土地約3,819㎡(約1,100坪)が政府から現物出資	科学技術会議、ライフサイエンス懇談会設置	「成長の限界」(ローマクラブ)
1973 (昭和48)		江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞	OPEC原油生産削減(第1次オイルショック)
1974 (昭和49)	5.1 ライフサイエンス推進部を駒込に設置 11.16 理研OB会発足	第1回日仏科学技術協力混合委員会開催 サンシャイン計画発足	
1975 (昭和50)	4.16 第4代理事長 工博 福井伸二	日独科学技術協力協定にもとづく第1回合同委員会開催	遺伝子組み換えでアシロマの会議 欧州宇宙局(ESA)設立
1976 (昭和51)		「地震予知推進本部を設置」	
1977 (昭和52)	3.8 和光隣接地約1万㎡(約3,000坪)が政府より現物出資		
1978 (昭和53)	11.18 第1回科学講演会開催	航空・電子等技術審議会設置	
1979 (昭和54)		科学技術会議第8号答申(遺伝子組換え研究の推進について) エネルギー分野の研究開発の日米協力協定 組換えDNA実験指針ガイドラインを決定	
1980 (昭和55)	3. リニアック完成 4.22 第5代理事長 理博 宮島龍興 7.31 遺伝子組換え研究施設(P1~P4)を茨城県谷田部町に建設方針を決定	筑波研究学園都市概成	
1981 (昭和56)		創造科学技術推進制度(ERATO)発足 日米エネルギー協定にもとづく「光合成による太陽エネルギー転換プロジェクト」を取り決め 福井謙一ノーベル化学賞受賞	スペースシャトル初飛行(米国)
1982 (昭和57)	5.4 中国科学院と研究協力協定		
1983 (昭和58)	2.23 研究室業績レビュー開始		
1984 (昭和59)	1.30 パスツール研究所(仏国)と姉妹研究所 3.31 組換えDNA実験棟完成 5.3 連邦科学産業研究機構(オーストラリア)と研究協力協定 6.28 マックス・プランク協会(独国)と研究協力協定 10.1 ライフサイエンス筑波研究センター設置、初代所長 深田栄一	科学技術会議第10号答申(ライフサイエンスの研究開発基本計画) 科学技術会議11号答申(長期展望に立った科学技術の振興の基本方針について)	ESPRIT発足 ユーレカ計画(欧州研究協力機関・活動)発足
1985 (昭和60)		国際科学技術博覧会(科学万博つくば85)開催 臨時行政改革審議会が行革で答申	

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1986 (昭和61)	10.1 国際フロンティア研究システム発足、 初代システム長 理博 久保亮五	H-Iロケット打ち上げに成功 科学技術政策大綱閣議 決定 科学技術の国際化に関する 白書発行	スペースシャトルチャレン ジャー爆発事故(米国) JET推進研究所発足 (米国) チェルノブイリ原発事故
1987 (昭和62)	1.23 リングサイクロトロン完成	利根川進ノーベル生理学・ 医学賞受賞	持続可能な開発の概念を 提唱(ベラジオ会議)
	9.30 「理化学研究所と親しむ会」発足		
1988 (昭和63)	4.22 第6代理事長 理博 小田稔	科学技術庁フェローシップ 発足	国際熱核融合炉計画 (ITER) 発足 国際宇宙ステーション計画 “フリーダム”計画発足 ヒトゲノム機構(HUGO) 設立 スペシャル301条(米国) 気候変動に関する政府間 パネル:IPCCが設置 ベネチア・サミットでヒュー マン・フロンティア・サイエ ンス・プログラム提案
	6.30 P4 実験開始		
1989 (平成元年)	3.31 P4 実験終了		ヒューマン・フロンティア・ サイエンス・プログラム発 足
	4.1 埼玉大学と連携大学院(その後連携大学院は21校へ)		
	10.1 基礎科学特別研究員制度発足		
	10.5 徳仁皇太子殿下下行啓		
	10.25 技術評価応用庁(インドネシア)と研究協力協定		
11.14 韓国科学技術研究院と姉妹協定			
1990 (平成2)	10.1 フォトダイナミクス研究センターを仙台市に開設、 初代センター長 工博 西澤潤一		ハッブル宇宙望遠鏡の打 ち上げ(米国)
1991 (平成3)	5. 特別研究室制度発足		
	11.13 大型放射光施設SPRing-8建設開始		
1992 (平成4)	3.12 天皇陛下 理研和光本所を行幸	日本人初の宇宙飛行士 毛利衛が宇宙で材料実験 科学技術会議第19号答申 (ソフト系科学技術の基本 計画)	リオデジャネイロ地球サ ミット:国連環境会議
1993 (平成5)	6.21~ 第1回「理研アドバイザー・カウンシル」を開催 24	科学技術政策大綱 H-IIロケット打ち上げに成功 高速増殖原型炉「もんじゅ」 が臨界	超伝導サイクロトロン計画・ SSC
	10.1 バイオ・ミメティックコントロール研究センターを名古屋に 開設、センター長 工博 伊藤正美		
	10.1 第7代理事長 理博 有馬朗人		
1994 (平成6)	4.5 韓国化学研究所と姉妹協定	日本人初の女性宇宙飛行 士の向井千秋が宇宙実験	国際科学技術センター (ISTC) 設立
1995 (平成7)	4.28 英国ラザフォード・アップルトン研究所(RAL)にRAL支所 を開設、初代支所長 理博 永嶺謙忠	1万メートル級無人探査機 「かいこう」が10,911.4m の潜航に成功 科学技術基本法制定 (阪神淡路大震災)	
	10.23 ヘルシンキ工科大学(フィンランド)と研究協力協定		
1996 (平成8)	6.25 ワイツマン研究所(イスラエル)と研究協力協定	科学技術基本計画閣議 決定 日本科学技術情報センタ ーと新技術開発事業団が 統合し、科学技術振興事 業団が発足	マーズ・パスファインダが エアバックを使って火星に 着陸(米国)
	7.1 理研ベンチャー第1号が発足(その後15社へ)		
	10.1 ジュニア・リサーチ・アソシエイト制度発足		
	10.1 地震国際フロンティア研究プログラムを開始、 初代研究リーダー 理博 上田誠也		
1997 (平成9)	9.19 第1回特許フェア開催	研究開発評価に関する大 綱的指針 行政改革最終報告を発行 「ライフサイエンス研究開発 基本計画」で答申	培養細胞からの核移植に よる羊“ドリー”誕生(英国) 国際宇宙ステーション (ISS) 建設開始
	9.23 国立研究所(カナダ)と研究協力協定		
	10.1 播磨研究所 開所、所長 理博 上坪宏道		
	10.1 脳科学総合研究センターを和光本所内に開設、 初代所長 医博 伊藤正男		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
	10.1 米国ブルックヘブン国立研究所(BNL)に理研BNL研究センターを開設、初代センター長 PhD 李政道		
	10.6 大型放射光施設 SPring-8 供用開始		
1998 (平成10)	1.27 地震国際フロンティア研究センターを兵庫県三木市に開設(2001年度から独立行政法人防災科学技術研究所へ移管)、初代センター長 工博 亀田弘行	大学等技術移転促進法(TLO法)策定 行政改革基本法制定	
	8.1 第8代理事長 理博 小林俊一	動力炉・核燃料開発事業団が核燃料サイクル機構に改組(和歌山ヒ素カレー事件)	
	10.1 ゲノム科学総合研究センターを開設、初代所長 理博 和田昭允		
1999 (平成11)	10.1 国際フロンティア研究システムをフロンティア研究システムに名称変更、初代システム長 工博 丸山瑛一	すばる望遠鏡 完成 「産業活力再生特別設置法」の施行 ものづくり懇談会を発足(JCOで臨界事故)	情報技術イニシアチブ(IT <sup>2</sup> )を開始
2000 (平成12)	4.1 横浜研究所 開所、初代所長 理博 吉良爽	毛利衛宇宙飛行士2度目の宇宙飛行を達成	ナノテクノロジー・イニシアティブ(米国)
	4.1 植物科学研究センターを横浜研究所内に開設、初代センター長 農博 杉山達夫	「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」が成立	e-Science(英国)
	4.1 遺伝子多型研究センターを横浜研究所内に開設、初代センター長 医博 豊島久真男	白川英樹ノーベル化学賞受賞	TOP NANO21を発表(スイス)
	4.1 ライフサイエンス筑波研究センターを筑波研究所に改組、初代所長 宮林正恭		
	4.1 発生・再生科学総合研究センターを筑波研究所内に開設、初代センター長 理博 竹市雅俊		
2001 (平成13)	1.1 バイオリソースセンターを筑波研究所内に開設、初代センター長 理博 森脇和郎(就任4月1日)	省庁統合、文部省と科学技術庁を統合し、文部科学省設立	クローン人間計画を発表(パノス・ザボス教授ら)
	7.6 免疫・アレルギー科学総合研究センターを横浜研究所に開設、初代センター長 医博 谷口克	総合科学技術会議設置	9.11同時多発テロ(米国)
	10.1 独立主幹研究員制度発足	国立研究機関が独立行政法人へ 特殊法人等改革基本法制定 野依良治ノーベル化学賞受賞	
2002 (平成14)	4.1 神戸研究所を兵庫県神戸市に開所、初代所長 柴田勉	知的戦略会議開催	イネゲノム塩基配列解読終了(国際コンソーシアム)
	4.1 発生・再生科学総合研究センターを神戸研究所に移設	第1回産学官連携サミット開催	21世紀ナノテクノロジー研究開発法案を提出(米国)
	主任研究員研究室群(和光)を中央研究所として組織化、初代所長 農博 井上頼直	BT戦略会議発足 知的財産戦略大綱決定 小柴昌俊ノーベル物理学賞受賞 田中耕一ノーベル化学賞受賞	
2003 (平成15)	9.30 特殊法人理化学研究所 解散	ヒトゲノム解読完了宣言	スペースシャトル「コロンビア」空中分解
	10.1 独立行政法人「理化学研究所」発足、初代理事長 工博 野依良治	宇宙科学研究所・航空宇宙技術研究所・宇宙開発事業団が統合し独立行政法人宇宙研究開発機構を設立 特殊法人が独立行政法人へ 知的財産基本法が成立	ヒトゲノム解読完了宣言
2004 (平成16)	4.1 研究プライオリティー会議発足	国立大学等が独立行政法人へ	スマトラ沖地震
	4.1 産業界との「融合的連携研究制度」発足	海洋科学技術センターと東京大学海洋研究所(研究船・運行)を統合し海洋研究開発機構設立	
	4.9 東大と連携協力協定		
2005 (平成17)	1. 理研科学者会議発足		京都議定書発効

# 役員・所長・センター長一覧

## 歴代役員（特殊法人）

	氏名	在任期間		氏名	在任期間
理事長	長岡治男	1958.10.21 ~ 1962.10.21 ~ 1966.10.20	理事	加藤泰丸	1983.7.7 ~ 1987.5.31
	赤堀四郎	1966.12.17 ~ 1970.4.14		吉田清太	1984.12.15 ~ 1986.1.11
	星野敏雄	1970.4.15 ~ 1974.4.14 1974.4.16 ~ 1975.4.15		佐田登志夫	1986.5.9 ~ 1990.5.8
	福井伸二	1975.4.16 ~ 1979.4.16 ~ 1980.4.22		藤岡淳介	1986.12.8 ~ 1990.12.8 ~ 1992.12.7
	宮島龍興	1980.4.22 ~ 1984.4.22 ~ 1988.4.21		井上一郎	1987.6.1 ~ 1991.5.31
	小田稔	1988.4.22 ~ 1992.4.22 ~ 1993.9.30		長柄喜一郎	1987.9.18 ~ 1991.9.18 ~ 1993.9.17
	有馬朗人	1993.10.1 ~ 1996.9.30 ~ 1998.5.20		雨村博光	1990.5.9 ~ 1994.5.8 ~ 1995.8.23
	小林俊一	1998.8.1 ~ 2002.7.31 ~ 2003.9.30		高橋信孝	1991.6.1 ~ 1995.5.31
副理事長	坂口謹一郎	1959.12.9 ~ 1962.5.4	上坪宏道	1992.12.8 ~ 1996.12.7 ~ 1998.3.31	
	住木諭介	1962.10.21 ~ 1966.10.21 ~ 1970.6.15	宮川壽夫	1993.9.18 ~ 1996.9.30	
	一宮虎雄	1973.5.1 ~ 1975.9.13	吉良爽	1995.6.1 ~ 1998.7.31	
	宮崎友喜雄	1976.5.20 ~ 1980.5.17	坂内富士男	1995.8.24 ~ 1999.8.23 ~ 2001.1.31	
	中根良平	1983.5.16 ~ 1987.5.15	藤原正彦	1996.10.1 ~ 2000.8.31	
	加藤泰丸	1987.6.1 ~ 1990.5.9	小川智也	1998.4.1 ~ 2001.7.31	
	佐田登志夫	1990.5.9 ~ 1993.9.17	宮林正恭	1998.8.1 ~ 2002.7.31 ~ 2003.7.25	
	長柄喜一郎	1993.9.18 ~ 1995.8.23	柴田勉	2000.9.1 ~ 2003.9.30	
	雨村博光	1995.8.24 ~ 1998.8.1	井上頼直	2001.2.1 ~ 2003.9.30	
	吉良爽	1998.8.1 ~ 2001.7.31	堀佑司	2001.8.1 ~ 2003.7.31	
	小川智也	2001.8.1 ~ 2003.9.30	谷畑勇夫	2003.4.2 ~ 2003.9.30	
	理事	島田晋	1958.11.13 ~ 1962.11.13 ~ 1966.11.12	小中元秀	2003.7.26 ~ 2003.9.30
前田陽吉		1962.6.1 ~ 1966.6.1 ~ 1970.5.31	谷口寛	1958.11.13 ~ 1960.11.13 ~ 1962.11.12	
菅義夫		1966.2.1 ~ 1970.1.31	藤村重任	1962.11.16 ~ 1964.8.9	
杠文吉		1966.2.1 ~ 1967.3.1	井上健太郎	1964.8.17 ~ 1966.8.16	
仲谷泰吉		1967.3.2 ~ 1971.3.2 ~ 1975.3.1	山本松夫	1966.8.17 ~ 1968.8.17 ~ 1970.8.17 ~ 1971.12.5	
藤井久男		1967.3.2 ~ 1971.3.2 ~ 1975.3.1	吉田清	1958.11.13 ~ 1960.5.26	
一宮虎雄		1970.2.1 ~ 1973.4.30	藤田茂	1960.7.14 ~ 1962.7.14 ~ 1964.7.14 ~ 1966.7.3	
高橋正春		1970.6.1 ~ 1974.6.1 ~ 1978.5.31	小沢俊郎	1966.7.14 ~ 1968.7.14 ~ 1970.7.13	
宮崎友喜雄		1973.5.1 ~ 1976.5.19	安藤鎮正	1970.7.20 ~ 1972.7.20 ~ 1974.7.19	
楠田脩一		1975.3.2 ~ 1978.5.1	楠田脩一	1971.12.24 ~ 1973.12.24 ~ 1975.3.1	
森脇大五郎		1975.3.10 ~ 1979.3.9	高富味津雄	1974.7.20 ~ 1976.7.19	
山本幸雄		1975.4.4 ~ 1979.4.3	朝野武彦	1975.3.2 ~ 1977.3.2 ~ 1978.5.1	
曾田範宗		1976.5.20 ~ 1980.5.19	安尾俊	1976.7.20 ~ 1978.5.31	
朝野武彦		1978.5.2 ~ 1978.12.4	杉本明	1978.5.2 ~ 1980.5.2 ~ 1982.5.1	
安尾俊		1978.6.1 ~ 1982.5.31	堀純郎	1978.6.1 ~ 1980.5.31	
西本靖		1978.12.5 ~ 1980.5.17	清水文聰	1982.5.2 ~ 1983.5.15	
熊田登		1989.5.1 ~ 1983.4.30	桐澤昭夫	1983.5.16 ~ 1985.5.16 ~ 1987.5.15	
中根良平		1980.6.10 ~ 1983.5.15	山田隆夫	1987.5.16 ~ 1989.5.16 ~ 1990.5.16 ~ 1991.6.16	
大沢陽太郎		1980.12.8 ~ 1984.12.8 ~ 1986.12.7	菊池貞二	1991.6.16 ~ 1992.7.23	
深田栄一		1980.12.15 ~ 1984.12.14	櫻井溥	1992.7.24 ~ 1994.7.23 ~ 1996.7.23 ~ 1997.7.31	
仲光佐直		1982.6.22 ~ 1986.6.21 ~ 1987.9.17	関理夫	1997.8.1 ~ 1999.7.31 ~ 2000.10.17	
清水文聰		1983.5.16 ~ 1985.3.31	塚腰勇	2000.10.18 ~ 2002.10.18 ~ 2003.9.30	

## 役員（独立行政法人）

	氏名	在任期間		氏名	在任期間
理事長	野依良治	2003.10.1 ~	理事	小中元秀	2003.10.1 ~
理事	小川智也	2003.10.1 ~ 2004.10.14		大熊健司	2004.1.15 ~
	柴田勉	2003.10.1 ~		土肥義治	2004.10.15 ~
	井上頼直	2003.10.1 ~	監事	藤井隆	2003.10.1 ~
谷畑勇夫	2003.10.1 ~ 2004.1.14	林剛		2003.10.1 ~	



### 歴代所長・センター長（特殊法人）

	役職	氏名	在任期間
所長	筑波研究所長	宮林正恭	2000.4.1 ~ 2003.7.25
		井上頼直	2003.7.26 ~ 2003.9.30
	播磨研究所長	上坪宏道	1997.10.1 ~ 1998.3.31
		小川智也	1998.4.1 ~ 1999.3.31
		坂内富士男	1999.4.1 ~ 2001.1.31
		井上頼直	2001.2.1 ~ 2002.3.31
		堀佑司	2002.4.1 ~ 2003.3.31
		柴田勉	2003.4.1
		谷畑勇夫	2003.4.2 ~ 2003.9.30
	横浜研究所長	吉良爽	2000.4.1 ~ 2001.7.31
小川智也		2001.8.1 ~ 2003.9.30	
神戸研究所長	柴田勉	2002.4.1 ~ 2003.9.30	
副所長	播磨研究所副所長	井上頼直	2000.4.1 ~ 2001.1.31
		飯塚哲太郎	2002.6.1 ~ 2003.9.30
センター長	中央研究所長	井上頼直	2002.4.1 ~ 2003.9.30
	ライフサイエンス筑波 研究センター所長	深田栄一	1984.10.1 ~ 1984.12.14
		仲光佐直	1984.12.15 ~ 1987.9.17
		井上一郎	1987.9.18 ~ 1990.5.8
		雨村博光	1990.5.9 ~ 1993.9.17
		高橋信孝	1993.9.18 ~ 1995.5.31
		吉良爽	1995.6.1 ~ 1998.7.31
		小川智也	1998.8.1 ~ 2000.3.31
	国際フロンティア 研究システム長	久保亮五	1986.10.1 ~ 1991.9.30
	フロンティア 研究システム長	伊藤正男	1991.10.1 ~ 1998.2.28
		永井克孝	1998.3.1 ~ 1999.9.30
	フォトダイナミクス 研究センター長	丸山瑛一	1999.10.1 ~ 2003.9.30
		西澤潤一	1990.10.1 ~ 1991.1.31
田崎京二		1991.2.1 ~ 1998.9.30	
		西澤潤一	1998.10.1 ~ 2003.9.30

	役職	氏名	在任期間
センター長	バイオ・ミメティック コントロール研究 センター長	伊藤正美	1993.10.1 ~ 1998.12.28
		佐田登志夫	1998.12.28 ~ 2001.9.30
		細江繁幸	2001.10.1 ~ 2003.9.30
	地震国際フロンティア研究 プログラム研究リーダー	上田誠也	1996.10.1 ~ 2002.3.31
	脳科学総合 研究センター所長	伊藤正男	1997.10.1 ~ 2003.4.1
		甘利俊一	2003.4.1 ~ 2003.9.30
	地震防災フロンティア 研究センター長	亀田弘行	1998.1.1 ~ 2000.3.31
	ゲノム科学総合 研究センター長	和田昭允	1998.10.1 ~ 2003.9.30
	植物科学研究センター長	杉山達夫	2000.4.1 ~ 2003.9.30
	発生・再生科学総合 研究センター長	竹市雅俊	2000.4.1 ~ 2003.9.30
遺伝子多型研究 センター長	豊島久真男	2000.4.1 ~ 2003.9.30	
バイオリソースセンター長	森脇和郎	2001.1.1 ~ 2003.9.30	
免疫・アレルギー科学 総合研究センター長	谷口克	2001.7.1 ~ 2003.9.30	
プロジェクト 管理役	ゲノム科学 総合研究センター	栗原良樹	2002.4.2 ~ 2003.9.30
	遺伝子多型 研究センター	藤原正彦	2000.10.1 ~ 2003.3.31
	植物科学 研究センター	尾野了一	2000.7.1 ~ 2003.3.30
	免疫・アレルギー科学 総合研究センター	加藤武雄	2001.9.1 ~ 2003.9.30
	発生・再生科学総合 研究センター	関理夫	2000.11.17 ~ 2003.9.30
海外	理化学研究所	永嶺謙忠	1995.4.1 ~ 2002.3.31
	RAL支所長	岩崎雅彦	2002.4.1 ~ 2003.9.30
	理研BNL研究 センター長	李政道	1997.10.1 ~ 2003.9.30

### 所長・センター長（独立行政法人）

	役職	氏名	在任期間
所長	和光研究所長	上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31
		茅幸二	2004.4.1 ~
	筑波研究所長	森脇和郎	2003.10.1 ~
	播磨研究所長	飯塚哲太郎	2003.10.1 ~
	横浜研究所長	小川智也	2003.10.1 ~
神戸研究所長	竹市雅俊	2003.10.1 ~	
副所長	横浜研究所副所長	加藤武雄	2003.10.1 ~
		栗原良樹	2003.10.1 ~ 2004.8.31
	神戸研究所副所長	袴着実	2004.9.1 ~
		関理夫	2003.10.1 ~ 2004.6.15
センター長	中央研究所長	船橋英夫	2004.5.31 ~
		上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31
	フロンティア研究システム長	茅幸二	2004.4.1 ~
		丸山瑛一	2003.10.1 ~
	フォトダイナミクス 研究センター長	潮田資勝	2003.10.1 ~

	役職	氏名	在任期間
センター長	バイオ・ミメティックコントロ ール研究センター長	細江繁幸	2003.10.1 ~
		甘利俊一	2003.10.1 ~
	脳科学総合研究センター長	和田昭允	2003.10.1 ~ 2004.3.31
	ゲノム科学総合研究 センター長	榊佳之	2004.4.1 ~
	植物科学研究センター長	杉山達夫	2003.10.1 ~
	発生・再生科学総合 研究センター長	竹市雅俊	2003.10.1 ~
	遺伝子多型研究センター長	豊島久真男	2003.10.1 ~
海外	バイオリソースセンター長	森脇和郎	2003.10.1 ~
	免疫・アレルギー科学 総合研究センター長	谷口克	2003.10.1 ~
	理化学研究所RAL支所長	岩崎雅彦	2003.10.1 ~ 2004.3.31
	理研BNL研究センター長	松崎禎市郎	2004.4.1 ~
		N・P・サミオス	2003.10.1 ~

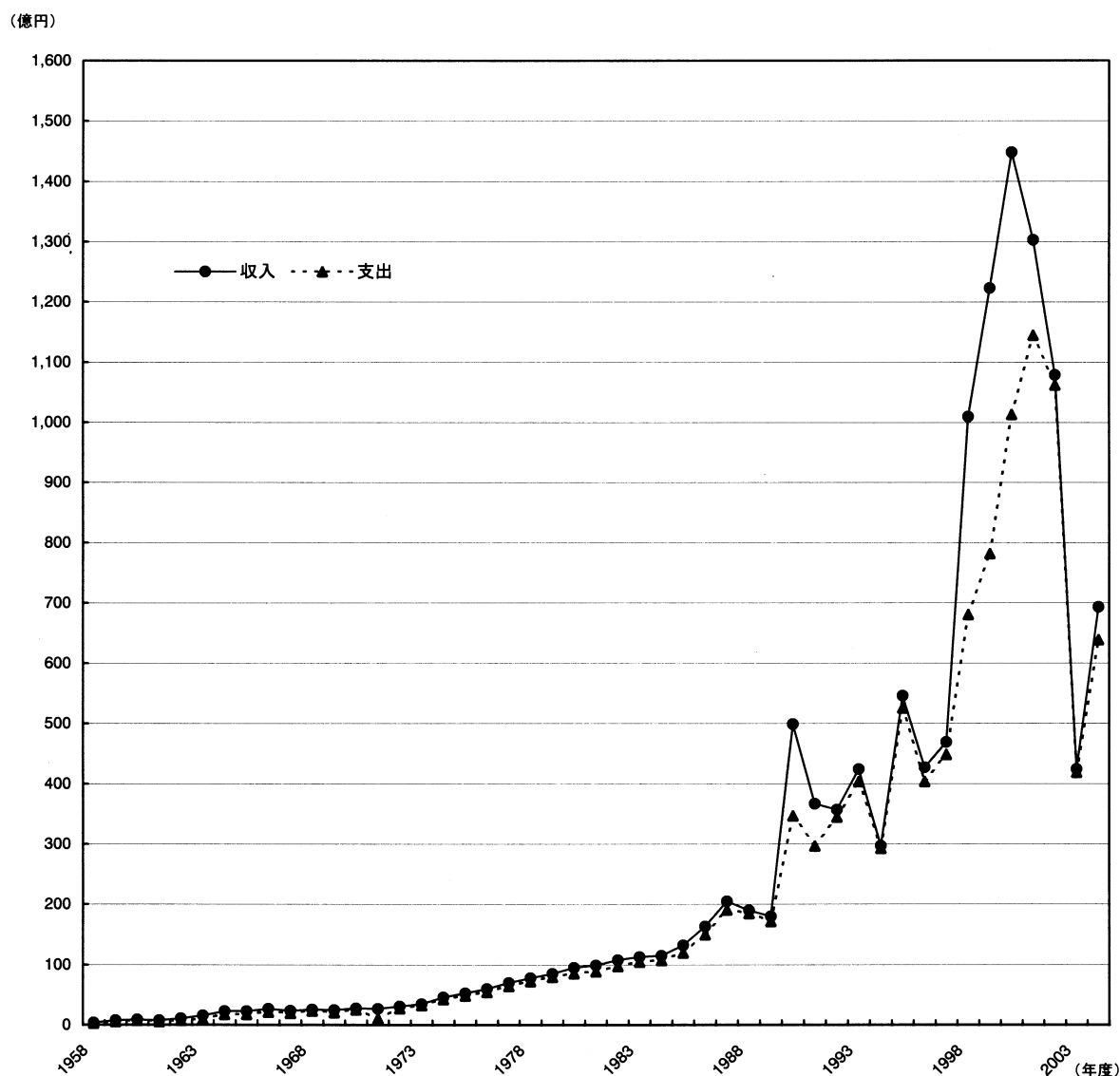
## 経理の概況

理研の財政は、法律によって政府資金と民間からの資金で運営することが定められていた。

収入は、政府出資金及び国庫補助金、民間出資金及び寄付金、政府・民間からの受託研究収入、特許権収入、研究助成金等から構成されている。

支出は、研究事業費、原子力研究推進事業費、ライフサイエンス研究推進事業費、播磨地区研究推進事業費、総合協力研究推進事業

費、脳科学研究推進事業費、ゲノム科学研究推進事業費、植物科学研究推進事業費、発生・再生研究推進事業費、免疫・アレルギー研究推進事業費、成果普及研究推進事業費、施設整備費、一般管理運営に必要な経費等により構成されている。発足時以降の収入支出は事業の拡大と共に年々増加し、その推移は〈図1〉に示す通りである。特に1998年度（平成10年度）以降は政府の科学研究の推進に伴い予算規模が急激に増加している。

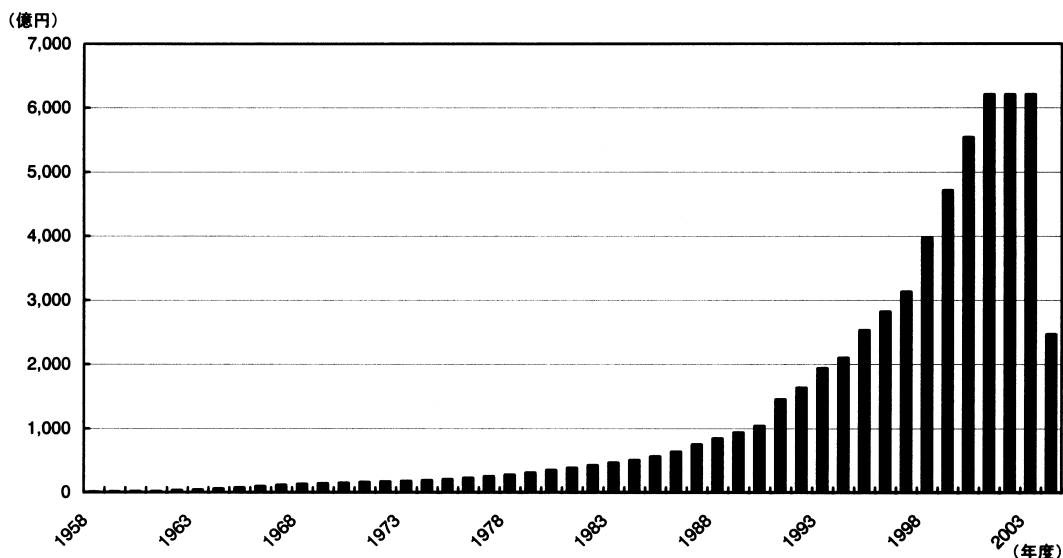


〈図1〉 収入支出の推移

※平成15年度上期は、平成15年4月1日から平成15年9月30日まで(特殊法人分)、平成15年度下期は、平成15年10月1日から平成16年3月31日まで(独立行政法人分)である。

また、1958年（昭和33年）の発足時1,041,400千円であった資本金は、2003年（平成15年）9月30日の終了時点では621,296,755千円となっ

ており、発足時の600倍に増加している。資本金の推移は〈図2〉に示す通りである。

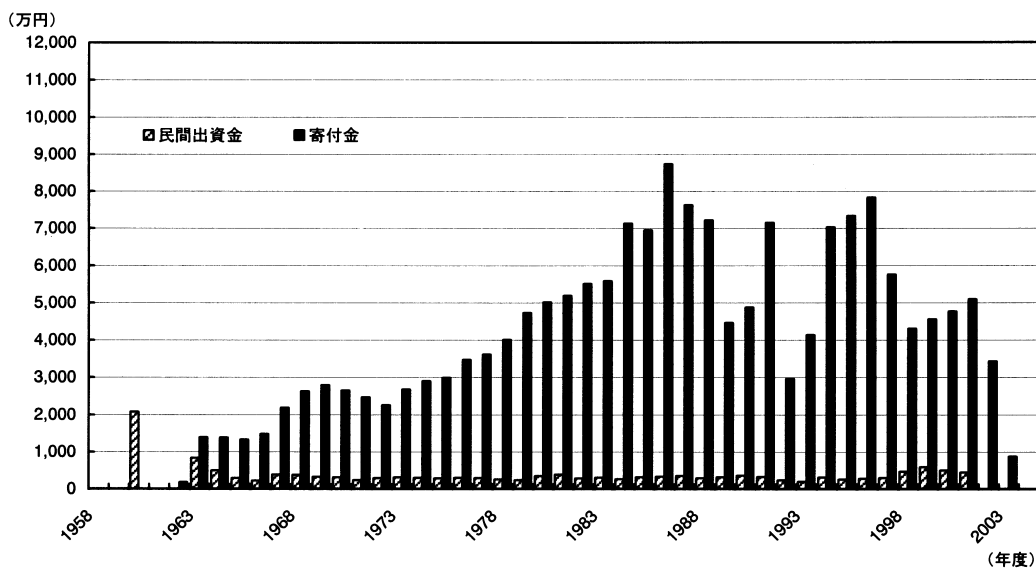


〈図2〉 資本金の推移

※平成15年下期は特殊法人から独立行政法人への移行に伴い、資本金を精算したことにより減となっている。

理研では、政府出資金のほかに特殊法人としての特色を生かして、特許権の実施、研究の受託、技術指導、研究者の受託研修などの業務により自己収入の確保に全力を注ぐほ

か、更に出資金及び寄付金の形による民間資金の導入を図っている。民間出資金及び寄付金の推移は〈図3〉に示す通りである。



〈図3〉 民間出資金及び寄付金の推移

# 基礎科学研究等課題の推移

研究課題	担当研究室	期間
<b>1・総合研究</b>	(研究室名は研究実施時の名称)	
(1) レーザーの理化学的応用に関する研究	マイクロ波物理研究室他	1968～1970
(2) 理工学における情報認識及び処理に関する研究	情報科学研究室他	1971～1973
(3) 固体表面の微視的研究とその応用	変形工学研究室他	1974～1976
(4) イオンビームによる物性研究とその応用	金属物理研究室他	1977～1979
(5) 活性有機物質の構造と機能の動的解明に関する研究	抗生物質研究室他	1980～1981
<b>2・重点研究</b>		
(1) 硼化物、窒化物、珪化物及び硫化物系耐熱材料の開発に関する研究	半導体研究室他	1964～1966
(2) 量子エレクトロニクスの研究	マイクロ波物理研究室他	1964～1965
(3) 低温交換法による同位体分離の研究	同位元素研究室他	1964～1965
(4) 核酸及び核酸関連物質に関する研究	微生物学研究室他	1965～1967
(5) 宇宙線特別研究	宇宙線研究室他	1965～1984
(6) 単結晶構造解析の自動化に関する研究	結晶物理研究室他	1966～1968
(7) 無機錯体溶液の物理化学的研究	無機化学研究室他	1967～1969
(8) 高分子圧電材料の研究	生体高分子物理研究室他	1969～1970
(9) 不整反応の研究	高分子化学研究室	1970～1972
(10) 炭化水素及び同関連物質の醗酵に関する研究	醗酵工学研究室他	1970～1972
(11) 深海用自動計測パイの開発	海洋物理研究室他	1971～1973
(12) 電気化学的合成、分離、分析法に関する研究	無機化学研究室	1973
(13) 光ビーム干渉法とその応用に関する研究	光学計測研究室	1973～1974
(14) 内湾の海水交流機構に関する研究	海洋物理研究室	1974～1976
(15) 光ICの基礎研究	半導体工学研究室	1975
(16) ガスレーザーのプラズマ物理学的研究	プラズマ物理研究室	1975
(17) 弱塩基性有機化合物の活性化による新合成法に関する研究	有機化学第2研究室	1976～1978
(18) 新磁性材料開発のための電子構造解析手法の研究	磁性研究室	1976～1978
(19) 食品の貯蔵に関する微生物並びに生化学的研究	放射線生物学研究室	1976～1979
(20) 数式処理システムの開発	情報科学研究室	1977～1978
(21) 非晶体材料の構造研究法の開発	結晶物理研究室	1979～1981
(22) 生体結晶の物性研究	生物物理研究室	1979～1981
(23) 熱帯植物に含まれる新生理活性物質の研究	植物化学研究室	1979～1981
(24) 昆虫の習性行動及び生理過程における選択的阻害による害虫防除剤の開発研究	昆虫薬理研究室他	1980～1981
(25) 海洋遠隔探査技術の開発研究	海洋物理研究室他	1980～1981
(26) 極微細高輝度イオンビーム装置の開発	半導体工学研究室他	1981
<b>3・特定総合研究</b>		
(1) 超電導体／狭バンド半導体接合素子に関する研究	マイクロ波物理研究室他	1980
(2) エネルギー植物の光合成生産及び炭化水素等の分析に関する研究	植物薬理研究室	1980
(3) かび産生物質の免疫障害に関する研究	農薬合成第1研究室	1980
(4) 細胞成分の分離に関する研究	微生物学研究室	1980
(5) 腸内微生物叢と生育環境及び発育との関連に関する研究	動物薬理研究室	1980
(6) 安全な宿主ベクター系の開発に関する研究	微生物生態学研究室他	1981
(7) 高輝度イオンビームによるレジストレスプロセス開発研究	半導体工学研究室他	1982～1983
(8) 極限構造の制御とその応用	半導体工学研究室他	1984～1985
(9) 吸着剤を用いる選択的合成反応開発研究	触媒研究室他	1982～1984
(10) 海洋遠隔探査研究	海洋物理研究室他	1982～1984
<b>4・工業化研究</b>		
(1) 自動記録式粘弾性測定装置の試作	原子物理研究室	1964
(2) 自動記録式摩擦試験機の試作	精密工学研究室	1964
(3) チタン蒸着膜による薄膜回路の試作	半導体研究室	1964
(4) 矩形ヒステリシス活性を有するフェライト単結晶コアの試作	磁性研究室	1965
(5) 押し拡げ形 [Expanding die form-ing] に関する研究	塑性加工研究室	1965
(6) 電子ビームマイクロウェルダの試作	精密工学研究室	1966
(7) 薄膜単結晶の製作	半導体工学研究室	1966
(8) 微生物の連続培養に関する研究	醗酵工学研究室	1966
(9) 農業用抗生物質ポリオキシンの開発研究	抗生物質研究室	1966
(10) 自動記録式高温相転位測定装置の試作研究	セラミックス研究室	1967
(11) 連続超音波ドレッシング装置の試作研究	精密工学研究室	1967
(12) ホルムアルデヒドとC4オレフィンを原料とするイソプレンの製造方法	高分子化学研究室	1967
(13) イオンビーム不純物注入装置の試作	半導体工学研究室	1968
(14) 超音波振動切削用ユニット及び専用正面旋盤の試作研究	機械計測研究室	1968
(15) 単磁区軟磁性フェライトコアの開発	磁性研究室	1968
(16) 新しいプラズマジェットの実用化とその応用	電気材料研究室	1969
(17) 計算機用図形入出力端末装置の研究	情報科学研究室	1969
(18) 軸流分子ポンプの試作研究	機械計測研究室	1969

研究課題	担当研究室	期間
(19) 計算機用写真記憶装置の研究	情報科学研究室	1970
(20) 新農業用抗生物質の研究	抗生物質研究室	1970
(21) アルカリプロテアーゼの試作と応用	微生物学研究室	1970
(22) ダイヤモンド研磨メタルシートの製造法の確立	精密工学研究室	1971
(23) 超音波振動による結合度制御といしの開発	機械計測研究室	1971
(24) プラズマジェットによる物質処理法の研究	プラズマ物理研究室	1971
(25) 高電圧用火花ギャップスイッチに関する研究	プラズマ物理研究室	1972
(26) 新甘味性物質の開発	有機合成化学研究室	1972
(27) イソプレンよりメタクリル酸及びそのエステル合成	高分子化学研究室	1972
(28) 高湿度感湿素子の研究	プラズマ物理研究室	1973
(29) 細菌類細胞の溶解酵素の応用に関する研究	微生物学研究室	1973
(30) 多段気体まきこみ式培養装置に関する研究	醗酵工学研究室	1973
(31) 抗血栓材料の開発研究	生体高分子物理研究室	1974
(32) フェライトX線造影剤用電磁石の試作研究	磁性研究室	1974
(33) 多孔質物質を用いた管型微生物培養装置の工業化に関する研究	化学工学研究室	1974
(34) ガスレーザーを用いた極微量大気汚染物質の高感度検出装置の開発	マイクロ波物理研究室	1975
(35) 計算機による高精度カラー図形の処理に関する研究	情報科学研究室	1975
(36) 超微粒子磁性体による重金属の濃縮、分離、回収法の開発に関する研究	磁性研究室他	1975
(37) 環状デキストリン製造の工業化に関する研究	微生物生態学研究室	1976
(38) 微生物培養の自動管理の研究	微生物学研究室	1976
(39) 金属含有スラッジの不溶化と再資源化処理の実用化	化学工学研究室	1976
(40) 発泡金属の化学装置への開発	粉粒体工学研究室他	1977
(41) 電気化学分析装置の開発	無機化学研究室	1977
(42) 3次元形状自動計測システムの開発	情報科学研究室他	1977
(43) 異形固体粒子の選別法の開発研究	粉粒体工学研究室	1978
(44) 鋼材の表面合金化の開発研究	変形工学研究室他	1978
(45) 磁気利用による物質の濃縮、分離、回収システムの開発研究	磁性研究室他	1978
(46) 耐久性のある診断用カタラーゼの工業化に関する開発研究	微生物生態学研究室	1979
(47) スペックルを用いたシステム表面形状の自動計測の研究	光学計測研究室	1979
(48) 半導体検出器を利用した医学用陽電子カメラの開発	磁性研究室他	1979
(49) 芳香族置換オレフィン製造法の開発	有機化学第1研究室	1980
(50) ベータ・ラクタマーゼの生産と精製	微生物生態学研究室	1980
(51) 高強度鋼板の曲げ部強度試験法の開発	変形工学研究室	1980
(52) 粉粒体の形状測定・解析装置の開発	粉粒体工学研究室	1981
(53) 新型高性能ガス検知器の開発	固体化学研究室他	1982
(54) せん断場鑄造法の開発に関する研究	摩擦工学研究室他	1982
(55) 動物薬抗生物質カチオマイシンの開発	抗生物質研究室	1983
(56) 多軸応力場可変試験機の開発	変形工学研究室	1983~1985
(57) 中国産微生物源農薬の開発	抗生物質研究室他	1986~1987
(58) 同位体選択的なシリコン膜の開発	触媒研究室他	1988~1989
<b>5・国際共同研究</b>		
(1) 未知な昆虫毒、魚毒、貝毒等の医薬・農業への開発研究	農薬化学第2研究室他	1986~1987
(2) ECRプラズマによる表面改質と物性研究	プラズマ物理研究室他	1988~1990
<b>6・日米研究協力</b>		
(1) 核酸関連物質の超微量解析に関する研究	抗生物質研究室	1989~1991
(2) 多機能トンネル顕微鏡の開発と応用に関する総合研究	表面界面工学研究室他	1989~1991
(3) デジタル結晶成長法の開発と応用に関する研究	レーザー科学研究グループ	1990~1992
<b>7・原子力関係研究</b>		
(1) 核融合に関する研究	核融合研究室	1963~1982
(2) ガンマー線に関するパラフィンから脂肪酸合成に関する研究	放射線化学研究室	1963
(3) 放射線による食品等の保存と熟成に関する研究	放射線生物学研究室	1963~1966
(4) 核酸関連物質の放射線障害保護効果に関する研究	放射線生物学研究室	1963
(5) サイクロトロンによるRIの製造濃縮方法に関する研究	サイクロトロン研究室	1963~1965
(6) 海洋投棄用放射性廃棄物に関する研究	海洋物理研究室	1963~1966
(7) 有機低分子化合物の反跳化学反応の研究	放射線化学研究室他	1964~1966
(8) 放射線障害に対する新防衛薬剤の開発と作用機に関する研究	放射線生物学研究室他	1964~1976
(9) 半導体放射線検出器に関する研究	電気材料研究室	1964~1966
(10) 自然放射線並びにfall outによる外部被曝線量の評価に関する研究	放射線研究室	1964~1970
(11) 放射線解析による核種の決定に関する研究	放射線研究室	1965
(12) 160cmサイクロトロンによる総合研究	サイクロトロン研究室他	1966~1982
(13) 放射線解析による混合核種の決定	放射線研究室	1966~1971
(14) 放射線食品照射に関する基礎的研究	放射線生物学研究室	1967~1981
(15) 海洋物理、化学的にみた放射性廃液と濁りに関する研究	海洋物理研究室	1969~1971

研究課題	担当研究室	期間
(16) 環境放射線による情報の迅速解析に関する研究	放射線研究室他	1971～1973
(17) 放射線核種による海洋環境の汚染に関する研究	海洋物理研究室他	1972～1973
(18) 環境における中性子線の情報の把握と線量に関する研究	放射線研究室	1974～1982
(19) 新海底測流調査	海洋計測工学第1研究室	1978～1980
(20) 重イオン加速器による総合研究	サイクロトロン研究室他	1978～1982
<b>[重イオン科学総合研究]</b>		
(1) 超重元素生成反応に関する計測技術の開発	サイクロトロン研究室他	1983～1985
(2) 高励起重イオンの放出するX線及び電子線の研究	原子過程研究室他	1983～1985
(3) 極微量物質の分析法の開発	核化学研究室他	1983～1985
(4) 重イオン損傷の生物・化学機構に関する研究	放射線生物学研究室他	1983～1985
(5) 重イオン照射による固体材料の損傷と核融合炉材料評価法の研究	金属物理研究室他	1983～1985
(6) 超重元素及び新不安定同位元素の研究	加速器基盤研究部他	1986～2002
(7) 中間子・ミュオン粒子、中性子及び放射性原子の発生とその応用研究	磁性研究室他	1986～1999
(8) 高エネルギー高電離重イオンによる原子物理の研究	原子過程研究室他	1986～2002
(9) 重イオンによる生物効果研究	放射線生物学研究室他	1986～2002
(10) 不安定核ビームを用いた核科学の研究	RIビーム科学研究室	1990～2002
(11) リングサイクロトロンによる高温・高密度原子核の研究	延與放射線研究室他	1986～
i) スピン物理研究	延與放射線研究室他	1995～
ii) 理研BNL研究センター (アメリカ)	延與放射線研究室他	1997～
(12) ミュオン科学研究 (理研RAL支所・イギリス)	岩崎先端中間子研究室	2000～
<b>[原子力基盤技術開発研究]</b>		
(1) 原子力用短波長レーザーの開発研究	レーザー科学研究グループ	1988～1989
(2) 原子力レーザー技術開発研究	レーザー科学研究グループ	1990～2002
(3) 原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発	化学工学研究室他	1988～1993
(4) 放射線測定技術の高度化に関する研究	宇宙放射線研究室他	1991～1993
<b>[原子力基盤技術総合的研究]</b>		
(1) 原子力新レーザーの開発研究	半導体工学研究室他	1989～1993
(2) 原子力用人工知能を具備した原子力施設のシステム評価研究	化学工学研究室他	1989～1993
(3) 放射線による染色体異常の高速自動解析システムに関する研究	放射線生物学研究室	1989～1993
(4) 放射性核種の環境中移行の極地規模総合的モデルに関する研究	微生物制御研究室	1991～1995
(5) 陽電子ビームの発生・制御技術の高度化に関する研究	サイクロトロン研究室	1994～1998
(6) 高輝度放射光の先端利用のための基盤技術の研究	半導体工学研究室他	1994～1998
(7) 自律型プラントのための分散協調知能化システムの開発	生化学システム研究室他	1998～1998
(8) 原子力用レーザー実用化の研究開発	レーザー科学研究グループ	1998～1998
(9) 新たなDNA解析手法を応用した放射線突然変異の検出・解析技術の開発	細胞生理学研究室他	1998～1998
(10) 原子力用構造物の巨視的/微視的損傷の計算力学的解析法の開発とその応用	素形材工学研究室	1998～1998
(11) 陸域環境における放射性核種の移行に関する動的解析モデルの開発	微生物制御研究室他	1998～1998
(12) 高品質陽電子ビームの高度化研究	半導体工学研究室他	1999～2003
(13) マルチレーザーの製造技術の高度化研究	細胞生理学研究室他	1999～2003
<b>[原子力基盤技術利用研究]</b>		
(1) 原子力用レーザー技術の利用研究		
i) X線非線形光学応用技術開発研究	レーザー物理工学研究室他	1998
ii) 軟X線レーザーの高度化・先端利用研究	半導体工学研究室他	1998～2002
(2) 放射性ナノ粒子の計測・制御技術の開発	レーザー反応工学研究室	1998～2003
(3) 放射線障害修復機構の解析による生体機能解明研究	細胞生理学研究室他	1999～2003
(4) 放射線核種の土壌生態圏における動的解析モデルの研究	微生物制御研究室他	1999～2003
(5) 人間共存型プラントのための知能化技術の開発	生化学システム研究室他	1999～2003
(6) 計算科学的手法による原子力施設における物質挙動に関する研究	素形材工学研究室他	1999～2003
(7) 高速量子現象計測のためのアト秒パルス技術の開発	レーザー物理工学研究室	1999～2003
<b>[レーザー法によるウラン同位体分離・濃縮研究]</b>		
(1) 赤外レーザーによるウラン同位体の分離・濃縮に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1985～1987
(2) ガスレーザー高度化技術研究	レーザー科学研究グループ他	1987
(3) ウラン濃縮に関するレーザー科学応用研究	レーザー科学研究グループ他	1988～1992
(4) 分子レーザー法ウラン濃縮に関するブレイクスルー研究	レーザー科学研究グループ他	1993～1998
<b>[機動的先端研究/バイオクロストーク機能研究]</b>		
[原子力用短波長レーザーの開発研究]	植物機能研究室他	1996～2002
[原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発]	植物機能研究室他	1988～1997
[RIビームファクトリー研究]	化学工学研究室他	1988～1993
	RIBF計画推進グループ	1996～
<b>8・農業関係研究</b>		
(1) 細胞壁合成阻害剤及びアミノ酸農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1971～1973
(2) 幼若ホルモン及びその関連化合物の害虫防除への利用	昆虫薬理研究室他	1972～1974
(3) 植物の生育調節に関する研究	植物化学研究室他	1973～1975
(4) 抗植物ウイルス剤の開発に関する研究	微生物薬理研究室他	1974～1976
(5) ニカメイチュウの性フェロモンに関する研究	昆虫薬理研究室他	1975～1977
(6) 合成及び天然新植物生長抑制物質に関する研究	植物化学研究室他	1977～1980

研究課題	担当研究室	期間
(7) 速分解・非残留性農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1977～1982
(8) りんし目昆虫の性フェロモンの実用化に関する研究	昆虫薬理研究室他	1978～1980
(9) 多年生雑草防除剤開発に関する研究	生物試験室他	1979～1982
(10) 選択毒性を基盤とした昆虫神経系に作用する新しい害虫防除剤の開発に関する研究	昆虫薬理研究室他	1981～1983
(11) 難防除病害対策農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1983
(12) 殺菌剤の開発	微生物薬理研究室他	1984～1986
(13) 殺虫剤の開発	昆虫薬理研究室他	1984～1986
(14) 除草・生長調節剤の開発	植物薬理研究室他	1984～1986
(15) 殺菌剤の創製	微生物制御研究室他	1987
(16) 殺虫剤の創製	昆虫生態制御研究室他	1987
(17) 除草・生長調節剤の創製	植物生活環境制御研究室他	1987
<b>9・生物科学特定研究</b>		
(1) 生体高分子及び顆粒の理化学的研究	化学工学研究室他	1972～1979
(2) 生態系における細胞と個体の理化学的研究	微生物学研究室他	1973～1979
(3) 生体生理活性物質の生物有機化学的研究	抗生物質研究室他	1974～1979
<b>10・特別研究</b>		
(1) 新反応場化学研究	有機合成化学研究室他	1985～1997
(2) 新生物制御科学研究	抗生物質研究室他	1988～1992
(3) 超電導材料研究	摩擦工学研究室他	1988～1994
(4) メゾフィス化学研究	無機化学物理研究室他	1991～1996
<b>11・レーザー科学研究</b>		
(1) レーザーの誘起化学反応の研究	マイクロ波物理研究室他	1976
(2) 光情報処理技術の基礎研究	半導体工学研究室他	1976
(3) 新しい高性能レーザーの研究	半導体工学研究室他	1976
(4) レーザー分光に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1984
(5) レーザー光化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1984
(6) 新レーザー技術に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1990
(7) レーザー重元素同位体分離に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1985～1990
(8) 新しい計測法の研究開発	レーザー科学研究グループ他	1987～1990
(9) 臨界領域のレーザー化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1988～1990
(10) 高効率極端波長レーザーの開発に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(11) 新レーザーの開発に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(12) レーザー分子制御化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(13) 表面ダイナミクスに関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
<b>12・太陽光エネルギー科学研究／光合成科学研究</b>		
(1) 光合成科学に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(2) 光合成生産に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(3) 膜系光物性に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(4) 有機・金属光化学に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(5) 人工光合成に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1990～1999
(6) 光合成機構に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1990～1999
(7) 超分子系電子移動に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1995～1998
<b>13・ライフサイエンス関係研究</b>		
(1) 老化制御指標研究		1977～1985
(2) バイオリアクター研究		1977～1985
(3) 人工臓器研究		1977～1985
(4) 知能機械研究		1977～1985
(5) 生物活性物質研究		1977～1985
(6) 新微生物利用技術研究		1980～1989
(7) 安全な宿主・ベクター系の開発に関する研究	微生物生態学研究室他	1982～1984
(8) 活性有機物質の構造と機能の動作解明に関する研究	抗生物質研究室他	1982
(9) 昆虫の習性行動及び生理過程における選択的阻害による害虫防除剤の開発研究	昆虫薬理研究室他	1982～1983
(10) 未知な昆虫毒、魚毒、貝毒等の医薬・農薬への開発研究	農薬化学第2研究室他	1984～1985
(11) 腸内フローラに及ぼす食物繊維の役割	動物薬理研究室他	1985
(12) 神経系遺伝子発現産物研究		1987～1989
(13) 免疫系遺伝子発現産物研究		1987～1996
(14) 遺伝子構成研究		1987～1990
(15) 神経系機能解析研究		1990～1996
(16) バイオデザイン研究	バイオデザイン研究グループ	1990～1999
(17) ヒトゲノム解析研究		1991～1995
(18) 体細胞機能転換研究	分子腫瘍学研究室	1997～1999

研究課題	担当研究室	期間
(19) 生体防御ネットワーク研究 [遺伝子科学研究]	分子遺伝学研究室	1997～1999
(1) 新しい組換え体の安全性評価研究	安全評価研究室他	1984～1993
(2) ヒトがんの遺伝子に関する研究	分子腫瘍学研究室他	1984～1993
(3) ヒトレトロウィルス遺伝子発現機構解析研究	分子腫瘍学研究室他	1988～1997
(4) レトロウィルス遺伝子発現機構解析研究	分子細胞生物学研究室	1998～2001
(5) ヒトがん総合研究	分子遺伝学研究室	1994～1999
<b>14・基礎科学研究</b>		
(1) 高エネルギー・トランジェント現象の研究	宇宙放射線研究室他	1991～2003
(1) 原子スケール・サイエンシアリング	表面化学研究室他	1993～1997
(2) MRサイエンス研究	分子光化学研究室他	1994～1998
(2) 高エネルギーX線用超伝導ウィグラーの調査研究	プラズマ物理研究室	1996～1998
(4) マルチバイオプローブ研究	抗生物質研究室他	1997～2001
(3) コヒーレント科学研究	レーザー物理工学研究室他	1997～2002
(6) 原子スケール・サイエンシアリング (第Ⅱ期)	表面化学研究室他	1998～2001
(5) エッセンシャル反応研究	有機合成化学研究室他	1998～2002
(7) MRサイエンス研究 (第Ⅱ期)	分子光化学研究室他	1999～2001
(8) 低速量子ビーム研究	原子物理研究室他	1999～2003
(9) 環境分子科学研究	高分子化学研究室他	1999～2003
(3) 全天X線監視装置の利用・高度化研究	宇宙放射線研究室他	1999～2004
(10) バイオアーキテクト研究	中野生体膜研究室他	2000～2004
(11) リアルタイム生体ナノマシン観測技術開発	構造生物化学研究室他	2001～2003
(14) 多次元量子検出器の開発・応用研究	イメージ情報研究ユニット	2002～2003
(15) ハイブリッドレーザー・プロセッシング	緑川レーザー物理工学研究室他	2002～2004
(12) モレキュラーアンサンブル	加藤分子物性研究室他	2002～
(13) 次世代ナノサイエンステクノロジー	川合表面化学研究室他	2002～
(17) コヒーレント科学研究 第Ⅱ期	緑川レーザー物理工学研究室他	2003～2004
(16) ケミカルバイオロジー研究	長田抗生物質研究室他	2003～
(18) 物質の創成研究	本林重イオン核物理研究室他	2003～
(19) 生体内タンパク質分子動態観測技術開発研究	前田構造生物化学研究室他	2004～
(20) エキゾチック量子ビーム研究	山崎原子物理研究室他	2004～
(21) 環境分子科学研究 第Ⅱ期	前田バイオ工学研究室他	2004～
<b>15・基盤技術開発</b>		
(1) 極限環境関係技術の開発	極限環境技術室	1988～1992
(2) ラピッド・プロトタイプングシステムの開発	研究基盤技術部	1993～1997
(3) 脳磁界計測装置の開発	表面界面工学研究室	1995～1997
(4) ラピッドファブリケーション技術の開発	基盤技術開発室	1998～2002
(5) 極限環境メカトロニクスシステムの開発	技術開発促進室	1998～2002
<b>16・情報関連研究</b>		
(1) 数式処理システムの開発研究 [計算科学技術推進]	情報科学研究室	1976～1983
(1) 分子動力学シミュレーション専用計算機の開発	計算科学研究室	1995～1998
(2) 金属材料成形・変形シミュレーション	素形材工学研究室	1995～1999
(3) 生体高分子の機能構造シミュレーション	電子計算機室	1995～1999
(4) 地球シミュレータ用並列ソフトウェア開発	素形材工学研究室	1997～2001
(5) 量子化学専用計算機の開発	情報基盤研究部	1999～2003
(6) 生体力学シミュレーション研究	情報基盤研究部	1999～2003
(7) タンパク質生体内ダイナミクスシミュレーション研究	情報基盤研究部	1999～2003
(8) 形状情報ハンドリング技術の開発研究	情報基盤研究部	2000～2001
(9) 類似度検索専用計算機の開発研究	情報基盤研究部	2000～2004
(10) 糖鎖・核酸の構造・機能シミュレーション研究	情報基盤研究部	2000～2004
(11) 生体の形状情報の数値化およびデータベース構築研究	生体力学シミュレーション特別研究ユニット	2003～
(12) 生体力学シミュレーション研究 (第2期)	生体力学シミュレーション特別研究ユニット	2004～
[情報技術活用研究]		
(1) ITBL構築技術開発研究	情報環境室	2001～2003
(2) ITBL利用技術開発研究	情報基盤研究部	2001～2003
(3) 先端的ITによる技術情報統合化システムの構築に関する研究開発 (ものづくり情報技術統合化研究プログラム)	素形材工学研究室	2001～2003
<b>17・放射光研究</b>		
(1) 大型放射光施設開発研究	サイクロトロン研究室他	1987～1988
(2) 大型放射光施設開発研究及びマシン系開発研究	大型放射光施設研究開発グループ	1989
	大型放射光施設計画推進室開発グループ	1990



研究課題	担当研究室	期間
(3) 電子蓄積リング系研究開発	大型放射光施設計画推進本部	1991～1993
(4) 光学・測定系研究開発	大型放射光施設計画推進本部	1991
(5) 特定利用ビームライン開発研究	放射光構造生物学研究推進グループ	1994
(6) 理研ビームライン開発研究	大型放射光施設計画推進本部	1995～1997
(7) 放射光利用開発研究	北村X線超放射研究室他 原子過程研究室他	1997～ 1987～1988
	大型放射光施設研究開発グループ	1989
	大型放射光施設計画推進室開発グループ	1990～1991
	大型放射光施設計画推進本部	1992～1993
(8) 利用系研究開発	大型放射光施設計画推進本部	1994
(9) 構造生物学研究	放射光構造生物学研究推進グループ	1995～2000
(10) 構造生物学研究 (第Ⅱ期バイオクリスタロミクス)	放射光構造生物学研究推進グループ	2001～
(11) 物理学研究 (高度干渉性放射光利用技術開発研究)	放射光物理学研究推進グループ	1998～2000
(12) 物理学研究 (第Ⅱ期 高度干渉性放射光利用技術開発研究)	放射光物理学研究推進グループ	2001～
<b>18・放射光利用連携研究</b>		
(1) 生命科学研究		
i) メンブレンダイナミクス研究	メンブレンダイナミクス研究グループ	1999～
ii) ストラクチュローム研究	ストラクチュローム研究グループ	1999～
(2) 物質科学研究		
i) 量子材料研究	量子材料研究グループ	2000～
<b>19・タンパク質の大量構造解析事業</b>	先端タンパク質結晶学研究グループ (ハイスルーputファクトリー)	2001～
<b>フロンティア研究の推移</b>		
(1) 生体ホメオスタシス研究		
i) クロモソームの機能発現構造の研究	クロモソーム研究チーム	1986～1991
ii) バイオメディアの構造及び機能の研究	バイオメディア研究チーム	1986～1991
iii) 老化とフローラとの相関の研究	フローラ研究チーム	1986～1991
iv) 植物ホメオスタシスの遺伝的・物質的制御に関する研究	植物制御研究チーム	1986～1991
(2) フロンティア・マテリアル研究		
i) 量子化素子の研究	量子化素子研究チーム	1986～1991
ii) 分子素子の研究	分子素子研究チーム	1986～1991
iii) 生物素子の研究	生物素子研究チーム	1986～1991
(3) 思考機能研究		
i) 思考電流の研究	思考電流研究チーム	1988～1996
ii) 思考ネットワークの研究	思考ネットワーク研究チーム	1988～1994
iii) シナプス機構の研究	シナプス機構研究チーム	1994～1996
iv) アルゴリズムの研究	アルゴリズム研究チーム	1988～1996
v) 脳統合機能の研究	脳統合機能研究チーム	1996～1997
vi) 記憶学習機構の研究	記憶学習機構研究チーム	1996～1997
vii) 脳機能構造の研究	脳機能構造研究チーム	1996～1997
(4) 植物ホメオスタシス研究		
i) 分子機構の研究	分子機構研究チーム	1991～1999
ii) ホルモン機能の研究	ホルモン機能研究チーム	1991～1999
(5) 糖鎖機能研究		
i) 糖細胞情報の研究	糖細胞情報研究チーム	1991～1999
ii) 糖遺伝情報の研究	糖遺伝情報研究チーム	1991～1999
iii) 糖情報工学の研究	糖情報工学研究チーム	1991～1999
(6) ナノスコピック構造材料研究		
i) ナノ電子材料の研究	ナノ電子材料研究チーム	1991～1999
ii) ナノ有機フォトニクス材料の研究	ナノ有機フォトニクス材料研究チーム	1991～1999
iii) エキゾチック・ナノ材料の研究	エキゾチック・ナノ材料研究チーム	1991～1999
(7) 情報処理研究		
i) 脳回路モデルの研究	脳回路モデル研究チーム	1994～1997
ii) 情報表現の研究	情報表現研究チーム	1994～1997
iii) 知能実現機能の研究	知能実現機能研究チーム	1994～1997
(8) ニューロン機能研究		
i) 機能分子の研究	機能分子研究チーム	1995～1997
ii) シグナル伝達機能の研究	シグナル伝達機能研究チーム	1995～1997
iii) 細胞内情報伝達の研究	細胞内情報伝達チーム	1995～1997
iv) 細胞骨格の研究	細胞骨格研究チーム	1995～1997
(9) 生体超分子システム研究		
i) 糖鎖発現制御の研究	糖鎖発現制御研究チーム	1999～
ii) 糖鎖機能の研究	糖鎖機能研究チーム	1999～

研究課題	担当研究室	期間
iii) スフィンゴ脂質発現制御の研究	スフィンゴ脂質発現制御研究チーム	1999～
iv) スフィンゴ脂質機能の研究	スフィンゴ脂質機能研究チーム	1999～
(10) 時空間機能材料研究		
i) 局所時空間機能の研究	局所時空間機能研究チーム	1999～
ii) 散逸階層構造の研究	散逸階層構造研究チーム	1999～
iii) 励起工学の研究	励起工学研究チーム	1999～
iv) トポケミカルデザインの研究	トポケミカルデザイン研究チーム	1999～
(11) 単量子操作研究		
i) デジタル・マテリアルの研究	デジタル・マテリアル研究チーム	2001～
ii) 巨視的量子コヒーレンスの研究	巨視的量子コヒーレンス研究チーム	2001～
iii) 量子ナノ磁性の研究	量子ナノ磁性研究チーム	2001～
iv) 量子現象観測技術の研究	量子現象観測技術研究チーム	2001～
(12) ものづくり情報化技術統合化研究		
i) ポリウムCADの研究開発	ポリウムCAD開発チーム	2004～
ii) VCATの研究開発	VCAT開発チーム	2004～
iii) 製品機能シミュレーションの研究開発	製品機能シミュレーションチーム	2004～
iv) 加工成形シミュレーションの研究開発	加工成形シミュレーションチーム	2004～
v) VCADのものづくり応用研究	VCADものづくり応用チーム	2004～
vi) 事業化の推進	事業化推進チーム	2004～
(13) ナノサイエンス研究		
i) ナノサイエンスにかかるプロジェクト研究	利用研究チーム (20サブチーム)	2004～
ii) 最先端ナノ技術の開発と支援	研究技術開発・支援チーム	2004～
(14) 融合的連携研究		
i) 次世代ナノバッテリーの研究	次世代ナノバッテリー研究チーム	2004～
ii) テラヘルツ生体センシングの研究	テラヘルツ生体センシング研究チーム	2004～
iii) エラストマー精密重合の研究	エラストマー精密重合研究チーム	2004～
iv) ナノ機能材料の研究	ナノ機能材料研究チーム	2004～
v) 高効率LEDデバイスの研究	高効率LEDデバイス研究チーム	2004～
vi) 複合機能発現材料の研究	複合機能発現材料研究チーム	2004～
vii) 高感度長波長光センシングの研究	高感度長波長光センシング研究チーム	2004～
(15) フォトダイナミクス研究 (I期)		
i) 光発生・計測の研究	光発生・計測研究チーム	1990～1998
ii) 光物性の研究	光物性研究チーム	1990～1998
iii) 光反応の研究	光反応研究チーム	1990～1998
iv) 光生物の研究	光生物研究チーム	1990～1998
(16) フォトダイナミクス研究 (II期)		
i) 光発生・計測の研究	光発生・計測研究チーム	1998～
ii) 光物性の研究	光物性研究チーム	1998～
iii) 光反応の研究	光反応研究チーム	1998～
iv) 光生物の研究	光生物研究チーム	1998～
v) 表面フォトダイナミクスの研究	表面フォトダイナミクス研究チーム	1998～
(17) バイオ・ミメティックコントロール研究 (I期)		
i) 運動回路網の研究	運動回路網研究チーム	1993～2001
ii) 運動遺伝子の研究	運動遺伝子研究チーム	1993～2001
iii) 生体ミメティックセンサーの研究	生体ミメティックセンサー研究チーム	1993～2001
iv) 制御系理論の研究	制御系理論研究チーム	1993～2001
(18) バイオ・ミメティックコントロール研究 (II期)		
i) 生物制御システムの研究	生物制御システム研究チーム	2001～
ii) 運動系システム制御理論の研究	運動系システム制御理論研究チーム	2001～
iii) 生物型感覚統合センサーの研究	生物型感覚統合センサー研究チーム	2001～
iv) 環境適応ロボットシステムの研究	環境適応ロボットシステム研究チーム	2001～
(19) 地震国際フロンティア研究		
i) 地殻電磁現象の観測	地殻電磁現象観測チーム	1996～2002
ii) 地殻電磁現象の解析	地殻電磁現象解析チーム	1999～2002
(20) 地震防災フロンティア研究		
i) 災害過程シミュレーションの研究	災害過程シミュレーションチーム	1998～2001
ii) 災害情報システムの研究	災害情報システムチーム	1998～2001
iii) 破壊・脆弱性の評価	破壊・脆弱性評価チーム	1998～2001

※上記の「基礎科学研究等課題の推移」は、特別研究を継承したものです。特別研究は、基礎科学研究に発展し、この他に各センターでもその他の基礎科学研究が展開していますが、上記表では割愛しました。

# 科学講演会開催実績一覧

日時	講演者	講演題目	来聴者数
第1回(1978.11.18) 13:00~17:00 経団連ホール	霜田光一(レーザー科学・主任研究員) 田村三郎(招聘研究員) 宮崎友喜雄(副理事長)	レーザーの原理と応用 理研の歩みとライフサイエンス 宇宙線をつかまえる	539名
第2回(1979.10.25) 13:00~17:00 大阪科学技術センター	宇野木早苗(海洋物理・主任研究員) 松山晃(放射線生物学・主任研究員) 赤堀四郎(相談役) 三隅二不二(大阪大学教授)	内海・内湾における潮の流れ 放射線の生物作用とその応用 ライフサイエンスの目標 リーダーシップ行動の科学	185名
第3回(1980.10.30) 13:00~17:00 経団連ホール	後藤英一(情報科学・主任研究員) 長倉三郎(理論有機化学・主任研究員) 柴田和雄(招聘研究員)	計算機による数式処理とその応用 分子設計 —分子の構造と機能は どこまで解明されたか— 光合成と生命	250名
第4回(1981.10.15) 12:30~17:30 愛知県産業貿易館西館	福井伸二(相談役) 曾田範宗(研究顧問) 安藤忠彦(微生物学・主任研究員) 田丸謙二(固体化学・主任研究員)	名古屋地区とのかかわりあい トライボロジ(tribology)とはなにか 遺伝子組換えにおける酵素の活用 触媒作用はどのようにして起こるか	198名
第5回(1982.10.15) 13:00~17:00 経団連ホール	吉田清太(変形工学・主任研究員) 島誠(地球科学・主任研究員) 掘越弘毅(微生物生態学・主任研究員)	日本の自動車車体の鋼板とプレスと それらの評価法 明日の資源を探し求めて宇宙と深海へ 好アルカリ性微生物の世界	297名
第6回(1983.10.18) 13:00~17:20 勾当台会館(仙台)	見里朝正(微生物薬理・主任研究員) 光岡知足(動物薬理・主任研究員)	これからの作物保護 —農業と食品の安全性— 成人病予防と食生活 —腸内細菌とのかかわりあいを考える—	370名
第7回(1984.10.24) 13:00~17:20 日刊工業ホール	上坪宏道(サイクロトロン・主任研究員) 深見順一(昆虫薬理・主任研究員) 難波進(レーザー科学・主任研究員)	理研の加速器科学の変遷と研究の現状 性フェロモンを利用した農作害虫の防除 ビーム工学と超LSI	294名
第8回(1985.10.25) 13:00~18:00 九州厚生年金会館	豊田浩一(半導体工学・主任研究員) 雀部博之(生体高分子物理・主任研究員) 岩木正哉(ビーム解析室・研究員) 村田朋美(新日鉄第1技研特別基礎第3研所長)	レーザー科学とその応用の新しい動向 ハイブリッド材料の開発研究 イオン注入による新しい表面層の創成 機能性材料としての鍍	317名
第9回(1986.10.29) 13:00~17:00 経団連ホール	駒形和男(ライフサイエンス培養生物部・部長) 遠藤勲(化学工学・主任研究員) 井川洋二(分子腫瘍学・主任研究員)	微生物の多様性 バイオリクターの最近の動向 遺伝子研究の医学への応用	443名
第10回(1987.10.27) 13:00~17:00 名古屋国際サロン	中川威雄(変形工学・主任研究員) 粕谷敬宏(マイクロ波物理・主任研究員) 坂倉照好(真核生物・主任研究員)	ファインセラミックスの成形と加工 レーザーの新しい応用を求めて 癌細胞は周囲と何を話し合っているか	250名
第11回(1988.10.20) 12:50~16:30 虎ノ門バストラル	後藤英一(情報科学・主任研究員) 掘越弘毅(微生物生態学・主任研究員) 小田稔(理事長)	磁束量子パラメトロンと超高感度磁束計 極限微生物 星空を飾る超新星の爆発 —藤原定家とマジェランとケプラー—	450名
第12回(1989.10.24) 12:40~17:10 富山県民会館	井上頼直(太陽光エネルギー科学・主任研究員) 青柳克信(レーザー科学・主任研究員) 佐田登志夫(理事)	植物の光エネルギー変換素子 —光合成系— 最近のエレクトロニクス材料の発展 もの造りの技術の発展と21世紀の機械工場	291名

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第13回(1990.10.16) 12:40~16:50 経団連ホール	永嶺謙忠(金属物理・主任研究員) 磯野清(抗生物質・主任研究員) 青野正和(表面界面工学・主任研究員)	21世紀を担う粒子、ミュオン 抗生物質と生命科学 表面科学が拓く世界	391名
第14回(1991.10.29) 12:40~17:10 ホテル福岡ガーデンパレス	谷畑勇夫(リニアック・主任研究員) 伊藤正男(国際フロンティア研究システム・グループ ディレクター) 国武豊喜(九州大学工学部・教授)	元素創成と不安定核 —短寿命核がなければ、あなたはいなかった— 脳の不思議 超薄膜がめざす技術革新	333名
第15回(1992.10.2) 12:40~17:30 経団連ホール	小田稔(理事長) 八木江里(東洋大学工学部教授) 菅野卓雄(国際フロンティア研究システムフロンティア・ マテリアル研究グループ・グループディレクター) 高橋信孝(理事)	21世紀を拓く研究所を目指して 日本の科学史における理化学研究所の役割 —第二次大戦前— 波としての電子と極微細構造 —ナノ・エレクトロニクス— 植物生活環の制御と植物ホルモン —ジベレリンを中心として—	336名
第16回(1993.10.22) 13:00~17:00 仙台市・仙台ホテル	田崎京二(国際フロンティア研究システムフォトダイナ ミクス研究センター・センター長) 吉良爽(反応物理化学・主任研究員) 桜井成(植物生活環制御・主任研究員)	眼と光 電子移動という単純な反応 —亀の甲ばかりが化学ではない— 花成ホルモンを追う —花芽の形成を誘導するホルモンを求めて—	197名
第17回(1994.10.26) 14:00~17:05 ヤクルトホール	伊藤正男(国際フロンティア研究システム・システム長) 御子柴克彦(分子神経生物学・主任研究員) 甘利俊一(国際フロンティア研究システム・情報処理 研究グループ・グループディレクター)	脳と心 脳がつくられるしくみ 脳とコンピュータ —人工頭脳の実現に向けて—	427名
第18回(1996.11.25) 13:00~16:25 和光市民文化センター 「サンアゼリア」	上坪宏道(理事) 平尾泰男(科学技術庁・放射線医学総合研究所・所長) 矢野安重(サイクロトロン・主任研究員) 谷畑勇夫(リニアック・主任研究員)	重イオン科学への扉を開く がん治療における重粒子線への期待 理研サイクロトロン10年間の歩みと今後の 展開 理研加速器研究施設における研究10年	355名
第19回(1997.10.30) 13:00~17:00 ホテルサンガーデン姫路	上坪宏道(理事) 飯塚哲太郎(生体物理化学・主任研究員兼理論構造 生物学・主任研究員) 川合真紀(表面化学・主任研究員)	21世紀の光「SPRING-8」 加速器の進歩から生まれた新しい生物学 —構造生物学研究— 原子・分子をあやつる	331名
第20回(1998.10.9) 13:00~16:45 横浜ロイヤルパーク ホテルニッコー	和田昭允(ゲノム科学総合研究センター・所長) 林崎良英(GSC 遺伝子構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター) 榎 佳之(GSC ゲノム領域構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター) 横山茂之(GSC タンパク質構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター)	ゲノム科学総合研究と新しいセンターの 役割 ゲノム科学と遺伝子エンサイクロペディアが 切り拓く新しい世界 生命の設計図“ゲノム”を読む タンパク質の形と働きに基づくゲノムの 理解	558名 (131名)

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第21回(1999.10.26) 13:30～16:50 経団連ホール	丸山瑛一(フロンティア研究システム・システム長) 国武豊喜(フロンティア:時空間機能材料研究グループ・グループディレクター) 鈴木明身(フロンティア:生体超分子システム研究グループ・グループディレクター) <b>特別講演</b> 江崎玲於奈(ノーベル物理学賞受賞者・前筑波大学長)	フロンティア研究の新展開 材料研究の新しい動き —「時空間機能材料」研究とは何か 情報認識・伝達の新しいしくみ —生体超分子システム研究の目指すもの 変革の時代 —科学者の歩んだ50年の道—	635名 (90名)
第22回(2000.11.6) 14:00～17:10 バンフィコ 横浜会議センター	吉良 爽(横浜研究所長・副理事長) 和田昭允(ゲノム科学総合研究センター・センター所長) 林崎良英(GSC 遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山茂之(GSC タンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之(GSC ゲノム構造情報研究グループ・プロジェクトディレクター) 杉山達夫(植物科学研究センター・センター長) 豊島久真男(遺伝子多型研究センター・センター長)	横浜研究所について ゲノム科学総合研究センターの特徴と戦略 RIKEN Mouse Genome Encyclopedia Project タンパク質の構造と機能 ヒトゲノム全解読国際プロジェクト —理研GSCの役割と貢献— 植物科学研究センターの発足にあたって 遺伝子多型研究について	689名 (140名)
第23回(2001.11.12) 13:30～17:00 東京国際フォーラム  「最先端のITが切り拓く科学技術」	牧野内昭武(ものづくり情報技術統合化研究グループ・プログラムディレクター) 姫野龍太郎(情報環境室 室長)  小長谷明彦(GSC 遺伝子ネットワークモデル化研究チーム・チームリーダー) 戎崎 俊一(情報基盤研究部・部長)	ものづくりのためのIT道具を創る —理研で始まったV-CADプロジェクト— 人体と流れのシミュレーションが拓く世界 ～血流から魔球まで～ ポストゲノム時代の バイオインフォマティクス ベタマシンで探るユニバース(森羅万象)	283名 (39名)
第24回(2002.7.8) 14:00～17:30 神戸ポートピアホテル  「発生・再生研究が切り拓く世界 —神戸研究所開所を記念して—」	竹市雅敏(発生・再生科学総合研究センター・センター長) 相澤慎一(ボディプラン研究グループ・グループディレクター) 近藤 滋(位置情報研究チーム・チームリーダー) 阿形清和(進化発生研究グループ・グループディレクター) 西川伸一(幹細胞研究グループ・グループディレクター)	発生・再生とは? 動物の体造り 動物の模様つくる化学反応の波 切っても切ってもプラナリア —再生の不思議— 再生医学の夢	538名 (92名)
2003年(2003.10.30) 14:00～17:20 東京国際フォーラム  「なるほど!脳の中身が見えてきた!」	利根川進(MIT Picower学習と記憶研究センター・センター長) 伊藤正男(脳科学総合研究センター・特別顧問 記憶学習機構研究チーム・チームリーダー) 甘利俊一(脳科学総合研究センター・センター長 脳数理研究チーム・チームリーダー)	学習と記憶の機構 脳の設計図は果たして読めるのか —脳科学の夢— 21世紀の脳科学	1220名 (129名)
2004年(2004.10.20) 13:30～17:30 経団連ホール 経団連会館14階  「分子から始まる新しい科学」	藤嶋 昭(東大名誉教授/財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長) 鈴木俊法(理化学研究所中央研究所・鈴木化学反応研究室主任研究員) 鈴木正昭(岐阜大学大学院医学研究科教授) 野依良治(理化学研究所理事長)	光触媒が活躍する 化学反応を探る:分子線とレーザーによる反応のスナップショット 人の中の分子を見る 力量ある化学合成にむけて	506名 (83名)

来聴者数欄の( )内は理研来聴者数で内数

# 年度別国別外国人研究者受入数

年度	国名	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
	バングラディシュ											
	インド	1 (0)	1 (0)				2 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	5 (1)	1 (0)
	インドネシア	3 (1)	2 (1)	2 (0)	5 (1)	8 (1)	7 (3)	7 (1)	13 (2)	8 (1)	4 (0)	
	イラン											
	イラク											
	クウェート							1 (0)				
	イスラエル			1 (0)				1 (0)	1 (0)	1 (0)		
	レバノン											
	マレーシア											
	モンゴル											
	ミャンマー											
	ネパール											
	パキスタン					1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
	フィリピン								1 (0)		2 (0)	
	シンガポール						1 (0)	1 (1)	1 (1)			
	スリランカ											
	台湾	1 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (1)	2 (2)	4 (2)	4 (4)	2 (1)	3 (0)	4 (2)	
	タイ							3 (0)	5 (1)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
	トルコ	1 (1)										
	ベトナム											
	アルジェリア											
	エジプト					1 (0)		1 (0)	1 (1)	1 (1)		
	エチオピア											
	ガーナ											
	ケニア											
	リビア											
	モロッコ											
	チュニジア											
	ザイール											
	オーストラリア				1 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
	フィジー											
	ニュージーランド	1 (0)										
	アルメニア											
	オーストリア							1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	
	アゼルバイジャン											
	ベルギー											
	ベラルーシ											
	ボスニアヘルツェゴビナ											
	ブルガリア											
	クロアチア											
	キプロス											
	デンマーク	1 (0)										
	エストニア											
	フィンランド				1 (0)					1 (0)	1 (0)	1 (0)

年度別国別外国人  
研究者受入数

( ) 内は、前年度からの継続者で内数

1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
			1 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	4 (3)	7 (2)	7 (1)
1 (1)	4 (1)	5 (2)	7 (3)	5 (5)	7 (3)	9 (3)	22 (7)	32 (16)	35 (14)	37 (17)	42 (13)	34 (9)	32 (10)
	3 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	6 (2)	6 (1)	2 (1)	5 (0)	3 (1)		1 (0)	3 (0)	2 (1)
		2 (0)				1 (0)	2 (1)	2 (0)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	5 (3)	6 (4)
1 (0)	1 (1)	1 (1)					1 (0)						
	1 (0)			3 (0)	1 (0)	3 (1)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
								1 (0)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	2 (2)	
				1 (0)		3 (0)	2 (1)	3 (2)	5 (3)	5 (2)	4 (3)	5 (3)	7 (2)
						1 (0)	1 (0)						
				1 (0)	1 (1)	1 (1)							
											1 (0)	1 (1)	
											1 (0)		
						2 (0)	2 (0)	3 (1)	1 (0)	2 (0)	2 (2)		
		2 (0)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	
												1 (0)	2 (1)
	1 (0)	1 (1)	4 (1)	4 (2)	6 (2)	3 (2)	7 (2)	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	4 (1)	6 (0)
1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	5 (1)	8 (2)	7 (2)	6 (2)	7 (2)	5 (3)
				1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)						
					1 (0)	2 (1)	6 (1)	5 (3)	14 (4)	17 (7)	9 (6)	7 (4)	11 (4)
		1 (0)	1 (0)	1 (1)		1 (0)	1 (1)	1 (0)			1 (0)	1 (0)	
	1 (0)	1 (1)	1 (1)							2 (0)	2 (1)	2 (1)	6 (2)
		1 (0)											
			1 (0)	1 (1)									
					1 (0)							1 (0)	1 (1)
							1 (0)						
										1 (0)	1 (1)		
													1 (0)
		1 (0)	1 (1)	1 (1)									
2 (2)	2 (2)	3 (2)	1 (0)	1 (0)	4 (1)	7 (3)	8 (2)	6 (4)	6 (3)	3 (2)	5 (1)	8 (2)	4 (2)
						1 (0)							
					1 (0)	2 (1)	2 (1)	1 (0)	2 (1)	1 (1)		2 (0)	
						1 (0)		1 (0)	3 (0)	5 (2)	3 (2)	3 (3)	5 (2)
						2 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
													2 (0)
		1 (0)			3 (0)		1 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)		1 (0)	1 (0)
				1 (0)	1 (1)				1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)
													1 (0)
	1 (0)	2 (1)	2 (0)	3 (2)	3 (2)	4 (1)	6 (4)	4 (4)	2 (0)	3 (1)	3 (1)	4 (1)	3 (2)
											1 (0)	1 (0)	1 (0)
								1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
			1 (0)	1 (0)		1 (0)	2 (1)	3 (1)	1 (1)			1 (0)	2 (0)
									1 (0)				
1 (1)	2 (0)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	4 (0)	2 (1)	1 (0)		2 (0)	1 (1)	4 (0)	4 (0)	3 (0)

年度	国名	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
	仏国	1 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (0)	3 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (1)	
	グルジア											
	独国 (西)	1 (0)	6 (0)	4 (1)	3 (1)	3 (0)	9 (2)	8 (1)	11 (4)	7 (2)	8 (0)	1 (0)
	(東)					1 (0)		1 (0)			1 (0)	
	ギリシャ										1 (0)	1 (0)
	ハンガリー							1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	
	アイルランド										1 (0)	
	イタリア	1 (0)										
	ラトビア											
	リトアニア											
	マセドニア											
	モナコ											
	オランダ	1 (0)								1 (0)	1 (1)	
	ノルウェー		1 (0)									
	ポーランド		1 (0)	1 (0)				1 (0)	1 (1)			
	ポルトガル			1 (0)	1 (1)					1 (0)	1 (1)	
	ルーマニア											
	ロシア			2 (0)				1 (0)	3 (1)	2 (0)		
	チェコ											
	スロバキア		1 (0)			1 (0)					1 (0)	
	スロベニア											
	スペイン											
	スウェーデン	2 (1)		1 (0)					1 (0)	1 (0)		1 (0)
	スイス		1 (0)					1 (0)	1 (0)	1 (0)		
	タジキスタン											
	英国		2 (0)	5 (1)		2 (0)	2 (1)	3 (0)	5 (0)	2 (0)	3 (0)	
	ウクライナ											
	ユーゴスラビア											
	韓国	2 (0)	1 (0)	3 (0)	8 (4)	7 (2)	10 (2)	9 (1)	10 (2)	14 (3)	25 (5)	2 (0)
	中国		1 (0)	1 (0)	7 (1)	15 (6)	21 (10)	26 (7)	23 (9)	32 (11)	36 (14)	
	北朝鮮									2 (0)	3 (2)	
	アルゼンチン				1 (0)							
	ブラジル	1 (0)									2 (0)	
	ポリビア			1 (0)	1 (0)		1 (0)	1 (1)				
	コロンビア											
	キューバ											
	メキシコ										1 (0)	
	ペルー											
	トリニダードトバコ											
	ウルグアイ											
	日本											
	カナダ		1 (0)	1 (0)			1 (0)	1 (0)		1 (0)	2 (0)	
	米国	7 (0)	13 (1)	6 (1)	12 (1)	13 (2)	10 (3)	15 (1)	15 (1)	18 (1)	13 (1)	2 (0)
	不明											
	合計	24 (3)	33 (3)	33 (3)	46 (10)	59 (13)	76 (24)	93 (19)	102 (27)	107 (21)	121 (28)	10 (0)



年度別国別外国人  
研究者受入数

( ) 内は、前年度からの継続者で内数

1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
1 (0)	2 (1)	4 (1)	6 (1)	6 (3)	11 (2)	15 (7)	27 (8)	27 (9)	22 (7)	26 (6)	29 (9)	23 (8)	31 (5)
							1 (0)						1 (0)
2 (1)	7 (1)	11 (3)	19 (5)	34 (10)	38 (15)	44 (19)	33 (14)	36 (8)	59 (19)	55 (19)	31 (9)	42 (9)	43 (15)
1 (0)	3 (1)	3 (3)	2 (2)			1 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	6 (1)	5 (2)	3 (1)	1 (1)
2 (0)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (1)	3 (3)	5 (1)	11 (1)	7 (0)	8 (0)	11 (1)
	1 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (2)								
	2 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	14 (0)	6 (3)	13 (3)	10 (6)	16 (5)	16 (6)	11 (7)	10 (6)
		1 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (2)					1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)
													1 (0)
										1 (0)	1 (1)		
												1 (0)	
1 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (3)	7 (3)	6 (3)	3 (2)	4 (1)	8 (2)	8 (4)
				1 (0)	2 (0)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (0)				
	1 (0)		1 (0)	3 (1)	6 (3)	9 (4)	9 (8)	10 (2)	7 (2)	4 (3)	5 (2)	9 (3)	8 (2)
1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (0)	2 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (0)		
				1 (0)	5 (1)	2 (2)	6 (0)	7 (2)	5 (1)	13 (0)	14 (1)	9 (2)	10 (5)
		1 (0)	7 (0)	8 (3)	16 (4)	21 (7)	43 (11)	37 (7)	33 (12)	69 (12)	67 (14)	58 (14)	44 (14)
	1 (0)						3 (0)			2 (0)	1 (1)	4 (0)	5 (0)
											2 (0)	2 (1)	3 (1)
											1 (0)	1 (1)	3 (0)
	1 (0)	1 (1)	2 (1)				1 (0)	2 (0)			2 (0)	4 (1)	2 (0)
1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	4 (1)	14 (3)	6 (2)	5 (1)	5 (2)	10 (0)	6 (2)	2 (2)	4 (1)
	1 (0)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (1)	4 (2)	3 (2)	6 (0)	2 (2)	1 (1)	4 (0)	3 (1)	3 (1)
										1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
1 (0)	6 (1)	11 (4)	10 (6)	14 (5)	12 (6)	20 (6)	19 (10)	28 (9)	21 (9)	20 (5)	20 (5)	19 (6)	26 (10)
					1 (0)		1 (0)		2(0)	5 (2)	5 (3)	3 (1)	5 (1)
							2 (0)	1 (1)			1 (0)	1 (1)	
4 (2)	12 (3)	21 (9)	23 (9)	25 (7)	39 (14)	38 (14)	43 (15)	53 (24)	52 (18)	58 (22)	59 (28)	44 (19)	43 (20)
4 (0)	23 (4)	49 (20)	69 (29)	92 (43)	104 (65)	107 (58)	118 (64)	154 (67)	134 (67)	130 (64)	128 (66)	118 (53)	118 (49)
		1 (0)	1 (1)							1 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
	1 (0)	1 (0)	5 (1)	5 (4)		1 (0)	3 (1)	7 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
										1 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (1)
										1 (0)	1 (1)		2 (0)
							1 (0)		2 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (1)
												1 (0)	
													1 (0)
1 (0)	1 (1)	1 (1)											
	1 (0)		1 (0)	2 (1)	3 (1)	4 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)
2 (0)	4 (2)	4 (3)		2 (0)	4 (2)	10 (1)	6 (4)	7 (2)	7 (4)	10 (3)	10 (2)	8 (0)	15 (4)
3 (2)	7 (3)	16 (5)	14 (5)	24 (7)	28 (6)	37 (10)	41 (11)	47 (21)	37 (17)	61 (11)	59 (13)	58 (18)	57 (21)
					4 (0)								
30 (9)	97 (27)	162 (66)	198 (78)	263(103)	336(143)	410(157)	468(190)	541(202)	519(210)	615(206)	594(211)	560(187)	576(200)

※1988年より集計方法が異なります。1988年、1989年については十分なデータが残っていません。

# 年度別外来研究者等受入数

種別	年度	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
(常勤)										
委託研究生		35	35	23	32	42	45	35	36	56
研究生		143	75	81	81	143	110	117	177	41
研修生										141
小計		178	110	104	113	185	155	152	213	238
(非常勤)										
客員研究員		—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘱託		92	92	112	132	136	97	99	113	107
小計		92	92	112	132	136	97	99	113	107
計		270	202	216	245	321	252	251	326	345
種別	年度	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975
(常勤)										
委託研究生		42	55	69	112	94	93	93	91	88
研究生		34	36	33	20	7	22	34	40	31
研修生		113	126	152	159	158	160	169	166	170
小計		189	217	254	291	259	275	296	297	289
(非常勤)										
客員研究員		—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘱託		114	117	126	142	145	158	167	172	168
小計		114	117	126	142	145	158	167	172	168
計		303	334	380	433	404	433	463	469	457
種別	年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
(常勤)										
流動研究員		16( 4)	29( 7)	24( 6)	38( 7)	36( 8)	42( 9)	46( 9)	40( 8)	38( 13)
委託研究生		31( 0)	77( 1)	68( 0)	55( 1)	96( 0)	120( 5)	126( 3)	151( 3)	140( 0)
研究生		36( 4)	38( 4)	38( 5)	33( 0)	33( 0)	30( 5)	29( 4)	22( 3)	17( 1)
研修生		165( 1)	200( 1)	204( 3)	208( 0)	219( 1)	226( 2)	215( 1)	272( 1)	278( 4)
小計		248( 9)	344( 13)	334( 14)	334( 8)	384( 9)	418( 21)	416( 17)	485( 15)	473( 18)
(非常勤)										
客員研究員		14	14	14	15	16	15( 0)	15( 0)	25( 0)	26( 0)
嘱託		208( 10)	200( 13)	230( 10)	245( 25)	279( 23)	293( 25)	340( 43)	434( 62)	488( 75)
小計		222( 10)	214( 13)	244( 10)	260( 25)	295( 23)	308( 25)	355( 43)	459( 62)	514( 75)
計		470( 19)	558( 26)	578( 24)	594( 33)	679( 32)	726( 46)	771( 60)	944( 77)	987( 93)
種別	年度	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
(常勤)										
流動研究員		41( 15)	31( 12)	42( 14)	44( 15)	42( 16)	40( 14)	35( 13)	41( 24)	46( 30)
委託研究生		195( 11)	204( 5)	184( 11)	176( 14)	168( 3)	140( 0)	140( 0)	140( 0)	41( 0)
研究生		13( 2)	15( 0)	27( 0)	35( 0)	41( 0)	30( 3)	24( 2)	32( 3)	50( 5)
研修生		290( 6)	331( 2)	361( 11)	347( 11)	39( 7)	407( 15)	487( 23)	511( 27)	601( 16)
小計		539( 34)	581( 19)	614( 36)	602( 40)	290( 26)	617( 32)	686( 38)	724( 54)	738( 51)
(非常勤)										
客員研究員		25( 0)	22( 0)	18( 0)	18( 0)	14( 0)	13( 0)	13( 0)	11( 0)	11( 0)
嘱託		485(124)	528( 88)	593( 85)	727(124)	728(154)	808(134)	891(165)	957(161)	1,096(207)
小計		510(124)	550( 88)	611( 85)	745(124)	742(154)	821(134)	904(165)	968(161)	1,107(207)
計		1,049(158)	1,131(107)	1,225(121)	1,347(164)	1,032(180)	1,438(166)	1,590(203)	1,692(215)	1,845(258)
種別	年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
(常勤)										
流動研究員		38( 19)	—	—	—	—	—	—	—	—
奨励員		—	57( 15)	73	48	53	241	314	—	—
協力員		—	9( 6)	102	142	138			—	—
委託研究生		39( 4)	44( 2)	49	31	29	19	26	38	38
研究生		52( 0)	35( 2)	10	649	603	659	780	925	1,083
研修生		622( 37)	601( 32)	797						
小計		751( 60)	746( 57)	1,031	870	823	919	1,120	963	1,121
(非常勤)										
客員研究員		8( 0)	956(252)	1,235	1,256	1,325	1,786	1,721	1,765	1,789
嘱託		1,184(240)	282( 22)	338						
小計		1,192(240)	1,238(274)	1,573	1,256	1,325	1,786	1,721	1,765	1,789
計		1,943(300)	1,984(331)	2,604	2,126	2,148	2,705	2,841	2,728	2,910

※( )内人員：外国人を示し内数

# 国際協力の現状

国際協力の  
現状

【 】内は担当研究所等

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
多国間 プロジェクト	数式処理 システム	1978年11月～ (終了時期不明)	ランド・コーポレーション (ユタ大学)、ケンブリ ッジ大学	数式処理専用計算機・ソフトウェアの 開発	【中央研究所】
	バイオテクノロジー	1985年4月 ～1991年3月		東南アジア、中南米等の研究者を バイオテクノロジー関係研究室に受 け入れ、研修を実施	国際協力事業団(JICA) のプログラムによる
	バイオデザイン研究	1990年10月 ～2001年3月	2カ国10機関	バイオデザイン国際共同研究にかかる 研究費、研究者派遣滞在費等の支援	【中央研究所】 バイオデザイン研究グループ
	バイオテクノロジー	1991年10月 ～1993年3月	アリゾナ大学、チリ・カ トリック教皇大学	医薬・農薬への応用に向けた生理活 性物質の発見のための植物収集に 関する共同研究	【中央研究所】
	放射光光学	1993年5月～	アルゴンヌ国立研究所/ 欧州放射光施設(ESF)	SPring-8理研ビームラインを用いた 光学素子評価の共同実施	【播磨】
	フェローシップ研究 者受入れ	1996年4月 ～2003年8月		理研フェロー	【研究調整部】
	ヒトゲノム配列決 定コンソーシアム	1996年5月～	4カ国7機関 (理研を除く)	ヒト21番、11番、18番染色体の長 腕のクローンに基づいた解析による 配列決定	【横浜・ゲノムセンター】
	HETE-2プロジェクト	1997年8月～	マサチューセッツ工科大 学/NASA/シンガポ ール大学	ガンマ線バースト探査衛星HETE-2 を利用した高エネルギートランジェント 天体の探査	【中央研究所】
	事務職員海外 研修派遣制度	1998年1月～	カリフォルニア大学パー クレー校、国立科学基 金、CNRS他	事務系職員に国際経験を積ませるた め、海外の関係機関等への派遣を 実施	【総務部】
	地震フロンティア	1999年12月 ～2001年3月 (防災研に移管)	7カ国8機関	アジア・太平洋地域に適した地震・津 波災害軽減技術の開発とその体系 化に関する研究	【フロンティア】 地震フロンティア (現防災研)
	FANTOM (Functional Annotation of Mouse) プロジェクト	2000年～	12カ国53機関 (理研を除く)	国際的コンソーシアムによるマウス遺 伝子の完全長cDNAの予測機能の 注釈付け及びゲノムネットワーク解析 の共同研究	【横浜・ゲノムセンター】
	OECD/CERI プロジェクト	2000年～	5カ国8機関	OECD教育研究革新センターが教育 の革新とその実践のために行ってい る研究事業のひとつ「学習科学と脳 研究プロジェクト」の研究ネットワ ークのひとつ、「生涯に亘る学習のネット ワーク」にかかる研究協力を実施	【BSI】
	アジア連携大学院	2001年1月～	釜山大学(韓国)、北 京大学(中国)、国立 交通大学(台湾)、ハ ノイ科学大学(ベトナム)、カセサート大学 (タイ)、マレーシア科学 大学(マレーシア)	連携大学院の博士課程学生を受け 入れ、理研の研究者が連携大学院 の客員教官として指導。博士論文 のための研究を実施させる	【研究調整部】
	チンパンジー ゲノム配列決定 コンソーシアム	2001年3月～	5カ国7機関 (理研を除く)	(1)チンパンジーゲノム配列地図の作 成とヒトゲノム配列との詳細な照合 (2)チンパンジー22番染色体の配列 決定とヒト21番染色体との比較解析 (3)チンパンジーY染色体の配列決定	【横浜・ゲノムセンター】
	マウス完全長 cDNAクローンを 用いた共同研究	2001年6月～	5カ国12機関	理研より外部機関に完全長cDNAク ローンを提供	【横浜・ゲノムセンター】

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
米国	バイオテクノロジー	1985年7月 ～1994年6月	デュボン社		
	太陽光エネルギー科学	1986年10月 ～2001年7月	イリノイ大学、 ジョージア大学他	日米エネルギー研究開発協力の一環として、光合成による太陽エネルギー変換に関する研究者交流等を実施	
	分子遺伝学	1988年6月 ～1990年9月	ワシントン大学	協定に基づき、分子遺伝学に関する研究協力を実施	【筑波】
	新生物制御科学研究	1988年4月 ～1993年3月	アリゾナ大学	砂漠植物からの新規天然物質の応用	【中央研究所】
	核物理	1991年10月～	カンザス州立大学	低速多価イオン、反陽子と原子、分子の相互作用に関する共同研究を実施	【中央研究所】
	ゲノム科学	1992年9月 ～1995年3月	ジョンズ・ホプキンス大学	ゲノムデータベースへの支援	【筑波】
	スピン物理	1993年～	ブルックヘブン 国立研究所	RHIC加速器での偏極陽子加速とそれを用いたスピン物理研究の共同推進	1997年に理研BNL研究センターを設置 【中央研究所】
	生物学	1995年2月～	カリフォルニア大学 バークレー校	植物科学分野を中心に、協力協定に基づく研究者交流等を実施	【中央研究所】 【横浜・植物センター】
	生物学	1997年4月 ～2002年4月	テネシー大学 メンフィス校	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【筑波】
	計算科学、素粒子物理、加速器科学	1997年7月～	コロンビア大学	スピン物理用計算機開発、加速器用ポラリスメーターの開発、素粒子物理学関係の共同研究等を実施	【中央研究所】
	脳科学	1998年10月～	マサチューセッツ 工科大学	脳の記憶・学習機構の解明を中心とした共同研究	RIKEN-MIT脳科学研究センターを設立し、連携研究を実施【BSI】
	ゲノム科学	1999年6月～	スタンフォード大学／ハ ワード・ヒューズ・メディ カル・インスティテュート	ゲノム分野における共同研究を実施	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	1999年7月 ～2002年7月	ハーバード大学	協力協定に基づく共同研究等の実施	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	1999年12月 ～2000年12月	国立衛生研究所 (NIH)	ゲノム分野における基礎から応用研究に至る広範囲な国際的／学際的研究活動を共同で推進	【横浜・ゲノムセンター】
	脳科学	1999年12月 ～2000年12月	アイオワ大学	協力協定に基づく共同研究等の実施	【BSI】
	脳科学	2000年1月～	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	協力協定に基づく共同研究等の実施	【BSI】
	地震 フロンティア	2000年5月 ～2001年3月 (防災研に移管)	中部アメリカ地震センター ／米国地震工学研究 センター	地震災害軽減技術に関する共同研究等を実施	【フロンティア】 地震フロンティア (現防災研)
	ゲノム科学	2000年12月～	カリフォルニア・パシフィ ック・メディカル・センター (GPMC)	協力協定に基づく共同研究等の実施	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	2001年1月～	カリフォルニア 工科大学(Caltech)	G-タンパクを介した遺伝子発現変動の解析	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	2001年8月 ～2002年2月	カリフォルニア大学 バークレー校	脳における遺伝子発現パターンの解析／遺伝子による免疫システムの調節に関する研究	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学 (植物)	2002年1月 ～2004年1月	SSPコンソーシアム	シロイヌナズナ完全長cDNAの全長塩基配列決定および機能アノテーション	【横浜・ゲノムセンター】

【 】内は担当研究所等

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
	ゲノム科学	2002年1月～	ボーイズタウン研究所 病院／ネブラスカ大学 メディカルセンター	協力協定に基づく共同研究等の実施	【横浜・ゲノムセンター】
	脳科学	2002年7月～	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	協力協定に基づき慢性多点電極記 録システムの開発に関する共同研究 を実施	【BSI】
	天体物理学	2002年9月～	アラバマ州立大学	観測用大型光学素子に関わる研究 開発の実施	【中央研究所】
	ゲノム科学	2003年3月～	ニューヨーク州立大学 バッファロー校	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	2003年4月～	ハーバード大学 カレッジ	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	2003年5月～	ミシガン大学 メディカルスクール	脳下垂体前葉に存在する細胞の分子 的な制御の理解に関する共同研究	【横浜・ゲノムセンター】
	再生生物学	2003年5月～	テキサス大学生物 医科学大学院	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【神戸発生・再生センター】
	ゲノム科学	2003年8月～	ノースカロライナ大学 チャペルヒル校	FANTOM2を使用した共同研究を実施	【横浜・ゲノムセンター】
アルメニア	脳科学	2000年10月～	アルメニア国立科学ア カデミー-L. A. オーベリ 生理学研究所	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【BSI】
英国	太陽光エネルギー 科学	1986年2月 ～1989年2月	ロンドン大学 キングスカレッジ	微生物電池の開発研究の実施	【中央研究所】
	放射線生物学	1987年10月 ～1993年12月	英国医学研究会議放射 線生物研究所 (MRC-RBU)	低エネルギー放射線、高エネルギー 量子線を用いたDNA損傷に関する研 究を実施	【中央研究所】
	ミュオン科学	1990年9月～	研究評議会中央 研究所 (CCLRC)	ラザフォード・アップルトン研究所ISIS 施設に大強度パルス状「ミュオン」施 設を設け、CCLRCと共同運用して 研究を実施	RIKEN-RALミュオン施 設は1994年に完成 【中央研究所】
	ライフサイエンス	1991年6月 ～1996年7月	ブリストル大学 Long Ashton Research Station	植物制御に関する研究協力を実施	【中央研究所】
	計算科学	1997年1月～	バース大学物理学科	第一原理分子動力学計算の並列化 に関する研究	二国間プロジェクト
	計算科学	1997年5月～	CCLRC ダルズベリー研究所	大規模な分子動力学シミュレーション による物性の研究	二国間プロジェクト
	分子生物学／ 物理科学	2000年12月～	CCLRC ダルズベリー研究所	施設を相互利用、シンポジウムの開 催等により、放射光科学及び構造 生物学に関する協力を実施	【播磨】
	ゲノム科学	2001年10月～	メディカルリサーチカウ ンシル (MRC)	広範囲な国際的／学際的研究活動 を推進し、マウス、ヒトその他ゲノム の発現解析を含む基礎から応用研究 に至るゲノム科学の総合的研究に関 する研究協力を実施	【横浜・ゲノムセンター】
	脳科学	2003年4月～	サンダーランド大学 ビジネススクール	協力協定に基づく研究協力の実施	【BSI】
	量子現象観測 技術研究	2003年9月～	ケンブリッジ大学	電子線ホログラフィーによる電磁場 観察技術の開発にかかる共同研究 を実施	【フロンティア】
イスラエル	姉妹協定に基づく 研究交流等	1996年7月～	ワイツマン研究所	ゲノム科学、脳科学の分野で研究 協力が行われている	【横浜・ゲノムセンター】 【BSI】

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
イタリア	核物理学	1991年10月～	国立核物理研究所 (INFN)	重イオン物理に関する共同研究(理研、INFN双方の加速器施設を利用して実施)、合同シンポジウム等を実施	【中央研究所】
	核物理学	1997年5月～	国立エネルギー環境新技術研究所 (ENEA)	原子核物理に関する共同研究、研究者交流を実施	【中央研究所】
	ゲノム科学	2000年11月～	国立生物工学系大学連合研究所	協力協定に基づく研究協力の実施	【横浜・ゲノムセンター】
インド	加速器科学	1996年4月～2001年4月	先端技術センター (CAT)	協力協定に基づく研究協力の実施	【中央研究所】
	脳科学	2002年10月～	インド技術研究所 生物科学・生物工学部門	協力協定に基づく研究協力の実施	【BSI】
	脳科学	2003年4月	国立脳科学研究センター	脳科学総合研究センターとの間に姉妹協定を締結し、研究協力を実施	【BSI】
インドネシア	微生物食品／微生物細菌	1977年1月～1983年度	インドネシア原子力庁	食品貯蔵に関する微生物学的及び生化学的研究／新しい害虫防除技術に関する研究	【中央研究所】 二国間協定に基づく協力
	バイオテクノロジー	1979年度～1981年度	バジャジャラン大学	熱帯植物に含まれる新生理活性物質の研究／熱帯、亜熱帯の微生物・植物の総合的な開発利用技術に関する研究／新有用遺伝子資源の探索と活用に関する研究	【中央研究所】 二国間協定に基づく協力
	バイオテクノロジー	1984年4月～1987年度	原子力庁パサジュマ・アイソトープ・ラディエーションセンター	未知な昆虫毒、貝毒、魚毒等の医薬、農薬利用に関する研究	【中央研究所】 二国間協定に基づく協力
	バイオテクノロジー	1985年1月～1987年3月	バジャジャラン大学、技術開発応用庁	熱帯産微生物及び植物の生物工学的開発に関する研究	【中央研究所】 二国間協定に基づく協力
	姉妹協定	1989年11月～	技術評価応用庁 (BPPT)	H.4.3.～6.6.まで植物関係で研究者受け入れ	二国間協定に基づく協力
オーストラリア	バイオテクノロジー	1982年7月～	オーストラリア国立大学	熱帯・亜熱帯の植物生長調整物質に関する科学的分析を実施	【中央研究所】 二国間協定に基づく協力
	姉妹協定に基づく研究交流等	1984年5月～	連邦科学産業研究機構 (CSIRO)	植物機能に関する研究協力を実施	【中央研究所】
	ライフサイエンス	1997年6月以前	エラスムス大学 医学遺伝学センター		二国間協定に基づく協力
オーストリア	原子物理学	2000年3月～	ウィーン工科大学 理論物理研究所 (TU)	低速多価イオンと表面の相互作用に関する研究協力の実施	【中央研究所】
カナダ	姉妹協定に基づく研究交流等	1997年9月～	国家研究会議 (NRC)	姉妹協定に基づき、計算科学、細胞制御化学、ゲノム科学の分野での協力を推進	【中央研究所】 【横浜・ゲノムセンター】
	ゲノム科学	2001年1月～	トロント大学附属 小児病院 (HSC)	ハイブリゼーションスクリーニングのための高密度フィルターの製造に関する共同研究	【横浜・ゲノムセンター】
	脳科学	2003年3月～	ヘルスネットワーク大学 オンタリオ癌研究所	協力協定に基づく研究協力の実施	【BSI】
韓国	姉妹協定に基づく研究交流等	1989年11月～	韓国科学技術研究院 (KIST)	姉妹協定を継続中	【中央研究所】
	生物化学	1992年4月～	韓国生命工学研究所 (KRIBB)	微生物起源の新規生物活性物質に関する化学的・生物学的研究を実施	二国間協定に基づく協力
	姉妹協定に基づく研究交流等	1994年5月～	韓国化学研究所 (KRICT)	植物科学研究分野での協力を実施	【横浜・植物センター】 【中央研究所】
	加速器科学	1997年4月～	韓国がんセンター病院 (KCCH)	重イオン加速器分野で協力協定に基づく研究協力を実施	【中央研究所】

【 】内は担当研究所等

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
	加速器科学	2000年1月～	浦項加速器研究所 (PAL)	放射光科学に関する共同研究、情報交換等を実施	【播磨】
	素形材工学	2000年2月～	韓国産業技術研究院 (KITECH)	マイクロファブリケーションに関する研究者交流を目的としたシンポジウム等を実施	【中央研究所】
ギリシャ	ゲノム科学	2002年1月～	生物医学研究センター “Al. Fleming”	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【横浜・ゲノムセンター】
	脳科学	2003年4月～	パトラ大学医学部 生理学部神経生理ユニット	協力協定に基づく研究者交流等を実施	【BSI】
シンガポール	発生生物学	2003年7月～	テマセク生命科学研究所	協定に基づく研究交流を実施	【発生・再生センター】
スイス	原子物理	1998年12月～	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	CERNに設置されている反陽子減速器を用い、「反陽子を用いた反物質科学」、「超低速反陽子を用いた反陽子原子と反水素の物理学」等の研究を実施	【中央研究所】
	放射光科学	2000年10月～	ポールシェラー研究所 (PSI)	PSI施設を利用した新型放射光発生装置の開発研究等の共同研究を実施	【播磨】
	スピン物理	2002年1月～	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	シリコンピクセル検出器の開発研究	【中央研究所】
	ゲノム科学	2003年7月～	ベルン大学	FANTOM2クローンを用いた共同研究を実施	【横浜・ゲノムセンター】
スウェーデン	原子物理、ナノ	1995年7月～	ルント大学	原子物理学、ナノテクノロジーの分野での協力を推進	【中央研究所】
	原子物理	2000年10月～	ストックホルム大学	多価イオン、RIイオン、反陽子のトラップに関する共同研究、ワークショップ等の実施	【中央研究所】
	姉妹協定に基づく研究交流等	2001年11月～	カロリンスカ研究所	ゲノム科学における包括的な協力関係を樹立し、脳研究の発展に関する研究協力を推進。2004年10月には包括的協力協定を締結	【横浜・ゲノムセンター】 【BSI】
タイ	生物学 分子生物学	1996年4月以前 1999年9月～	タイ科学技術研究所 カセサート大学	協力協定に基づく研究者交流等を実施	二国間プロジェクト 【中央研究所】
台湾	物理学等	2001年6月～	中央研究院	協力協定に基づく研究者交流等を実施	
中国	薬物学	1981年6月～1982年3月	中国科学院上海薬物研究所	中国の生薬の有効成分の分析による新しい生理活性物質の探索に関する研究	【中央研究所】
	宇宙線科学	1981年9月～1982年3月	中国科学院北京空間物理研究所	中国国内の高山に大型中性子計を設置し、高精度の宇宙線共同観測を実施	【中央研究所】
	姉妹協定に基づく研究交流等	1982年5月～	中国科学院	協定に基づき、研究者の招聘、派遣を実施 併せて、傘下の近代物理研究所、高能物理研究所、上海分院、上海細胞生物学研究所、新疆生物土壤砂漠研究所とも協定に基づく研究協力を実施	【中央研究所】
	薬物学	1983年1月～1991年3月	上海市農薬研究所	中国産土壌微生物から農薬用抗生物質の探索を実施	【中央研究所】
	加速器科学	1999年1月～	北京大学	協力協定に基づき、研究者交流等を実施	【中央研究所】

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
	生体分子工学・原子物理学	2001年2月～	上海交通大学	協力協定に基づき、研究者交流等を実施	【中央研究所】
独国	姉妹協定に基づく研究交流等	1984年6月～	マックス・プランク協会	姉妹協定に基づき、傘下の生物物理化学研究所、分子植物生理学研究所、認識脳科学研究所、分子遺伝学研究所、生化学研究所、生物物理学研究所、医科学研究所、分子細胞生物学遺伝子研究所との間で研究協力が行われている	【横浜・ゲノムセンター】 【横浜・植物センター】 【発生再生センター】 【播磨】 【フロンティア】
	材料化学	1986年4月～	ブレーメン大学他	有機化合物、無機化合物、金属を分子レベルで複合化した新規機能性材料の開発を目指した共同研究を実施	【中央研究所】
	核物理	1992年4月～	フランクフルト(ゲーテ)大学	多価重イオンと原子衝突に関する共同研究等の実施	【中央研究所】
	フェロシップ研究者受入れ	1992年～	ドイツ研究財団	ドイツ研究財団より若手研究者を受け入れ	【研究調整部】
	核物理学	1995年5月～	重イオン科学研究所(GSI)	加速器科学、原子物理学の分野で共同実験、共同研究を進めている	【中央研究所】
	脳科学	2003年4月～	ライプチヒ大学心理学部	協力協定に基づく共同研究を実施	【BSI】
	ナノテクノロジー	2003年4月～	コンスタンツ大学	超低温と光を相補的に用いたナノサイエンスに関する研究協力を実施	【中央研究所】
ニュージーランド	姉妹協定に基づく研究交流等	1993年7月～	クラウン研究所	1987年に科学産業研究庁(DSIR)との間に締結した機関間協力協定を引き継ぎ、締結	
ハンガリー	生物科学	1990年3月～	ハンガリー科学アカデミー植物保護研究所	二国間協力協定に基づき、フェロモン産生メカニズムに関する研究協力を実施	【中央研究所】
	核物理学	1992年4月～	ハンガリー科学アカデミー核研究所(ATOMKI)	二国間協力協定に基づき、多価イオンと原子の衝突、非中性プラズマに関する研究協力を実施	【中央研究所】
フィンランド	加速器科学	1986年6月～	ユバスキラ大学	イオンガイド法によるオンラインアイソトープ分離装置の開発	【中央研究所】
	微生物生態学	1986年9月～	技術開発センター(VTT)	極限環境微生物に関する研究	【中央研究所】
	基礎核物理学	1991年～	ユバスキラ大学	ユバスキラ大学の低エネルギー加速器と理研のリングサイクロトロン(中高エネルギー加速器)を利用した共同研究	【中央研究所】
	姉妹協定に基づく研究交流等	1995年10月～	ヘルシンキ工科大学	ロボティクス分野(サービスロボティクス技術の開発と社会応用)と脳科学分野(脳信号処理方式の解明)での研究協力を実施	【中央研究所】 【BSI】
仏国	材料工学 生物科学分野における姉妹協定に基づく研究交流	1982年10月～ 1984年1月～	グルノーブル大学他 パスツール研究所	耐食性高強度材料の開発 協定に基づき、「胚性腫瘍細胞の抗癌化メカニズム解析」、「パラバソリア原生動物の分子系統学的研究」などの共同研究を実施	【中央研究所】 【筑波】 【中央研究所】
	加速器科学	1980年5月～	CNRS国立核物理素粒子物理研究機関(IN2P3)	原子核物理実験(26Neの分解反応実験等)	【中央研究所】
	姉妹協定に基づく研究交流	1994年6月～	国立科学研究センター(CNRS)	包括協定に基づき現在、ゲノム科学、ナノテクノロジー、脳科学、発生再生、放射光科学などの分野で協力を実施中	【横浜・ゲノムセンター】 【中央研究所】 【BSI】 【CDB】 【播磨】



【 】内は担当研究所等

相手国	研究課題	協力期間	相手機関	協力概要	備考
	姉妹協定に 基づく研究交流	1996年5月～	ルイバスツール大学	協定に基づき、研究者の招聘、派遣を実施	【研究調整部】
	フォトダイナミクス	1997年5月～	グルノーブル第一大学	二国間協力協定に基づき、フォトダイナミクスに関する共同研究を実施	【フロンティア(仙台)】
	加速器科学	2001年5月～	原子力庁(CEA)	協力協定に基づく共同研究活動の実施等	【中央研究所】
ブルガリア	レーザー物理	1997年11月～	ソフィア工科大学 応用物理研究所	超短パルスレーザーと物質の相互作用に関する研究を共同で実施	【中央研究所】
	植物科学	2001年12月～	国立アグロバイオ 研究所	協力協定に基づく共同研究の実施	【横浜・植物センター】
ベトナム	計算科学、 核物理学	1997年3月～	ベトナム原子力委員会 ／核科学技術研究所 (INST)	理研で開発された分子動力学専用 計算機を活用した物性物理、地球科 学分野の計算機シミュレーション、原 子核物理、天体核物理実験用のデ ータ収集等を実施	【横浜・植物センター】 【中央研究所】
ポーランド	素形材工学	1990年7月～	ワルシャワ工科大学	二国間協力協定に基づき、素形材 工学に関する研究協力を実施	【中央研究所】
ロシア	基礎科学	1992年7月～	ロシア科学アカデミー 化学動力学・燃料研究所		二国間協定に基づく協力
	ナノテクノロジー	1996年 ～1998年	ロシア人民友好大学	人造ナノ物質の原子構造及び電子 構造にかかる共同研究を実施	【中央研究所】
	ミュオン科学	1998年12月～	ミュオン触媒核融合研 究調整センター (MUCATEX)	英国RAL施設のバルスミュオンビー ムとロシア・ドゥブナの連続ミュオン ビームを用いたミュオン触媒核融合 及び関連するミュオン科学に関する 研究協力を実施	【中央研究所】
	加速器科学	1998年12月～	クルチャトフ研究所	協力協定に基づき、中性子過剰の 存在極限にある原子核の研究に関 する研究協力を実施	【中央研究所】
	核物理学	2001年3月～	核研究合同研究所 (JINR)	傘下のフレロフ原子核反応研究所 (FLNR)、核問題研究所(LNP)、 粒子物理研究所(LPP)、高エネル ギー研究所(LHE)との間で、重イ オン核物理、加速器科学に関する 研究協力を実施	【中央研究所】
	重イオン加速器科学	2001年3月～	国立研究センター 理論及び実験物理 研究所(ITEP)	協力協定に基づく研究協力の実施	【中央研究所】
	ゲノム科学	2002年10月～	タンパク質研究所 (Institute of Protein Research)	タンパク質の構造・機能の解析に関 する研究協力の実施	【横浜・ゲノムセンター】

# 受賞一覧

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
1958.11	大山 義年	紫綬褒章	低圧縮法による酸素分離法
1959. 3	理化学研究所	大河内記念生産賞	低圧式空気液化分離装置の研究とその工業化
5	山崎 太郎	日本学士院賞	レプトスピラの研究
12	中根 良平	仁科記念賞	化学交換反応による同位元素の分離
1960. 4	丸茂 晋吾	日本農芸化学会・農芸化学賞	ペニシリウム、イソランデシウムの生産する毒性物質、インランテキシンの化学構造に関する研究
4	深野 茂	創意工夫功労者表彰	電磁海流計の電極加工法の改良他
4	長島 清	創意工夫功労者表彰	精密ラドン計の改良
5	福井 伸二	日本学士院賞	薄板の深絞り加工に関する研究
6	住木 諭介	藤原賞	稲のバカ苗病ージベレリンの研究
10	海老原 敬吉	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	排気鑄造法の発明
11	飯田 茂次	紫綬褒章	合成清酒の研究及びその産業につくした功績
11	坂本 政義	大阪醸造学会賞	微生物生産酵素とその利用に関する研究
1961. 4	野本 正雄	日本農芸化学会・農芸化学賞	Storeptomyces griseusの生産する新プロテアーゼに関する研究
4	吉田 清太	日本機械学会・論文賞	薄板のプレス成形域区分と体系化に関する研究
4	平沢 正吉	創意工夫功労者表彰	精密刻線機の完成
10	山中 竜雄	関東地方発明表彰・特賞	触媒還元ニッケルの安定化法
10	舟山 勉	関東地方発明表彰・特賞	可逆性示温塗料
10	長坂 秀雄	関東地方発明表彰・優秀賞	熔射性エポキシ樹脂粉末の製造法
11	池田 博	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	ストレプトマイシンの精製法に関する発明
1962. 2	山中 竜雄	東京都発明考案賞	触媒還元ニッケルの安定化法
2	舟山 勉	東京都発明考案賞	可逆性示温塗料
4	中根 良平	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	化学交換反応による同位体の分離
4	山中 竜雄	全国発明表彰・発明賞	触媒還元ニッケルの安定化法他
4	舟山 勉	全国発明表彰・発明賞	可逆性示温塗料
4	和田 常男	創意工夫功労者表彰	ポケット線量計の感度調節方法
5	和田 雅美	田中館賞（日本地球電磁気学会）	宇宙線中間子強度の大気効果
10	服部 行彦	関東地方発明表彰・特賞	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法
11	武井 武	粉末冶金技術協会・功労賞	OP磁石の発明ならびにフェライト研究の創始及び指導
11	杉本 光男	粉末冶金技術協会・研究功績賞	バリウムフェライト及び他のフェライトに関する微量不純物に関する研究
1963. 2	服部 行彦	東京都発明功績賞	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法
4	服部 行彦	大河内記念技術賞	深部培養法による糖化酵素の生産とその応用
4	吉川 弘之	精機学会・論文賞	研削砥石の寿命特性
4	手島 立男	日本機械学会・論文賞	真空脱ガス用注入口及び注入条件に関する研究
4	西田 正孝	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	光弾性学の実験技術確立
4	柳田 正也	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	イオン交換樹脂製造技術の確立
4	服部 行彦	全国発明表彰・発明特別賞（特許庁長官賞）	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法
4	荒川 碩夫	創意工夫功労者表彰	昼光色映写幕の改良
5	住木 諭介	日本学士院賞	Blasticidin.Sに関する研究
10	野本 正雄	関東地方発明表彰・特賞	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
11	池田 博	紫綬褒章	ストレプトマイシン塩類製造法の発明
1964. 2	野本 正雄	東京都発明功労賞	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
4	服部 行彦	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼ製造法の開発
4	野本 正雄	全国発明表彰・発明特別賞（内閣総理大臣賞）	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
4	田淵 威	創意工夫功労者表彰	旋盤作業におけるR面切削刃物支持機
7	吉田 清太	会田プレス技術賞（日本塑性加工学会）	薄板のプレス成形加工と材料特性に関する研究業績
10	町田 秀雄	東京都科学技術関係功労者表彰	精密工芸技術業務精励
1965. 2	吉田 清太	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	薄板のプレス成形技術に関する体系的な研究開発
4	水野 万亀雄	精機学会・論文賞	初期磨耗進行曲線の解析
11	山崎 文男	藍綬褒章	放射線計測器類の開発育成に努め、放射線測定技術水準の向上に寄与
10	朝永 振一郎	The Nobel Prize in Physics 1965（ノーベル物理学賞）	くりこみ理論
1966. 4	長倉 三郎	日本化学会賞	分子間の電子構造ならびに分子間の相互作用に関する研究
4	村橋 俊介	日本化学会賞	高分子化合物の合成的研究
4	大熊 和彦	日本農芸化学会・農芸化学賞	新植物成長調節物質alscisin IIに関する研究
4	堀越 弘毅	日本農芸化学会・農芸化学賞	糸状菌溶解酵素および糸状菌細胞表面の研究

受賞年月	氏名	賞名(授与団体名)	研究業績
4	鈴木 正夫	創意工夫功労者表彰	雲母板円形加工装置の公安
4	新藤 政明	創意工夫功労者表彰	電氣的膜厚測定器用電極の考案
5	土手 敏彦	田中館賞(日本地球電磁気学会)	電離層プローブに関する研究
5	鶴高 重三	日本学士院賞	酵素によるアミノ酸の精製に関する研究
5	金内 長司	後藤学術報恩会・奨励賞	鶏の無菌飼育に関する研究
10	西田 正孝	東京都科学技術関係功労者表彰	光弾性学および光塑性学の研究およびその工学的応用
10	西田 正孝	紫綬褒章	光弾性学および光塑性学の研究およびその工学的応用
10	渡部 一穂	斎藤賞(日本醗酵工学会)	Aspergillus awamoriの生産する糖化アミラーゼの研究
1967. 4	久保 丑蔵	創意工夫功労者表彰	ポケット型膜厚計の考案
5	阿部 邦雄	会田技術奨励賞(日本塑性加工学会)	薄板のプレス成形品の精度向上に関する研究
5	三井 進午	日本学士院賞	植物の養分吸収同化に関する生理化学的研究
10	柳田 正也	東京都発明功労賞	イオン交換樹脂の研究、製造技術の確立及び産業への応用
11	柳田 正也	紫綬褒章	弱酸性陽イオン交換樹脂製造法の発明
11	坂口 謹一郎	文化勲章	
1968. 4	杉本 光男	科学技術庁長官賞(科学技術功労者)	複合フェライト単結晶製造技術の開発
4	田中 俊雄	創意工夫功労者表彰	樹脂試料作成可能化による光弾性学への寄与
10	土手 敏彦	服部報公賞	電離層プラズマプローブの研究とその応用
10	杉本 光男	東京都科学技術功労者表彰(東京都知事賞)	BBK磁石の開発とその応用
1969. 4	磯野 清	日本農芸化学会・奨励賞	ポリオキシンの化学構造の研究
4	岸野 彦蔵	創意工夫功労者表彰	研究用プリント配線基盤の簡易製作法
4	菅原 正吾	創意工夫功労者表彰	静電位計式検電気用荷電気の改良
5	中川 威雄	日本塑性加工学会・論文賞	精密打抜加工の実験的研究
11	町田 秀雄	黄綬褒章	精密測定機器の改良研究に精励
11	落合 英二	文化勲章	
1970. 1	大塚 陸郎	日本学術振興会・腐蝕防止論文賞	硫酸中におけるチタンの陽分極特性に及ぼす表面水素化物層の影響
4	志田 忠正	日本化学会・進歩賞	低温個体溶液の放射線照射で生ずる中間体の研究
4	山本 勇	創意工夫功労者表彰	両端に回転軸を持つ多面体プリズムの作成
4	高橋 則一	創意工夫功労者表彰	ステンレス鋼の孔毛管製作法
5	深田 栄一	山路自然科学・奨励賞	生体高分子の圧電的性質に関する研究
1971. 1	長倉 三郎	朝日賞(文化賞)	分子化合物の電子論的研究
4	鈴木 三郎	日本農学会・日本農学賞	農業用抗生物質ポリオキシンに関する研究
4	鈴木 三郎	読売学賞	農業用抗生物質ポリオキシンに関する研究
4	鈴木 三郎	大河内記念技術賞	新抗生物質ポリオキシンの発見とその農業への応用
4	磯野 清		
4	谷口 紀男	科学技術庁長官賞(科学技術功労者)	導波管を利用した無機硬脆材料加工法の発明
4	鈴木 啓子	創意工夫功労者表彰	元素分析用二酸化鉛の合成法の改良
4	長谷川 卓治	創意工夫功労者表彰	電気伝導度測定用セル製作の改良
6	宮崎 友喜雄	長谷川記念杯(日本地球電気磁気学会)	宇宙線の研究に関する業績
11	北田 牧夫	斎藤賞(日本醗酵工学会)	麴酸醗酵に関する研究
1972. 1	難波 進	市村賞(本賞)	イオン注入法による半導体素子の開発
4	田原 昭	日本薬学会・学術賞	松やに成分に関する化学的研究
4	米本 豊	創意工夫功労者表彰	測微顕微鏡の改良
4	野田 隆	創意工夫功労者表彰	ペロー式差厚計の改良
4	松本 昭	創意工夫功労者表彰	Oリング座面の加工工具の開発
6	小玉 正弘	田中館賞(日本地球電磁気学会)	多重度中性子計による一次宇宙線のスペクトル変化の研究
11	谷口 修	紫綬褒章	超高速回転機械の開発
11	谷口 紀男	紫綬褒章	無機硬脆材料の衝撃破砕加工技術の開発
1973. 4	吉田 清太	日本金属学会・功績賞	薄版の成形性に関する研究業績
4	宇野木 早苗	日本海洋学会・学会賞	沿岸海洋物理学についての研究
4	川崎 盛三	創意工夫功労者表彰	球面切削加工法の考案
4	渡辺 徳治	創意工夫功労者表彰	超長周期ガルバノメーターの開発
4	高橋 清二	創意工夫功労者表彰	ホーニング加工位置決め具の開発
4	難波 進	科学技術庁長官賞(科学技術功労者)	イオン注入法による半導体素子の開発
5	後藤 英一	丹波高柳賞・論文賞(テレビジョン学会)	超高精度陰極線管
6	磯野 清		
6	鈴木 啓子	有機微量分析永年勤続者表彰	

受賞年月	氏名	賞名(授与団体名)	研究業績
11	秋葉 昶彦	日本醸酵学会賞	気体巻込方式の塔型醗酵装置に関する研究
11	富金原 孝	紫綬褒章	糸状菌の液体培養による糖化剤の開発と応用
11	山口 成人	紫綬褒章	電子回折装置の開発
1974. 3	霜田 光一	東レ科学技術賞	量子エレクトロニクスに関する研究
4	葛原 弘美	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	アジド糖を用いる生体活性物質の合成化学的研究
	大類 洋		
4	橋口 隆吉	西山賞(日本鉄鋼協会)	金属結晶格子欠損の内部摩擦現象の研究
4	山口 一郎	応用物理学会・光学論文賞	祖面物体の回折界と結像界におけるスペックリング線形系に対する統計函数の導出ほか3編
4	高橋 勝緒	佐野進歩賞(電気化学協会)	交流インピーダンス法による電極/溶液界面現象の研究
4	野宮 芳雄	創意工夫功労者表彰	理研式電磁海流計の電極取付方法の改良
4	松沢 安秀	創意工夫功労者表彰	自動吹付式植物ウイルス接種方法の開発
6	鈴木 三郎	日本学士院賞	ポリオキシンに関する研究
1975. 4	坂田 完三	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	エゾマイシン群抗生物質に関する化学的研究
4	中島 俊典	応用物理学会・光学論文賞	変調参照波ホログラフィによる微小振幅振動の検出ほか4編
4	斎藤 信房	日本化学会賞	無機同位体化学に関する研究
4	宮崎 俊行	精密学会・論文賞	単一パルス高パワー密度電子ビームによる金属の穴あけ加工
4	山本 澄雄	創意工夫功労者表彰	ノズル孔加工用具の考案
4	内海 恭一	創意工夫功労者表彰	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化(飼育容器、飼料及び病虫の発生予防法の改良)
4	阿津沢 新二	創意工夫功労者表彰	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化(飼育温度及び卵の保存温度の改良)
4	栗原 政明	創意工夫功労者表彰	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化(飼育密度の改良)
11	熊谷 寛夫	紫綬褒章	原子核物理に関する研究業績
11	高橋 秀俊	紫綬褒章	物性物理学に関する研究業績
11	曾田 範宗	紫綬褒章(文部省関係)	機械工学に関する研究業績
11	鈴木 三郎	紫綬褒章(科学技術庁関係)	農業用抗生物質ポリオキシンの開発
11	野崎 正	科学技術庁長官賞(研究功績者)	サイクロトロンを用いる半導体ケイ素中の軽元素不純物に関する研究
1976. 4	光岡 知足	日本農学会・日本農学賞	腸内菌叢の分類と生態に関する研究
4	光岡 知足	読売農学賞	腸内菌叢の分類と生態に関する研究
4	見里 朝正	科学技術庁長官賞(研究功績者)	自然物農薬レシチンの開発に関する研究
4	林 久治	日本化学会・進歩賞	励起三重項状態と不安定中間体の電子状態の研究
4	佐々木 睦子	創意工夫功労者表彰	太線プロット法プログラムの考案
4	梁島 久子	創意工夫功労者表彰	有機酸素微量分析法の改良
4	嘉悦 早人	創意工夫功労者表彰	ウラン濃縮用隔膜の耐久試験装置の改良
4	遠藤 勲	注目発明	微生物の代謝反応を行なわせる方法及びその装置
6	橋口 隆吉	日本学士院賞	内部摩擦による金属材料の研究
6	田村 三郎	日本学士院賞	生体活性物質に関する化学的研究
9	後藤 英一	インダストリアル・リサーチ・マガジン社・IR100賞	高精度画像処理装置の開発
10	吉田 清太	浅田賞(日本鉄鋼協会)	自動車車体の成形技術と薄銅板特性の相補的關係の研究と推進
11	杉本 光男	紫綬褒章	高性能フェライトの開発
12	岩崎 準	日本結晶学会賞	回折対象の上昇に関する研究
1977. 3	柿木 和雄	日本農薬学会・奨励賞	ポリオキシンの作用機作に関する研究
4	辰野 高	日本薬学会・学術賞	マイコトキシン、殊にフザリウム属マイコトキシンの中毒学的研究
4	光岡 知足	科学技術庁長官賞(研究功績者)	腸内菌叢に関する研究
4	後藤 英一	市村賞(功績賞)	二重偏向方式高精度ブラウン管の開発
	相馬 崇		
	出沢 正徳		
4	野口 守	創意工夫功労者表彰	紙テープ、カセット入出力プログラムの開発
4	塩川 高雄	創意工夫功労者表彰	イオン食刻法による光共振器製作の考案
9	柴田 和雄	インダストリアル・リサーチ・マガジン社・IR100賞	二波長クロマトスキャナーの開発
11	中根 良平	紫綬褒章	重窒素分離法の開発
1978. 3	谷田貝 豊彦	応用物理学会・光学論文賞	Stereoscopic Approach to 3-D Displan Using Computer-Generated Holograms, Appl. Optics 15 2722 (1976) 他3編
4	見里 朝正	市村賞(貢献賞)	大豆レシチンを原料とした農薬の開発と実用化
	本間 保男		

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
4	岡野 真治	科学技術庁長官賞（研究功績者）	環境放射線測定装置の研究開発
4	遠藤 勲	化学工学協会・論文賞	回分および連続培養における酵母菌の代謝機能（化学工学論文集2,416,495（1976））
4	小川 智也	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	スズやケイ素を用いる糖及びヌクレオシド系化合物の合成研究
4	松井 正直	鈴木賞（日本農芸化学会）	生理活性天然物の合成に関する研究
6	長倉 三郎	日本学士院賞	短寿命励起分子及び反応中間体の電子構造と反応性の研究
11	武井 武	文化功労者	
1979. 3	斎藤 信房	紫綬褒章	化学に関する研究業績
4	深見 順一	日本農学会・日本農学賞	殺虫剤の選択毒性に関する比較整理・生化学的研究
4	深見 順一	読売農学賞	殺虫剤の選択毒性に関する比較生理・生化学的研究
4	堀越 弘毅	科学技術庁長官賞（研究功績者）	アルカリ性発酵法による $\beta$ -サイクロデキストリンの製造に関する研究
4	奈良橋 快子	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	蛋白質分解酵素プロナーゼに関する研究開発
5	牧野内 昭武	会田技術奨励賞（日本塑性加工学会）	プラスチックの塑性加工及び塑性変形挙動に関する研究業績
5	後藤 英一	情報処理学会・論文賞	Analysis of Parallel Hashing Algorithms With Key Peletion Journal of Information Processing Vol.1, No.1（1978）
	井田 哲雄		
10	深田 栄一	静電気学会・功績賞	エレクトレットの研究に多年従事し、その間熱刺激電流、生体高分子と関係つけた幾多の実験に成功し、貴重な成果を挙げた業績
	高松 俊昭		
10	霜田 光一	C.E.K. Mees Medal(The Optical Society of America)	量子光学と二重共鳴分光への貢献、ならびに国際会議の組織や学会出版活動の指導などを通じての物理学全般における国際協力への惜しみなき貢献
11	松井 正直	紫綬褒章	農芸化学に関する研究業績
1980. 3	山口 勇	日本農薬学会・奨励賞	プラスチックSおよびトキシフェノンの代謝分解に関する研究
4	神谷 勇治	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	異担子菌酵母における接合形成誘導物
4	堀越 弘毅	市村賞（功績賞）	アルカリ性発酵法による $\beta$ -サイクロデキストリン製造法の開発
4	唐沢 孝	科学技術庁長官賞（研究功績者）	病院用超小型サイクロトロン設計、製作の研究
4	柴田 和雄	紫綬褒章	生体試料の分光測定法の開発
4	池田 庸之助	鈴木賞（日本農芸化学会）	微生物遺伝、育種の基礎的研究
4	三原 勝	創意工夫功労者表彰	高圧型BF3比例計数管の製作法の考案
4	竹下 勇夫	創意工夫功労者表彰	デジタルコンバスの考案
4	影山 正	創意工夫功労者表彰	サイクロトロン用重イオン源の改良
4	大山 等	創意工夫功労者表彰	核融合装置の壁面不純物測定法の改良
4	平沢 孝枝	創意工夫功労者表彰	土壤微生物採取法と抗菌検定法の改良
5	岡見 登	日仏海洋学会賞	海洋光学に関する一連の研究
6	霜田 光一	日本学士院賞	レーザーの物理とそれに基づく分子分光学の研究
11	理化学研究所	機械振興協会賞	可変面積形電子ビーム露光装置の開発
11	高橋 秀俊	文化功労者	
1981. 4	安藤 忠彦	鈴木賞（日本農芸化学会）	ヌクレアーゼS1の発見と核酸分解酵素の研究
4	太田 浩	科学技術庁長官賞（研究功績者）	準平面型ジョセフソン接合の開発
4	橋口 隆吉	日本金属学会・学会賞	格子欠陥の研究で多くの創造的業績をあげ、また金属の内部摩擦の新しいピークを発見
4	斉藤 始三	創意工夫功労者表彰	凹状面切削工具の開発
4	阿部 俊秋	創意工夫功労者表彰	アルファ線気圧計の製作
4	松井 正直	日本学士院賞	天然有機化合物の合成に関する研究
7	堀越 弘毅	井上春成賞	アルカリ性発酵法によるシクロデキストリン製造技術
11	坂本 雄一	日本真空協会・真空技術賞	電子サイクロトロン共鳴プラズマによる放電洗浄の開発
	石部 行雄		
	大山 等		
	矢野 勝喜		
	岡崎 清比古		
	石井 成行		
12	曾田 範宗	Tribology Gold Medal（イギリス機械学会）	摩擦、潤滑及び磨耗に関する化学技術に対する顕著な貢献
1982. 3	堀越 弘毅	大河内記念技術賞	アルカリ性発酵法による有用酵素の開発と、これを用いるシクロデキストリン製造技術の確立
3	本間 保男	日本農薬学会・業績賞	植物病原菌のライフサイクルに立脚した殺菌剤の開発
	有本 裕		

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
4	小川 智也	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	有機スズを利用した新反応を用いる含糖系生物活性物質の合成法の開発
4	杉本 光男	市村賞（貢献賞）	大型マンガン-亜鉛系フェライト単結晶育成法の開発
4	宍戸 和夫	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	DNA関連酵素の特性とその応用に関する研究
4	中原 義昭	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	特異な環構造を有する生理活性天然物の合成研究
5	中根 良平	レーザー学会・レーザー研究業績賞（論文賞）	レーザーによる水素同位体の分離
5	橋口 隆吉	本多記念賞	金属工学における格子欠陥の研究
1983. 3	難波 進	大河内記念技術賞	新しい高性能エッセルレット回折格子製造法の開発
3	隈部 淳一郎	精機学会賞	精密振動ねじ立て
3	山口 一郎	日本非破壊検査協会・論文賞	レーザー・スペックル歪計の開発
3	柴田 武彦	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	DNAに働く酵素および蛋白質の遺伝生化学的研究
4	安藤 忠彦	科学技術庁長官賞（研究功績者）	ヌクレアーゼS1の発見と核酸分解酵素の研究
4	小玉 正弘	科学技術庁長官賞（研究功績者）	宇宙線雪量計の開発研究
4	大和田 勉	創意工夫功労者表彰	実験用小動物保定器の考案
5	難波 進	レーザー学会・レーザー研究業績賞（論文賞）	電子ビーム点高出力HF化学レーザーの開発
	豊田 浩一		
	藤岡 知男		
	小原 実		
7	唐沢 孝	井上春成賞	超小型サイクロトロンの開発
10	後藤 英一	世界コミュニケーション年表彰	コミュニケーションの発展に対する功績
11	難波 進	機械振興協会賞	サブミクロンイオンプローブ注入装置の開発
1984. 3	小川 智也	大河内記念技術賞	有機スズを用いる含糖系生理活性物質の合成法の確立と工業化
4	菅原 秀明	日本科学技術情報センター・学術賞（丹波賞）	実験生物情報システムNISLOの開発
	館野 義男		
4	河野 芳樹	日本農芸化学会・奨励賞	トウモロコシ病害における宿主特異性の化学
	鈴木 義男		
4	山口 一郎	科学技術庁長官賞（研究功績者）	レーザー・スペックル歪計の研究
4	玉虫 伶太	武井賞／論文賞（電気化学協会）	電極反応速度論の基礎的研究
4	吉田 清太	紫綬褒章	薄板のプレス成形技術に関する体系的な研究開発
5	佐々木 建昭	情報処理学会・論文賞	Practically Fast Multiple-Precision Evaluation of Log (X)
5	池 浩	日本塑性加工学会・論文賞	平板の潤滑状態での引抜きにおける摺動損傷の発生と成長
5	竹松 伸	日仏海洋学会賞	海洋環境における遷移元素の沈殿機構に関する研究
5	深田 栄一	高分子学会・高分子科学功績賞	高分子の圧電気と生体レオロジーの研究
6	館野 晴雄	全国発明表彰・発明賞	アークトーチの操作法および装置の発明
7	小川 智也	ウィスラー賞（国際炭水化物学会）	糖鎖合成に関する研究
10	粕谷 敬宏	服部報公賞	レーザー制御技術の開発とその理・工学への応用に関する研究
1985. 3	後藤 英一	大河内記念技術賞	可変面積型高性能電子ビーム露光装置の開発
	相馬 崇		
	出沢 正徳		
3	満井 喬	日本農薬学会・業績賞	昆虫の表皮形成およびキチン合成に関する生理・生化学的研究
4	中田 忠	日本薬学会・奨励賞	ケトン類の立体選択的還元反応を基盤とする鎖状系へのキラル中心新導入法とその天然物合成への応用
4	磯野 清	科学技術庁長官賞（研究功績者）	イオノフォア抗生物質カチオノマイシンの研究
4	葛原 弘美	注目発明	新規な硫酸化アミノ多環及びその製造法
5	鈴木 隆則	日本分光学会・論文賞	光ガルバノ効果による分光と分析
8	高橋 信孝	国際植物生長物質会議・シルバーメダル	ジベレリンを始めとする植物生長調節物質に関する研究
	田村 三郎		
10	難波 進	応用物理学会・論文賞	Nanometer Pattern Delineation by Electron and Ion Beam Lithography
10	岡野 真治	科学技術庁長官賞（原子力安全功労者）	原子力安全基準の策定・安全審査等に貢献
10	後藤 英一	関東地方発明表彰・発明協会会長奨励賞	電子ビームの投射方法
	相馬 崇		
	出沢 正徳		
	佐々木 建昭		
10	長倉 三郎	文化功労者	
11	谷口 維紹	野口英世記念医学賞	インターフェロン・インタリューキン等の研究

受賞年月	氏名	賞名(授与団体名)	研究業績
1986. 1	谷口 維紹	アルマンドハマー賞	インターロイキン(IL-2)の遺伝子構造を解明及び遺伝子工学の手法で量産に成功
2	山崎 博史	有機合成化学協会・協会賞	有機遷移金属錯体に関する研究
3	中川 威雄	大河内記念技術賞	びびり振動切削による金属短繊維の製造技術の開発
3	武内 一夫	化学工学協会・論文賞	レーザー法トリチウム同位体分離のための連続反応装置
4	辨野 義巳	日本獣医学会賞	豚膿瘍の細菌学的研究
4	常盤 三郎	創意工夫功労者表彰	マコール平面切削法の改良
5	田代 英夫	レーザー学会・レーザー研究業績賞(論文賞)	CO <sub>2</sub> レーザー励起赤外水素ラマンレーザー
	難波 進		
	緑川 克美		
	豊田 浩一		
6	後藤 英一	全国発明表彰・特別賞(科学技術庁長官発明賞)	電子ビームの投射方法の発明
	相馬 崇		
	出沢 正得		
	佐々木 建昭		
6	佐田 登志夫	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞(論文賞)	パルスレーザー加工の音響法による観察
	金釜 憲夫		
6	古市 昭夫	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞(論文賞)	調湿装置の試験槽
1987. 3	佐田 登志夫	精密工学会・論文賞	プロダクトモデルに基づく幾何学的拘束関係の記述と寸法処理への応用
4	菅原 二三男	日本農芸化学会・奨励賞	植物病原菌の毒素の化学
4	小林 勝一郎	日本雑草学会・奨励賞	ミスガヤツリの塊茎形成に対するナプロアニドの作用に関する研究
5	掘越 弘毅	紫綬褒章	好アルカリ性微生物の発見と体系的開発、それに基づくサイクロデキストリン製造技術の開発と確立
6	谷口 修	全国発明表彰・発明賞	ねじ溝つき軸流分子ポンプ
	沢田 雅		
10	高松 俊昭	関東地方発明表彰・発明賞	高分子物質の転移温度の測定法
	深田 栄一		
11	粕谷 敬宏	インダストリアル・リサーチ・マガジン社・IR100賞	レーザー式マイクロインジェクター装置の開発
	井川 洋二		
11	中楯 末三	応用物理学会・光学論文賞	Vibration measurement using phase - shifting speckle - pattern interferometry. Appl. Opt. 25, No. 22 (1986) 4162-4167
11	佐田 登志夫	精密工学会・論文賞	環境モデルを用いたロボット作業のオフラインプログラミングシステムの試作
1988. 3	井上 一郎	化学工学協会・学術賞	混合現象および培養システムの研究
4	掘越 弘毅	市村賞(功績賞/産業の部)	アルカリセルラーゼの製造法の開発
4	山口 勇	科学技術庁長官賞(研究功績者)	非殺菌性いもち病制御に関する研究
4	工藤 俊章	日本農芸化学会・奨励賞	好アルカリ性細菌遺伝子による大腸菌からの蛋白質の菌対外分泌に関する研究
4	駒形 和男	日本農芸化学会・功績賞	微生物の化学分類に関する研究
4	生方 信	日本農芸化学会・奨励賞	新規抗生物質の化学的研究
4	難波 進	紫綬褒章	半導体に関する研究とイオンビームプロセス技術の開発
5	粕谷 敬宏	レーザー学会・レーザー研究業績賞(論文賞)	レーザー細胞プロセッシング
	塚越 幹郎		
6	光岡 知足	日本学士院賞	腸内菌叢の系統的研究
7	佐田 登志夫	井上春成賞	負荷・変位測定方式による超微小硬度計
10	神谷 勇治	植物化学調節学会賞	セルフリー系を用いたジベレリンの生合成研究
11	小川 智也	アップジョン科学研究フェローシップ賞	細胞表層糖鎖の有機合成
1989. 1	佐々木 建昭	山内奨励賞	第29回プログラミングシンポジウムで行われた論文数式処理システムGALにおける数学公式データベース
	佐々木 睦子		
4	磯野 清	読売農学賞	新しい視点に立つ抗生物質の研究とその農業生産への寄与
4	大石 武	日本薬学会・学術賞	高選択的新規反応の開発と有用天然物合成への応用
4	掘越 弘毅	日本農芸化学会賞	好アルカリ性微生物とアルカリ酵素の研究
4	磯野 清	日本農学会・日本農学賞	新しい視点に立つ抗生物質の研究とその農業生産への寄与
4	大石 武	科学技術庁長官賞(研究功績者)	薬理活性化合物の合成に関する研究
4	後藤 英一	紫綬褒章	可変面積型電子ビーム露光システムの開発
5	金子 正夫	高分子学会賞	高分子錯体による光電子過程の制御とエネルギー変換

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
5	伊藤 喜久治	日本実験動物学会賞	実験動物における腸内菌叢の標準化の研究
10	遠藤 勲	関東地方発明表彰・発明奨励賞	自動サンプリング装置及びその方法
12	谷畑 勇夫	仁科記念賞	不安定核ビームによる原子核の研究
1990. 2	永嶺 謙忠	井上學術賞	パルス状ミュオンビームによるミュオン科学の開拓研究
4	山崎 博史	科学技術庁長官賞（研究功績者）	高反応活性を有する有機金属錯体の研究
4	中林 誠一郎	佐野賞（電気化学協会）	半導体溶液界面の反応物理化学の研究
4	佐田 登志夫	紫綬褒章	高度フレキシブル生産システムの開発
5	原 民夫	レーザー学会・レーザー研究奨励賞	小型軟X線レーザーの研究
5	池 浩	会田技術奨励賞（日本塑性加工学会）	塑性加工の表面損傷とトライボロジに関する研究
5	山田 瑛	高分子学会・高分子科学功績賞	Hybrid Materialsに関する研究
7	中川 威雄	井上春成賞	通気性セラミック型
8	秋田 弘幸	日本薬学会・奨励賞	微生物、酵素機能を用いる有機合成ーベンツリジジンA、Bアグリコンの全合成
9	佐田 登志夫	高城賞（精密測定技術振興財団）	高度生産自動化のためのプロダクトモデリングシステムの研究開発
1991. 3	堀越 弘毅	国際バイオテクノロジー学会・ゴールドメダル	極限微生物の研究
3	山崎 博史	日本化学会賞	新規な触媒反応を指向する有機金属錯体の研究
3	長田 裕之	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	動物細胞の増殖分化を制御する微生物二次代謝産物に関する化学的生物学的研究
4	安藤 忠彦	紫綬褒章	SIヌクレアーゼの発見と利用技術の開発
4	上坪 宏道	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	重イオンリングサイクロトロンの開発
4	青柳 克信	市村学術賞（特別賞）	新しいビームプロセス技術とビーム源の開発に関する研究
	原 民夫		
6	小田 稔	マーセル・グロスマン賞	X線天文学における先駆的な研究等による一般相対論への貢献
9	小川 智也	日独科学技術協力フンボルト研究賞	これまでの研究業績全般
10	佐田 登志夫	シュレージンガー賞	多品種少量生産の生産性を高めるフレキシブル生産システムの研究
10	藤岡 昭三	植物化学調節学会賞	Lemna属の花芽形成誘導に関する生理化学的研究
10	若狭 雅信	日本ケイ素光化学会・奨励賞	有機ケイ素化合物の光化学初期過程に関する研究
11	堀越 弘毅	有馬敬記念バイオインダストリー協会賞	好アルカリ性微生物の発見とその応用、特にアルカリ酵素利用技術の開発
1992. 1	薄葉 勲	科学技術庁長官賞（放射線安全管理功労者）	放射性同位元素の取扱いにおける安全確保の多年に亘る功績
3	佐田 登志夫	日本プラントメンテナンス協会設備診断技術委員会賞	設備診断技術の研究ならびに振興により産業界の設備管理の発展に多大な貢献を果たす
4	中川 威雄	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	鋳鉄ボンド砥石による難加工材料の高効率研削法の開発
4	井上 頼直	科学技術庁長官賞（研究功績者）	熱発光測定・解析による光合成水分解反応の研究
4	青野 正和	日経BP技術賞（機械・材料部門）	高温超伝導磁気シールドによる脳磁界計測
	太田 浩		
9	林 久治	光化学協会賞	光化学過程におけるスピン化学の研究
9	河合 潤	日本分析化学会・奨励賞	X線スペクトルの理論的解析による状態分析の研究
10	高橋 和也	日本地球化学会・奨励賞	分化した隕石の年代学的及び化学的研究
10	大森 整	精密工学会・技術賞	電解インプロセスドレッシング（ELID）鏡面研削法の開発
	高橋 一郎		
	中川 威雄		
11	山口 勇	住木・梅澤記念賞（日本抗生物質学術協議会）	プラストサイジンSデアミナーゼに関する研究とその応用
1993. 3	伊藤 幸成	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	複合糖質糖鎖の合成化学的および酵素化学的研究
4	長棟 輝行	市村産業賞（功績賞）	リアルタイム細胞濃度自動測定装置の開発
	遠藤 勲		
4	小川 智也	ハワース記念メダル（イギリス化学会）	細胞表面の複合糖質の合成研究
4	葛原 弘美	科学技術庁長官賞（研究功績者）	糖質資源の合成化学的高次精密利用の研究
5	熊谷 寛	レーザー学会・レーザー研究奨励賞	GaAsのレーザーエッチング中に生成される周期的表面リップルの成長
5	岸野 元彰	日仏海洋学会賞	海洋の光環境と生物生産に関する研究
5	土肥 義治	高分子学会賞	生分解性高分子の合成と評価
6	青柳 克信	全国発明表彰・発明特別賞（日本弁理士会会長賞）	ブレード・ホログラフィック・グレーティング技術の発明
6	佐田 登志夫	型技術協会・功績賞	型技術の発展向上
8	伊藤 正男	ロバート・ダウ神経科学賞（米国）	
9	伊藤 正男	ヘネシー・ルイビトン賞（フランス）	
9	伊藤 正男	IPSEN財団賞（フランス）	



受賞年月	氏名	賞名(授与団体名)	研究業績
10	吉田 茂男	植物化学調節学会賞	合成分子プローブによる葉緑体機能の解析研究
11	小田 稔	文化勲章	X線天文学研究
11	高橋 信孝	紫綬褒章	天然物有機化学研究
12	勝又 紘一	仁科記念賞	新しい型の磁気相転移の研究
12	唐 建志	有山兼孝記念研究奨励賞(日中科学技術交流協会)	日本国留学中に行った科学技術分野における研究成果
1994. 3	加藤 純一	精密工学会賞	デジタルPLLを用いたしま画像からの実時間形状復元処理(第2報)~精度の改善と光学面形状測定への適用~ 直接レーザープロセスによる半導体微細加工に関する研究
4	豊田 浩一	科学技術庁長官賞(研究功績者)	Herbidospora属をはじめとする新属新種の創設
6	工藤 卓二	日本放線菌学会・研究奨励賞	大脳視覚連合野での情報処理過程の研究
6	田中 啓治	塚原伸晃記念賞	重イオン照射による高密度励起の研究
9	木村 一字	日本放射線化学学会賞	アスパラガス種子の花芽形成機構に関する研究
10	阿部 知子	植物化学調節学会・奨励賞	
11	永井 克孝	紫綬褒章	
11	伊藤 正男	文化功労者	
1995. 2	井川 洋二	つくば賞	がん遺伝子が持つ細胞制御機能の多様性に関する研究
3	武内 一夫	) 日本原子力学会賞(技術賞)	分子レーザー法ウラン濃縮に関する基礎的研究
	田代 英夫		
3	上葦 義朋	日本原子力学会賞(論文賞)	p-Be準単色中性子を用いた40MeVまでの放射化断面積の系統的測定
3	磯村 昌平	触媒学会・技術賞	疎水性白金触媒による水・水素同位体交換反応法の確率
3	小川 智也	日本農芸化学学会賞	複合糖質に関する合成研究
3	大野 忠夫	アメリカ動物実験代替基金賞	in vitro毒性試験
3	田中 和子	) 電気化学協会・論文賞	カーボン微小電極を用いたスーパーオキシドアニオンラジカル(O <sub>2</sub> <sup>-</sup> )の電気化学的検出、培養細胞(HL-60)への応用
	磯貝 泰弘		細胞表面複合糖質及び関連糖鎖合成のための新規有用合成
	飯塚 哲太郎		方法及び戦略開発による糖質化学への貢献
3	小川 智也	Claude. S. Hudson Award(アメリカ化学会)	ランダム磁性、量子磁性に基づく磁性材料の創製の研究
4	勝又 紘一	科学技術庁長官賞(研究功績者)	高速ゲノム解析法の創出
5	林崎 良英	ゴールドメダル・東京テクノフォーラム賞	質量分析を用いたタンパク質および天然有機化合物の構造
5	明石 知子	日本質量分析学会・奨励賞	CuGeO <sub>3</sub> スピン・バイエルス転移についての研究
5	長谷 正司	とやま賞	感圧箔による接触面圧分布測定
5	池 浩	日本塑性加工学会・論文賞	レーザ切断鋼板積層による短納期プレス成形型の実用化
6	中川 威雄	型技術協会・技術賞	細胞表面の複合糖質と関連糖鎖に関する合成研究
6	小川 智也	日本学士院賞	側面切れ刃による5軸制御加工
6	森重 功一	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞(論文賞)	2次曲面切れ刃工具による5軸制御切削加工
6	中軽米 直樹	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞(奨励賞)	神経情報処理の基礎理論研究
6	甘利 俊一	日本学士院賞	半導体ナノ構造における電子輸送
8	石橋 幸治	) 応用物理学会賞	
	青柳 克信		
	菅野 卓雄		
9	藤澤 哲郎	) 日本生化学会・JB論文賞	The Hydration of Ras p21 in Solution during GTP Hydrolysis Based on Solution X-Ray Scattering Profile
	植木 龍夫		
	有留賀 朋哉		
9	岩木 正哉	RAUL CARREA賞	通電離脱式コイルの表面修飾に関する新たな実験的様相について
12	凌 楓	日中科学技術交流協会・研究奨励賞	日本国留学中に行った科学技術分野における研究成果
1996. 2	加川 貴俊	井上研究奨励賞	ホウライシタ配偶世代における核定位運動の光制御
3	尾上 順	日本原子力学会賞・奨励賞	アクチニド化合物の電子構造および化学結合における相対論効果に関する理論的研究
3	田中 和子	押田賞(日本太陽エネルギー学会)	Synechococcus sp.を用いた光合成微生物電池
4	伊藤 正男	日本国際賞	小脳の機能原理と神経機構の解明
4	田代 英夫	) 注目発明	真空紫外光による加工装置及び加工方法
	杉岡 幸次		
4	牧野内 昭武	科学技術庁長官賞(研究功績者)	複雑形状のプレス成形加工のためのソフトウェアの研究
5	川合 真紀	猿橋賞	固体表面における化学反応の基礎研究
5	中川 威雄	) 粉体粉末冶金協会・研究進歩賞	電動式CNCプレスによる粉末形成の研究
	鶴 英明		
6	坂本 康治	手島記念研究賞・博士論文賞	論文「ダイネミシンAとステロイド骨格に関する分子力学場計算に基づく分子設計と合成研究」

受賞年月	氏名	賞名 (授与団体名)	研究業績
6	加瀬 究	型技術協会・奨励賞	論文「金型加工への5軸制御の適用ー2次元Configuration空間を用いた工具干渉回避法ー」 音源方位推定機能を持った移動ロボット
7	森重 浩一		
9	黄 捷		
10	侯 召民	錯体化学研究会・研究奨励賞	First Isolation and Reversible Coupling of a Metal Ketyl Complex (ケチル錯体の単離と可逆的カップリング)
11	小林 正智	植物化学調節学会・奨励賞	ジベレリン、オーキシン等内生成長調節物質による植物の生活環制御機構の研究
11	御子柴 克彦	日本医師会医学賞	哺乳類中枢神経の発生・分化の分子生物学的解析
11	栗原 正明	関東地方発明表彰・発明奨励賞	ニカメイチュウの配偶行動制御剤
11	内海 恭一		
11	深見 順一		
11	山口 勇	関東地方発明表彰・発明奨励賞	プラスミドベクター
11	鎌倉 高志		
11	伊藤 正男	文化勲章	
11	理化学研究所	日本ディスプレイデザイン協会・ディスプレイデザイン優秀賞	科学技術館 5F FOREST 「SCIENCE MUSEUM」
11	戎崎 俊一	Computer Visualization Contest・最優秀賞 (AVS大賞)	銀河衝突の再現シミュレーション「車輪銀河」「アンテナ銀河」
11	平山 秀樹	応用物理学会・講演奨励賞	3Dフォトジェニック結晶共振器レーザの放射特性の解析
11	長田 裕之	住木・梅澤記念賞 (日本抗生物質学術協議会)	微生物由来の細胞機能調節物質の探索と理由に関する研究
12	理化学研究所	通商産業大臣賞	科学技術館 5F FOREST 「遊び・創造・発見の森」
12	崔 承彬	有山兼孝記念研究奨励賞 (日中科学技術交流協会)	日本国留学中に行った科学技術分野における研究成果
12	凌 楓	中国大使館・優秀論文賞	科学技術における優秀な成績
1997. 3	大森 整	大河内記念技術賞	鑄鉄ボンド砥石による電解インプロセスドレッシング (ELID) 鏡面研削法の開発
	中川 威雄		
	高橋 一郎		
3	加瀬 究	精密工学会・論文賞	C-Spaceを用いた5軸制御加工のための工具経路生成法
4	安部 静子	注目発明	マルチレーザーの製造方法
	小林 義男		
	安部 文敏	注目発明	新規糖鎖合成酵素
4	辻 崇一		
	黒澤 信幸		
	浜本 敏郎		
	李 泳春		
	中岡 隆志		
	小島 直也	科学技術庁長官賞 (研究功績者)	新しいレーザーイオンビームテクノロジーの開発に関する研究
4	青柳 克信		
4	池 浩		
5	侯 召民	日本材料試験技術協会賞	画像応用による微細表面形状の評価法
6	甘利 俊一	日本希土類学会・奨励賞 (足立賞)	有機合成反応に関連した低原子価希土錯体の研究
6	甘利 俊一	エマニエル・R・ピオレ賞 (IEEE)	「Pioneering Contributions and Leadership in Neural Networks and Information Geometry」
6	間 陽子	森永奉仕会賞	抗病的遺伝子マーカーおよび腫瘍マーカーとしてのウン腫瘍組織適合クラスII抗原の解析
6	中川 威雄	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞 (論文賞)	A New Processing Technique of GaAs Single Crystals and Its Mechanism
8	大森 整	Taylor Medal (CIRP; 国際生産科学研究機構)	Analysis of Mirror Surface Generation of Hard and Brittle Materials by ELID (Electrolytic In-Process Dressing Grinding) with Superfine Grain Metallic Bond Wheels
9	甘利 俊一	カイアニエロ記念賞 (イタリア神経回路網学会)	「Pioneering Studies and Contributions in Neural Network Dynamics」
10	八木 栄一	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス協会会長表彰	高圧ガス取り扱い業務の保安確保
10	松沢 安秀	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県労働商工部長表彰	高圧ガス取り扱い業務の保安確保
12	丹波 護武	関東地方発明表彰・発明奨励賞	「プラズマ発明装置」
	坂本 雄一		
1998. 1	伊藤 正男	Ordre de la Legion d' honneur (フランス共和国レジオン・ドヌール勲章)	
3	Chi-Huey Wong	Harrison Howe Award (アメリカ化学会)	Rocester Section
3	Chi-Huey Wong	Claude. S. Hudson Award (アメリカ化学会)	Carbohydrate Chemistry

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
3	藤井 輝夫	高度自動化技術振興賞（奨励賞）	「An On-line Adaptation Method in a Neural Network Based Control System for AUVs」
3	御子柴 克彦	上原賞	哺乳類中枢神経系の発生と分化の分子生物学的研究
3	理化学研究所	機械産業記念事業財団・ハイテク・ビデオ・コンクール最優秀作品賞（経済団体連合会会長賞）	サイエンスの証言—理研の80年
3	中川 威雄	回路実装学会・功績賞	プリント回路技術の発展向上への多大な貢献
3	有江 力	日本農薬学会賞	土壌病害の免疫学的検診法に関する研究
4	竹松 伸	日高論文賞（日本海洋学会）	海洋におけるマンガン酸化物に関する一連の総説（3編）
4	伊藤 隆	European NMR Conference・Poster Prize	NMR Studies of Yeast Ubiquitin Hydrolase
4	熊谷 寛	注目発明	軟X線光学素子用多層膜構造
4	豊田 浩一		
4	平林 義雄	注目発明	セラミドグルコシルトランスフェラーゼ
4	市川 進一		
4	安部 文敏	科学技術庁長官賞（研究功績者）	マルチトレーサー法の開発と応用に関する研究
4	上垣外 修一	高エネルギー加速器科学研究奨励賞	折り返し同軸型・可変周波数RFQの開発
5	岡田 元	日本菌学会・奨励賞	糸状不完全菌類の分類学的研究—形態と分子系統の側面から
5	遠藤 勲	International Symposium on Distributed Autonomous Robotic Systems (DARS'98)・Best Paper Award	Robust Collision Avoidance in Multi-Robot Systems
5	嘉悦 早人		
5	藤井 輝夫		
5	浅間 一		
6	有馬 朗人	Ordre des Palmes Academiques-Officier （フランス教育功労章—オフィシエ）	日仏の教育、研究活動に貢献
6	伊藤 正男	Ordre des Palmes Academiques-Chevalier （フランス教育功労章—シュヴァリエ）	これまでの研究活動全般
7	姫野 龍太郎	可視化情報学会・映像賞（芸術賞）	野球ボールのまわりの流れの可視化写真
8	中川 威雄	William Johnson International Gold Medal （AMPT'98 International Award）	Lifetime Achievement in Material Processing Research
9	水野 皓司	ケネス・J・バトン賞（イギリス物理学会）	ミリ波・サブミリ波アレイ・デバイスに関する独創的な研究開発に対して
10	肖 鋒	Computer Visualization Contest・入選	液面に落下する物体の数値シミュレーションおよび可視化
10	三浦 均		
10	清水 鉄也		
10	戎崎 俊一		
10	三浦 均	Computer Visualization Contest・優秀賞（SGI賞）	The Origin of the Moon
10	山口 一郎	関東地方発明表彰・発明奨励賞	物体の歪みの測定方法
10	岩井 莊八	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス協会会長表彰	高圧ガスの取り扱い業務に関する保安業績
11	金井 崇	日本機械学会設計工学・システム部門ラビッドプロトタイプリングコンテスト・アイデア賞	ラビッドプロトタイプングのためのメッシュ細分割処理
12	御子柴 克彦	慶応医学賞	哺乳類脳神経系の発生と分化のメカニズムの解析
12	西中 太郎	Amersham Biosciences & Science Prize for Young Scientists (The Regional Prize for Japan for an Outstanding Essay)	相同組替えにおいて誘起されるDNAの新規な構造
1999. 2	山口 一郎	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	ストレインゲージやエンコーダーを用いたスペックル干渉法やファイバー光干渉センサー研究への貢献
3	大森 整	精密工学会・1999年度春季大会学術講演会・ベストオーガナイザー賞	ELID研削
3	羽田野 祐子	日本原子力学会賞・奨励賞	チェルノブイリ大気中放射性核種濃度の長期予測
3	遠藤 勲	化学工学会・学会賞	生物化学工学に関する研究—とくにバイオプロセスシステムの知能化に関する研究および種々の新規バイオリアクターの開発研究
3	劉 紀元	応用物理学会・光学論文賞（日本光工学会）	Observation of a fringe locking phenomenon in a self-feed-back laser diode interferometer
3	浅見 忠男	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	植物特異的生理現象の解明に向けた機能プローブの創製研究
3	梶本 哲也	日本薬学会・奨励賞	アルトラゼを利用した糖鎖関連化合物の合成研究
4	杉岡 幸次	注目発明	光照射を用いた物質の加工方法
4	和田 智之		
4	田代 英夫		
4	豊田 浩一		

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
4	安齋 正博 高橋 一郎	中小企業優秀新技術・新製品賞	超高速加工機「スパークカット」の共同開発（キタムラ機械株式会社との共同開発）
4	飯塚 哲太郎	科学技術庁長官賞（研究功績者）	生体防御機能に関する新ヘムタンパク質に関する研究
4	上坪 宏道	紫綬褒章	重イオンリングサイクロトロンの開発
5	緑川 克美 杉岡 幸次 張 杰	レーザー学会・レーザー研究業績賞（進歩賞）	複合レーザープロセスによるハードマテリアル加工
6	掛谷 秀昭	がん分子標的治療研究会・研究奨励賞	抗がん剤サイトトリエニンによるアポトーシス誘導とMST/Krs蛋白質の活性化に関する研究
6	長田 実	手島記念研究賞・博士論文賞	Y系およびBi系高温超伝導体のフォノンラマン散乱
6	大森 整 中川 威雄	全国発明表彰・発明特別賞（経済団体連合会会長賞）	電解インプロセスドレッシング鏡面研削技術（特願昭63-12305号）
7	山口 一郎	Fellow of SPIE (The International Society for Optical Engineering, U.S.A)	ホログラフィー・スペックル計測・干渉法の分野への功績
7	溝口 剛	日本植物細胞分子生物学会・奨励賞	植物におけるプロテインキナーゼに関する分子生物学的研究
9	遠藤 勲	日本生物工学会・論文賞	Protein Refolding System Using Holo-Chaperonin from the Thermophilic Bacterium <i>Thermus thermophilus</i>
9	望月 優子	核理論新人論文賞（原子核理論委員会）	Dynamics of Exotic Nuclear R0d Formation for the Origin of Neutron Star Glitches
9	大森 整	高城賞（精密工学会）	超LSIデバイス・プロセスの機械的プラナリゼーション加工に関する研究
10	長澤 和夫	天然有機化合物討論会・奨励賞	Pinnatoxin Aの全合成
11	大野 忠夫 西條 薫	日本動物実験代替法学会・論文賞	日本動物実験代替法学会による細胞毒性試験法のバリデーションスタディーⅠ．全体の総括とED50値のばらつきの解析
11	大野 忠夫 西條 薫	日本動物実験代替法学会・論文賞	日本動物実験代替法学会による細胞毒性試験法のバリデーションスタディーⅡ．統計学的解析
11	佐野 滋則	計測自動制御学会・中部支部賞（奨励賞）	ロバスト同定におけるパラメータ推定誤差評価と同定入力信号の最適化に関する研究
12	平山 秀樹	Materials Research Society, U.S.A- Outstanding Poster Award	半導体量子井戸からの最短波長（230nm）高効率発光の実現
12	小嶋 聡一	日本血栓止血学会・優秀ポスター賞	ブラスミンインヒビターによる肝線維化抑制
12	林 偉民	日中科学技術交流協会・高度自動化研究奨励賞	硬脆材料の超精密加工法に関する研究
2000. 2	中野 明彦	井上学術賞	メンブレントラフィックにおける選別輸送の分子機構の研究
2	田中 秀樹	井上研究奨励賞	クラスターイオンの衝突反応過程
2	横田 秀夫	日本機械学会計算力学講演会・優秀講演賞	3次元内部構造顕微鏡を用いた生体の3次元ディジタイジング
2	山口 一郎	Honorary Member (The Optical Society of Korea)	光工学に関する研究
2	候 召民	有機合成化学協会・有機合成化学奨励賞	新規希土類金属活性種の開拓と高選択的有機合成反応への応用
2	末永 俊朗	有機合成化学協会・中外製薬研究企画賞	有色の脱離基、保護基による固相反応のリアルタイムモニタリング手法の開発
2	長澤 和夫	有機合成化学協会・東レ研究企画賞	新規五環性グアニジン化合物を用いた不斉反応場の設計と合成反応への展開
3	金井 崇	情報処理学会・第59回全国大会大会奨励賞	ユーザによる対応付けを考慮した3角形メッシュモーフィングの研究
3	大森 整 伊藤 伸英	精密工学会・2000年度春季大会学術講演会・ベストオーガナイザー賞	ELID研削
3	若槻 康雄	日本化学会・学術賞	遷移金属と不飽和基質の基礎的相互作用と新変換反応の研究
3	高橋 俊哉	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	糖質をキラルプールとして用いた酵素阻害活性天然物の合成化学的研究
4	大森 整 山形 豊 守安 精	中小企業優秀新技術・新製品賞（中小企業庁長官賞）	ELID研削加工機「ワン・ツー・カット ヒカリオン」
4	間 陽子	日本獣医学会賞	牛白血病ウイルスによる白血球発症の感受性を規定するウシMHCクラスⅡ遺伝子の分子生物学的解析とその臨床応用
4	遠藤 勲	科学技術庁長官賞（研究功績者）	次世代バイオプロセス構築のための基盤要素技術の研究
5	伊藤 弘昌	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	周期ドメイン制御非線形光学およびTHz波パラメトリック発振器を用いた波長可変コヒーレントTHz波発生に関する先駆的研究
5	御子柴 克彦	カレッジ・ド・フランスのメダル	細胞機能のカギとなる分子であるIP3レセプター、Ca <sup>2+</sup> チャネルの研究

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
5	玉木 徹	電子情報通信学会・東海支部学生研究奨励賞	フローのcurlに基づいた回転する人物の腕の抽出とパラメータ推定
5	牧野内 昭武	会田技術賞（日本塑性加工学会）	板材プレス成形シミュレーションに関する総合的研究
5	西川 雄大	高分子学会・高分子研究奨励賞	高分子の自己組織化を利用した表面微細加工および組織工学への応用
5	伊藤 弘昌 川瀬 晃道	レーザー学会・レーザー研究業績賞（論文賞）	パラメトリック発振による波長可変テラヘルツ電磁波の発生と応用
6	会田 昭二郎	日本化学会・講演奨励賞	サマロセン触媒系によるブタジエンの立体特異性リビング重合
6	高島 昌子	日本微生物資源学会・奨励賞	担子菌系酵母の分類学的研究
6	姫野 龍太郎	Computer Visualization Contest・最優秀賞（AVS大賞）	新しい魔球ジャイロボールの投球動作とボールが作る流れの数値解析
7	清川 悦子	浜松医科大学同窓会・学術奨励賞	DOCK180がCrk-p130Cas複合体を正に制御する証拠、他
7	長田 裕之	日本放線菌学会賞	放線菌由来低分子阻害剤の多様性に関する研究
8	Kumar Sudesh	ISPP-Best Poster Prize (International Symposium on Phototrophic Prokaryotes 2000;ISPP)	Analysis of polyhydroxyalkanoates biosynthesis by Synechocystis PCC 6803
9	塚越 一仁	応用物理学会・講演奨励賞	カーボンナノチューブのスピントロニクスを見出し伝導の詳細を明確化
10	中川 紀子	日本生化学会・JB論文賞	Crystal Structure of Thermus thermophilus HB8 UvrB Protein, A Key Enzyme of Nucleotide Excision Repair (J. Biochem. 126 (No.6), 986-990)
10	中山 洋	クロマトグラフィー科学会・奨励賞	LC-MSを用いた微量タンパク質の構造解析ならびに相互作用の解析
10	池上 九三男	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス会会長表彰	多年に亘り高圧ガス取扱業務に従事したこと
10	篠崎 一雄	Japanese Citation Laureates (ISI Thomson Scientific)	1981年から1998年までに発表された論文の中でHigh Impact Factor Paperを12報以上発表した日本の科学者
11	戎崎 俊一 成見 哲 川井 敦 薄田 竜太郎 古石 貴裕 古沢 秀明	Gordon Bell Prize, Peak Performance Category (IEEE Computer Society)	1.34 Tflops Molecular Dynamics Simulation for NaCl with a Special -Purpose Computer:MDM
11	今井 一宏	応用物理学会・講演奨励賞	テラヘルツパラメトリック発振器の光注入による線幅狭帯化
11	大森 整	日本機械学会生産加工・工作機械部門・技術業績賞	電解インプロセスドレッシング(ELID)による鏡面研削技術
11	川口(北爪)しのぶ	山形賞(東京工業大学糖鎖研究会)	複合糖質研究に関するこれまでの研究業績
11	中村 祐輔	慶応医学賞	ゲノム解析に基づいたヒト諸疾患の病因遺伝子の解明
11	中嶋 健 磯島 隆史 原 正彦 和田 達夫	日本表面科学会・技術賞	独自の金属コートを行った先鋭化光ファイバを用いて、局所的な光学物性とトンネル顕微鏡像の同時計測を可能にした
12	中村 淳	Award for Encouragement of Research in Materials Science (The Materials Research Society of Japan)	Structural and Electronic Properties of Two-Dimensional C60
12	土肥 義治	Hammar Memorial Award for Lifetime Achievement (The BioEnvironmental Polymer Society, U.S.A)	生分解性高分子に関する研究
2001. 2	林崎 良英	つくば賞	大量高速遺伝子(cDNA)解析技術の開発とそれを用いた遺伝子辞書の作製
2	高橋 俊哉	有機合成化学協会・中外製薬研究企画賞	非直結型ビスフランのダブル酸化反応を機軸とするスピロエーテル類の新規合成法の開発と天然物合成への応用
3	中田 忠	日本薬学会賞	多官能性生物活性天然物の全合成研究
3	中田 忠	BCSJ賞(Bulletin of the Chemical Society Japan;日本化学会欧文誌)	Classification and Prediction of Reagents' Roles by FRUS System with Self-Organizing Neural Network Model
3	下村 政嗣	日本化学会・学術賞	自己組織化を用いた分子集合体の階層的構造化
4	清水 裕彦 奥 隆之	注目発明	中性子ビーム制御装置及び中性子エネルギー測定装置
4	若槻 康雄	文部科学大臣賞(研究功績者)	金属錯体の新規触媒作用に関する研究
4	理化学研究所	科学技術映像祭・文部科学大臣賞(基礎研究部門)	「元素誕生の謎にせまる」
4	理化学研究所	科学技術映像祭・文部科学大臣賞(科学技術部門)	「サイクロトロン物語—理研の核物理研究—」
5	香取 浩子	守田科学研究奨励賞(大学婦人協会)	磁性体の性質についての研究
5	岩田 忠久	高分子学会・高分子研究奨励賞	生分解性ポリエステル単結晶の結晶構造と酵素分解機構の解明

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
5	中山 知信	花王研究奨励賞／表面の科学部門	C60、CaF単層結晶膜の形成と欠陥導入の原子プロセスの研究
6	国武 豊喜	日本学士院賞	合成二分子膜の発見と分子組織化学の開拓
6	浅間 一	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門・ベストプレゼンテーション表彰	知的データキャリアを用いたレスキュー支援環境構築の構想
6	浅間 一	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門・学術業績賞	ロボティクスメカトロニクス分野における新分野の開拓とその発展
6	佐田 登志夫	工作機械技術振興財団・工作機械技術振興賞(論文賞)	マイクロ溝加工技術を用いたフレネルレンズ'金型加工
7	竹市 雅俊	ロス・ハリソン賞 (International Congress of Developmental Biology:国際発生生物学会)	カドヘリンの発見
7	甘利 俊一	INNS President Award (IEEE International Joint Conference on Neural Networks:INNS)	アジア太平洋ニューラルネットワーク協議会創設における卓越したリーダーシップと情報幾何学及び日本の脳の世紀プログラムに対する貢献
7	大森 整 林 偉民 山形 豊 守安 精 劉 長嶺 河西 敏雄	Interinational Conference on Precision Engineering- Outstanding Poster Award	Effect of Polishing Pads in Finishing of Large Optical Elements (大型光学素子の超精密ポリッシングにおける加工特性)
7	大森 整 進藤 宜久 河西 敏雄	Interinational Conference on Precision Engineering- Outstanding Poster Award	A Basic Study on ProFile Grinding with ELID (ELID法によるプロファイル研削加工に関する研究)
7	小林 俊秀	International HDL Research Awards (Pfizer Inc)	Choleseterol Homeostasis in Macrophages (マクロファージにおけるコレステロールの恒常性)
8	大熊 盛也 井上 徹志	NREL Poster Award (National Renewable Energy Laboratory)	Molecular cloning and expression of a cellulase gene from symbiotic protists of termite
8	Ali Mansour	SCI2001/ISAS2001- Best Paper (Systemic Cybanetics and Informatics;SCI, Interinational Conference on Information Systems Analysis and Synthesis;ISAS)	A New Geometrical Blind Separation of Sources Algorithm
8	榊 佳之	Ordre des Palmes Academiques-Chevalier (フランス教育功労章ーシュヴァリエ)	これまでの研究活動全般
9	坂口 喜生	光化学協会賞	光検出ESR法を用いた光化学反応初期過程の研究
9	小林 俊一	Ordre des Palmes Academiques-Officier (フランス教育功労章ーオフィシエ)	日仏の教育、研究活動に貢献
9	Takao Kurt Hensch	塚原伸晃記念賞	成長の過程で神経回路がどのように組み変わるかを研究。成長後も回路を再構成するマウスを作り出し、その仕組みの解明に道を開拓
9	永田 典子	日本植物学会・ポスター賞	色素体分化を調節するブラシノステロイドの作用の研究
9	甘利 俊一 福永 健次	日本神経回路学会・論文賞	Local minima and pplateaus in hierarchical structure of multilayer peceptorons
10	三木 邦夫	日本結晶学会賞・学術賞	生体分子間の相互作用と分子認識に関する結晶学的研究
10	小林 直宏	日本ペプチド学会・奨励賞	合成ペプチドを利用したタンパク質構造形成過程に関する研究
10	榊 佳之	日本人類遺伝学会賞	ヒトゲノム計画の推進ー特に21番染色体の解読ー
10	瀬戸 秀春	植物化学調節学会賞	植物ホルモン類の精密合成によるブローブ化とその応用に関する研究
10	郷田 秀樹 吉田 茂男 嶋田 幸久 藤岡 昭三 宮内 成真 浅見 忠男	植物化学調節学会・ポスター賞	ブラシノステロイドの光シグナルとオーキシシグナルへの影響
10	岡崎 康司	日本青年会議所・人間力大賞 (経済産業大臣奨励賞)	これまでの研究活動全般
10	岡崎 康司	日本青年会議所・人間力大賞グランプリ	これまでの研究活動全般
10	安齋 正博 中川 威雄	関東地方発明表彰・発明奨励賞	「磁気研磨装置 (特許第3072246号)」※磁気研磨装置はフープ状の金属薄片のような長尺薄物の研磨に最適な装置
10	高島 晶	日本生化学会・JB論文賞	Genomic Organization and Transcriptional Regulation of the Mouse GD3 Synthase Gene (ST8Sial) :Comparison of Genomic Organization of the Mouse Sialyltransferase Genes

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
10	Piero Carninci	Biotech Award 2001-First Prize	Creation of a comprehensive mouse full-length cDNA resource and its functional annotation
10	塩川 高雄	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス会会長表彰	高圧ガスの取扱業務に関する保安功績
11	豊島 久真男	文化勲章	
11	眞鍋 史乃	日本薬学会・反応と合成の進歩シンポジウム・ポスター賞	固相における糖鎖合成のリアルタイムモニタリング法の開発
11	貝原 真	日本血栓止血学会・学術集会ポスター発表部門・優秀賞	エコノミークラス症候群成因に関する検討～赤血球が惹起する内因系凝固
11	竹市 雅俊	慶応医学賞	カドヘリンの発見と細胞間接着機構の解明
2002. 3	川瀬 晃道	丸文研究奨励賞	非線形光学効果を用いた広帯域波長可変コヒーレントテラヘルツ波発生の先駆的研究
3	鈴木 教之	触媒学会・奨励賞	ジルコノセン錯体を触媒とする不飽和炭化水素の炭素-炭素結合の生成
3	掛谷 秀昭	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	細胞の生死を制御する天然有機化合物を利用した化学生物学的研究
3	越野 広雪	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	新しいNMR構造解析法の開発と微生物の生産する新規生物活性物質の精密構造解析に関する研究
3	眞鍋 志乃	日本薬学会・奨励賞	新規な複合糖質糖鎖迅速合成法の開発
3	清水 裕彦	日本物理学会・論文賞	Direct Observation of Sequential Weak Decay of a Double Hypernucleus (掲載紙:PTP Vol.85 No.6 1287 (1991))
4	長田 裕之	文部科学大臣賞(研究功績者)	アポトーシス誘導物質サイトリエンの研究
4	武内 一夫	文部科学大臣賞(研究功績者)	ナノ粒子のサイズ選別手法の研究
5	明石 知子	日本質量分析学会・論文賞	Evaluation of Binding Affinity of N-Terminally Truncated Forms of Cystatin for Papain With Electrospray Ionization Mass Spectrometry
5	大熊 盛也 工藤 俊章	The William Trager Award for Outstanding Paper (The Society of Protozoologists)	Phylogenetic identification of hypermastigotes, Pseudotrichonympha, Spirotrichonympha, Holomastigotoides, and parabasal symbionts in the hindgut of termites
6	鈴木 邦彦	日本学士院賞	遺伝性神経疾患、特にスフィンゴリビドーシスの病理機序に関する研究
6	尾崎 美和子	日本女性科学者の会・奨励賞	神経インパルスのパターンのプロファイリングと脳の可塑性の制御
6	安齋 正博	型技術協会・技術賞	金型用鋼材の高速ミーリング技術
6	高橋 一郎		
6	高橋 一郎	型技術協会・奨励賞	高速ミーリング用ボールエンドミルの製作と切削特性
6	安齋 正博		
6	Tong Wang	Nano-EcoSS Prize (7th International Conference on Nanometer-Scale Science and Technology + 21th European Conference on Surface Science)	Investigation of Biological Materials by a Hybrid Scanning Near-Field Optical/Atomic Force Microscope (SNOM/AFM)
7	榎本 秀一	日本微量元素学会・研究奨励賞(野見山賞)	Tumor Accumulation of Radioactive Trace Elements:A Multitracer Study
7	田中 啓治	時実利彦記念賞	側頭連合野における物体視覚像の脳内表現の解明
7	大坪 嘉行	Federation of European Microbiological Societies-Third Prize	A noble approach to the creation of microorganism for efficient bioremediation promoter implanting by homologous
7	姫野 龍太郎	可視化情報学会・映像賞(SGI賞)	Computational Study of Influences of a Seam Line of a Ball for Baseball on Flows
7	吉田 茂男		
7	阿部 知子	日本植物細胞分子生物学会・技術賞	重イオンビームによる突然変異誘発法の開発と応用
7	鈴木 賢一		
8	中村 信行	原子衝突研究協会・若手奨励賞	Tokyo-EBITを用いた多価イオンの分光研究—X線分光—
8	岡田 芳樹	日本エアロゾル学会・論文賞	The Stability of Ammonia Cluster Ions and Its Relation to Nucleation Rate
8	武内 一夫		
8	折井 孝彰		
8	川口(北爪)しのぶ	日本糖質学会・奨励賞	シアロオリゴ糖の構造・機能および代謝に関する研究
8	斎藤 政道	LT-23 Poster Award (The 23rd International Conference on Low Temperature Physics:LT-23)	Study of Dynamical Properties of Superfluid <sup>3</sup> He Film Flow by Interdigitated Capacitors
8	池上 弘樹		
8	椋田 秀和		
8	河野 公俊		
9	甘利 俊一	日本統計学会賞	これまでの研究業績全般

受賞年月	氏名	賞名 (授与団体名)	研究業績
9	安齋 正博 ) 中川 威雄 )	砥粒加工学会・技術賞	電気カミソリ刃のマイクロデバリング用磁気研磨技術
9	一ノ瀬 泉	日本化学会コロイドおよび界面化学部会・科学奨励賞	逐次吸着による新しい有機、無機、高分子超薄膜の創造
9	中島 弘道 ) 向井 利春 ) 大西 昇 )	日本神経回路学会・研究賞	感覚運動統合による音源定位ロボットの構築
9	末永 敦	CBI学会・優秀論文賞(Chem-Bio Informatics Society)	RNAポリメラーゼの分子動力学シミュレーション
9	沖本 憲明	CBI学会・優秀論文賞(Chem-Bio Informatics Society)	プリオンタンパク質の分子動力学シミュレーション
9	安齋 正博	砥粒加工学会・学術講演会ベストオーガナイザー賞	金型の高速・高精度加工
9	阿形 清和	日本動物学会賞	プラナリアを用いた脳の進化と再生に関する分子・細胞生物学的研究
9	緑川 克美	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	For contributions to generation of coherent XUV radiation by femtosecond high intensity lasers
9	石川 哲也	日本結晶学会・学術賞	放射光用の高性能X線光学システムの開発と利用研究
10	榊 佳之	Moosa Award (The Biochemical Society of the Republic of Korea;BSRK)	Comparative genomics as a tool for understanding our genome
10	岩井 荘八	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県環境防災部長表彰	高圧ガスの保安
10	額田 恭郎	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス会会長表彰	高圧ガスの保安
10	浅間 一	日本産業デザイン振興会・グッドデザイン賞	被災者探索レスキュー用データキャリア (Rescue IDC)
10	有本 裕	関東地方発明表彰・特許庁長官奨励賞	農業コーティング剤
11	外村 彰	文化功労者	
11	塚越 一仁 ) 米屋 伸英 ) 渡辺 英一郎 ) 青柳 克信 )	NMC 2001 Award for Most Impressive Presentation (International Microprocesses and Nanotechnology Conference;NMC)	Nano-Electronics in a Multiwall Carbon Nanotube
11	上口 裕之	三四会奨励賞(慶應義塾大学医学部)	細胞接着分子による神経軸索成長の制御機構の解明
11	松澤 安秀	優良CE保安監督者等表彰	永年に亘るCE施設の安定運転と保安確保に尽力
11	川端 邦明	計測自動制御学会・システム・情報部門・奨励賞	マルチロボット環境下におけるロボットの拡自行動—ロボット間コミュニケーションの創発による環境共創—
12	河田 聡	島津賞	近接場分光法とナノフォトニクスの研究
12	野田 悟子 ) 大熊 盛也 ) 工藤 俊章 )	極限環境微生物学会・ポスター賞	シロアリ腸内の原生動物の細胞内における新規共生窒素固定系
12	姫野 龍太郎 ) 深作 和明 )	日本脳神経血管内治療学会・銅賞	マイクロCTによるembolic coil微細構造の観察
12	理化学研究所 ) ワイコフ興業(株) )	科学技術と経済の会・最優秀新技術賞	超微粒計測システム「DMA装置」
12	皿井 明倫	Oxford University Press Bioinformatics Prize (日本バイオインフォマティクス学会)	Target Prediction of Transcription Factors:Application of Structure-Based Method to Yeast Genome
12	向井 利春	SI2002ベストセッション賞(計測自動制御学会・システムインテグレーション部門)	人間共存ロボットのための柔軟な面触覚センサの開発
12	横山 敬郎	Award for Encouragement of Research in Materials Science (The Materials Research Society of Japan)	THE MORPHOLOGICAL CHANGES AND ADHESION STRENGTH IN ION BOMBARDED COLLAGEN
2003. 2	黒飛 紀美	井上研究奨励賞	イオンビーム照射によるコラーゲンの生体反応性制御に関する研究
2	篠崎 一雄 ) 篠崎 和子 )	つくば賞	環境ストレス応答に関わる植物遺伝子群の機能、発現の解明とストレス耐性植物の開発
2	河田 聡	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	近年の近接場光学、3D顕微鏡、光センサー、光反応など光学／フォトニクスの分野における功績
2	板橋 健太	GSI Exotic Nuclei Community Membership Award (Gesellschaft für Schwerionenforschung mbH;GSI, ドイツ国立重イオン研究所)	Discovery of Deeply Bound Pionic States in Lead Atoms
2	Rituparna Kanungo	GSI Exotic Nuclei Community Membership Award (Gesellschaft für Schwerionenforschung mbH;GSI, ドイツ国立重イオン研究所)	Outstanding Experimental Studies of Light Neutron-Rich Nuclei
2	石川 哲也	Fellow of SPIE (The International Society for Optical Engineering)	これまでの業績



受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
2	松尾 剛	有機合成化学協会・コンビナトリアル・ケミストリー研究会 研究企画賞	アポトーシス誘導を指向した糖鎖を有する抗ガン活性物質の創製
3	Franco Nori	Fellow of APS (American Physical Society)	Innovative theoretical contributions to the study of vortex dynamic in superconductors, dynamical instabilities, josephson junction arrays and quantum interference
3	平山 秀樹	丸文研究奨励賞	Ⅲ族窒化物 4 元混晶を用いた深紫外・高輝度LEDの研究
3	黒飛 紀美	高木賞・最優秀論文発表賞（未踏科学技術協会）	イオンビーム照射コラーゲンの血小板粘着抑制と細胞接着性の制御
3	浜垣 学	応用物理学会・プラズマエレクトロニクス賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Absolute concentration and loss kinetics of hydrogen atom in methane and hydrogen plasmas. (Journal of Applied Physics, Vol.90, No.11 (2001))</li> <li>• Investigation of Nitrogen Atoms in Low-Pressure Nitrogen Plasmas Using a Compact Electron-Beam-Excited Plasma Source (Journal of Applied Physics, Vol.41, No.7A (2002))</li> </ul>
3	大森 整 伊藤 伸英 林 偉民	精密工学会・2003年度春季大会学術講演会・ベストオーガナイザー賞	オーガナイズドセッション「ELID研削」の企画
3	小野 照子	精密工学会・2003年度春季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	ELID研削加工砥石のトライボロジー特性の評価
3	大熊 盛也	日本農芸化学会・農芸化学奨励賞	シロアリー微生物共生系の分子生態学的研究
3	染谷 信孝	日本植物病理学会・論文賞	Synergistic Antifungal Activity of Chitinolytic Enzymes and Prodigiosin Produced by Biocontrol Bacterium <i>Serratia marcescens</i> strain B2 against the Gray Mold Pathogen, <i>Botrytis cinerea</i>
4	和田 智之	中小企業優秀新技術・新製品賞	高速波長可変赤外レーザーシステム「POPO-11」
4	大森 整	文部科学大臣賞（研究功績者）	電解インプロセスドレッシング（ELID）鏡面研削法の研究
4	大森 整	市村学術賞（貢献賞）	電解インプロセスドレッシング（ELID）による鏡面研削法の研究
5	物質基盤研究部 化学分析室	日本分析化学会・50周年記念特別功労賞	微量分析で分析精度と確度を向上させるために用いられる標準試料の選定に参加し、これらの試料を用いた検定作業に貢献したこと
5	榊 佳之	中日文化賞	ヒトゲノム解読への貢献
6	池田 敏之	日本骨代謝学会奨励賞	軟骨再生医療を目指したSOX9/SOX5/SOX6の遺伝子同時導入による軟骨誘導に関する研究
6	岩木 正哉 加瀬 究 高口 雅成 柿林 博司 常田 るり子 新野 俊樹	日本顕微鏡学会・論文賞	Three-dimensional STEM for observing nanostructures (Journal of Electron Microscopy Vol.50, No.3, (2001), pp235-241)
6	川口(北爪)しのぶ	日本女性科学者の会・奨励賞	アルツハイマー病の原因究明に関する独創的な研究
6	高橋 一郎 安齋 正博	型技術協会・奨励賞	「小径ボールエンドミルによる焼入れ鋼の高速ミーリング」
6	中村 史夫	日本化学会・講演奨励賞	「DNA単分子膜を用いた新規DNAセンサーの構築」
7	Franco Nori	Fellow of the Institute of Physics	凝縮系物質物理学への先駆的寄与
7	神谷 勇治	Corresponding Member (conferred by The American Society of Plant Biologists)	これまでの研究活動
8	高口 博志	原子衝突研究協会・若手奨励賞	交差分子線散乱画像観測法による開殻系非弾性散乱の研究
9	御子柴 克彦	Zulch Prize (Gertrud Reemtsma Foundation)	ブルキンエ細胞内のIP3受容体の発見と機能に関する研究、及び脳神経系の発生と分化における先駆的研究
9	米田 忠弘 金 有洙 川合 真紀	日本表面科学会・論文賞	振動励起による単一分子の化学反応と化学種同定
9	山田 真久	日本神経化学会・奨励賞	ムスカリン性アセチルコリン受容体サブタイプの中樞神経における特異的役割
10	大森 整	第15回精密工学会・蓮沼記念賞	ELID研削加工技術
10	片平 和俊	精密工学会・2003年度秋季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	ELID研削を施した金型材料の表面機能評価

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
10	宮脇 陽一	第18回生体・生理工学シンポジウム・研究奨励賞	両眼視差条件に依存した遅延誘発電位の時間特性ならびにその発生機序に関する考察
10	凌 楓	日本生化学会・奨励賞	ミトコンドリア遺伝の基本分子機構
10	嶋田 幸久	植物化学調節学会・奨励賞	ブラシノステロイド関連性遺伝子に関する分子生物学的研究
10	星野 幹雄	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県環境防災部長表彰	高圧ガスの保安の確保に努め、公共の安全に寄与
10	小原 重夫	埼玉県高圧ガス保安大会・埼玉県高圧ガス会長表彰	高圧ガスの保安の確保に貢献
10	久城 哲夫	植物化学調節学会・ポスター賞	アブジジン酸（ABA）の代謝に関わるシロイヌナズナABA 8'-水酸化酵素遺伝子の同定
10	山本 雅貴	ひょうごSPRING-8賞	蛋白質結晶構造解析高度化への貢献
11	和田 昭允	横浜文化賞	これまでの研究活動全般
11	榊 佳之	紫綬褒章	ヒトゲノム解読研究への貢献
11	尹 韶輝	Best Presentation Award	Micro V-grooves Grinding Technique of Large Germanium Immersion Grating Element for Mid-infrared Spectrograph
11	杉山 達夫	L'Ordre des Palmes Academiques-Officier（フランス教育功労章—オフィシエ）	これまでの研究活動・全般
11	甘利 俊一	2003年C&C賞	ニューロコンピューティングおよび脳の数理情報科学への先駆的かつ指導的貢献
11	松尾 一郎	東京糖鎖研究会・奨励賞	収斂的経路によるアスパラギン結合型糖鎖の効率的な合成法の開発研究
11	池田 敏之	東京大学整形外科同窓会・奨励賞	軟骨関連コラーゲン遺伝子多型と変形性関節症の相関解析
11	白川 太郎	Erwin von Balz Preis 2003（Ersten preis）	生活習慣関連病モデルとしてのアレルギー疾患の予防戦略の構築（原因遺伝子解析からのフィールドにおける予防実証学研究へ）
11	山本 一彦	Erwin von Balz Preis 2003（Zweiten Preis）	アレルギー疾患における病態形成機序の解析（慢性炎症を形成する細胞動態の制御に向けて）
11	菊池 淳	第42回NMR討論会・若手ポスター賞 優秀賞	高安定化磁場配向膜の開発とその応用（生体膜・タンパク質の高分解能NMR解析）
11	西山 裕介	第42回NMR討論会・若手ポスター賞 優秀賞	強度位相変調rf磁場を用いた試料回転の中での核スピン相互作用のdecoupling/recouplingと化学シフトの異方性の決定への応用
11	叶 直樹	第45回天然有機化合物討論会・奨励賞	官能基非依存型低分子アレイの作成と評価
12	古園 さおり	極限環境微生物学会・ポスター賞	PH応答性GFP変異体を用いた菌体内pHの動的変化の検出
12	会田 昭二郎	第16回エラストマー討論会・優秀発表賞（若手発表の部）	希土類メタロセン触媒による種々のエラストマーの合成
12	深見 真二郎	Neuroscience Research Excellent Paper Award	Aβ-degrading endopeptidase, neprilysin, in mouse brain: synaptic and axonal localization inversely correlating with Aβ pathology
	渡邊 かおり		
	岩田 修永		
	西道 隆臣		
12	越後貫 成美	研究奨励賞（（社）予防衛生協会）	サル類の顕微授精に関する研究
12	白髭 克彦	第1回日本分子生物学会・三菱化学奨励賞	真核生物染色体の複製開始制御機構の解析
2004. 1	山田 整	FPGA/PLD Design Conference ユーザ・プレゼンテーション・審査員特別賞	FPGAによる高速画像処理を利用した小型飛行物体の姿勢制御
	富永 貴志		
	市川 道教	創業・ベンチャー国民フォーラム・奨励賞（起業家部門）	研削だけでナノレベルの鏡面加工が実現できる日本発独自技術であるELID加工技術の開発
2	大森 整		
2	関口 仁子	井上研究・奨励賞	重陽子-陽子弾性散乱による三体力効果の探索
2	叶 直樹	第一製薬研究・企画賞	蛋白質-低分子リガンド間相互作用の網羅的解析を指向した官能基非依存型低分子マイクロアレイの創製
3	小川 智也	CAS Science Spotlight Hall of Fame	世界各国からのCASのデータベースサービスを通じた原文要求が最も多い優れた論文
3	谷口 克	上原賞	NKT細胞の研究
3	高橋 栄治	(財)光科学技術研究振興財団・研究表彰	高次高調波を用いた超短パルス高エネルギー軟X線光源に関する研究
3	笠原 和起	安藤百福賞・優秀賞（基礎研究部門）	ピロロキノリンキノンが新しいビタミンであることの発見
3	上原 嘉宏	精密工学会・2004年度春季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	ELID 研削における研削液供給方法に関する研究（第6報：加工に使用した微細ピンの評価）

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
3	鈴木 亨	精密工学会・2004年度春季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	ソリッドイマージョンミラーの超精密ELID研削（第5報：表面あらさの向上による集光特性の向上）
3	大森 整 伊藤 伸英 林 偉民	精密工学会・2004年度春季大会学術講演会・ベストオーガナイザー賞	オーガナイズドセクション「ELID研削」の企画
3	榊原 均	日本植物生理学会・奨励賞	高等植物における窒素栄養情報伝達機構に関する研究
3	藤原 真琴	第10回原子核談話会・新人賞	冷たい反水素原子の生成と検出
3	山下 将嗣	応用物理学会講演・奨励賞	IC断線評価システムの空間分解能評価
4	坂本 光央	黒屋奨学賞	分子生物学的手法による歯周病性細菌の検出・定量系の確立と口腔内細菌叢の多様性解析に関する研究
4	山口 勇	日本農学賞	環境調和型の植物病害制御剤の薬理機構と代謝に関する研究
4	山口 勇	第41回読売農学賞	環境調和型の植物病害制御剤の薬理機構と代謝に関する研究
4	林崎 良英	文部科学大臣賞・研究功績者表彰	DNAの常温保存流通方法に関する研究
4	中村 祐輔	紫綬褒章	遺伝医学の発展に貢献
4	竹市 雅俊	Foreign Honorary Members	これまでの研究活動全般
5	臼井 健郎	平成16年度がん分子標的治療研究会研究・奨励賞	微小管チェックポイントを活性化する抗がん剤の開発
5	藤野 竜也	日本分光学会・平成16年度春季講演会・優秀発表賞	フェムト秒蛍光アップコンバージョン顕微鏡の開発と応用
5	森脇 和郎	日本実験動物学会・功労賞	実験動物学研究、実験動物系統の開発、系統の維持・提供事業、日本実験動物学会の運営等における長年にわたる貢献
5	山村 直人 牧野内 昭武 Teodosiu, Cristian	日本塑性加工学会賞・論文賞	論文「シェル要素による純曲げ変形のスプリングバック解析とその精度評価」
5	中坊 嘉宏	技術振興賞・開発賞	インテリジェントビジョンシステムの開発
5	浜 孝之	日本塑性加工学会賞・新進賞	静的陽解法FEMによるハイドロフォーミング解析の研究
5	有本 裕	全国発明表彰・発明賞	農業コーティング剤の発明
5	須田 亮	レーザー研究奨励賞	中空ファイバー中の非線形光学に関する研究
5	杉岡 幸次	LPM2004 Outstanding Oral Paper Award	ハイブリッドレーザープロセッシングによるマイクロチップラビッドプロトタイピングに関する研究
5	松下 祥子	Best Poster Award at EMRS2004	Hierarchical honeycomb structures prepared by dissipative process
6	谷口 唯成	日本知能情報ファジィ学会・奨励賞	区分的リアプノフ関数による非線形システムの安定化
6	水谷 正義	若手研究者を対象とする工作機械関連の優秀論文顕彰事業	論文「金属系生体材料（Ti-6Al-4V 合金）の腐食特性に及ぼすELID研削の効果」
6	坂口 志文	The William B. Coley Award	The role of regulatory T cells in the immune system
6	豊田 倫子	日本脳科学学会・奨励賞	PMX2B遺伝子のポリアラニン鎖長多型と斜視を伴う統合失調症との相関
6	手嶋 吉法	形の科学会・奨励賞	Dense packing of equal circles on a sphere by the Minimum-Zenith Method
6	平野 俊夫	藤原賞	サイトカインの分子生物的研究
6	牧野内 昭武	文部科学大臣賞・産学官連携功労者表彰	成形シミュレーションソフト等の開発と製品化
6	牧野内 昭武	第14回型技術協会賞・功績賞	プレス成形シミュレーション技術の研究を通じ日本のプレス金型業界の技術力並びに国際競争力向上に貢献
7	守屋 繁春	The 2003 William Trager Award for Outstanding Paper (Co-winner)	論文「Molecular Phylogeny of Three Oxymonad Genera: Pyrsonympha, Dinenympha and Oxymonas」
7	木須 孝幸	SNS2004 Conference Paster Award	Direct measurement of bulk superconducting electronic structures with sub-meV resolution
7	中村 泰信	Agilent Technologies Europhysics Prize	The demonstration of quantum bits using superconducting circuits
7	鈴木 俊法	The Broida Prize	遊離基（フリーラジカル）の分光化学と化学反応論に関する卓越した業績
7	沖本 憲明	CBI学会・ポスター奨励賞	Molecular Dynamics Simulations of liganded and unliganded proteins
8	長田 隆	ACMD (Asian Conference on Multibody Dynamics) Best Paper Award	論文「A Parallel O(N) Formulation for General Multibody Dynamics」

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
8	木村 英紀	2004年度計測自動制御学会・著述賞	著書「制御工学の考え方」で、制御の概念やその面白さ、重要性を分かりやすく解説
8	山谷 知行 石山 敬貴 広瀬 直也	日本植物細胞分子生物学会・論文賞	論文「Organization and Structure of Intracellular Localization of the Enzyme Protein in Rice Plants, Plant Biotechnology」
8	戸谷 希一郎		
8	松尾 一郎	第7回日本糖質学会・ポスター賞	糖メトトレキセート複合型分子プローブの合成と人工糖タンパク質創製への応用
8	Noh, Jaegeun 原 正彦	Award for Best Poster Presentation (Nano Korea 2004 Symposium)	収斂的経路によるアスパラギン結合型糖鎖の効率的な合成法の開発 「Organic Molecular Assembly and Scanning Tunneling Microscopy」
8	服部 聡	Best Poster Award (International Symposium for Microbial Ecology)	Symbiotic Relationship Between Cellulose-Utilizing Protists and Their Associated Homoacetogens in the Gut of Lower Termite
9	丸山 瑛一	応用物理学会・功労会員	応用物理学の発展への寄与、及び応用物理学会に対する功績
9	山崎 剛	2004年度素粒子メダル奨励賞（学会講演部門）	「 $l=2\pi\pi$ scattering length from two-pion wave function」
9	渡邊 裕	精密工学会・2004年度秋季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	「屈折率傾斜（GRIN）光学素子へのELID研削加工の試み 第2報：ELID研削加工の最適条件について」
9	浅見 宗明	精密工学会・2004年度秋季大会学術講演会・ベストプレゼンテーション賞	「テーブルトップ超精密4軸加工機の開発 第11報：小径砥石におけるELIDIIIでの研削液濃度変化による加工面評価」
9	神谷 勇治	IPGSA (International Plant Growth Substance Association) Distinguished Research Award	ジベレリン正合成に関する研究、及び当該研究分野の国際化への貢献
9	上口 裕之	日本神経化学会・奨励賞	神経軸索成長の分子機構の研究
9	長野 明紀	日本バイオメカニクス学会・学会賞	2002-2003年に報告した一連の研究成果
9	森山 麻里子	Prize of the Best Poster	「Neural Crest由来のmelanocyteにおけるHes1の役割について」
9	濱口 航介	日本神経回路学会・奨励賞	「局所性を持つ動機発火連鎖の解析」
9	宮脇 陽一	日本神経回路学会・奨励賞	論文「経頭蓋磁気刺激の神経メカニズム-ネットワークか単一神経細胞か？」
9	許 健司 鈴木 嘉昭 岩木 正哉	社団法人日本金属学会・優秀ポスター賞	「細胞外マトリックスとイオンビームを用いた冠状動脈用ステントの表面改質と生体適合性」
10	齋藤 彰		
10	清水 史郎	The 7th L'OREAL Art and Science of Color Prize Gold Prize	モルフォ蝶ブルーの原理と実践
10	鈴木 航大	日本癌学会・奨励賞	薬剤耐性・転移に関与するがん分子標的の機能解析
10	鈴木 航大 Svinin, Mikhail 細江 繁幸	Best paper in a Field of Robotics Technology (the Forth International Conference on Advanced Mechatronics Award (ICAM'04))	論文「A Study on Motion Planning for Rolling-Based Locomotion」
10	豊田 倫子		
10	土肥 義治	財団法人長寿科学振興財団・会長賞	機能性精神疾患の系統的遺伝子解析
10	宮脇 敦史	山崎貞一賞（バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野）	生分解性高分子の生合成と材料設計に関する研究
10	福田 光則	山崎貞一賞（バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野）	蛍光タンパク質の開発に基づくバイオイメージング技術の学際的革新
10	福田 光則	平成16年度日本生化学会・奨励賞	シナプトタグミン及びその類似蛋白質による膜輸送制御の分子メカニズム
10	田中 敏博	日本人類遺伝学会・奨励賞	体系的ゲノム解析による心筋梗塞関連遺伝子単r離とその機能解析
10	本郷 裕一 大熊 盛也 工藤 俊章	Best Poster Award in the 10th Internatinal Congress for Culture Collection (ICCC-10)	「Novel(sub) divisional lineages of bacteria found from the gut of termites」
10	山崎 展樹		
10	入来 篤史	埼玉県高圧ガス会・会長表彰	高圧ガス取り扱い業務への従事、保安の確保に関する功績
10	仲下 英雄	Minerva Foundation Golden Brain Award	Awarded as recognition of sterling contributions to the neurobiology of vision and especially to the understanding of the dynamic cortical processes involved when motor responses are associated with visual input.
10	仲下 英雄	植物化学調節学会・奨励賞	植物免疫機構における植物ホルモンの役割とその制御に関する研究

受賞年月	氏名	賞名（授与団体名）	研究業績
10	浅見 忠男	植物化学調節学会賞	植物ホルモン生合成阻害剤の戦略的創製研究
10	古崎 昭	第19回西宮湯川記念賞	相互作用する一次元電子系における電気伝導の研究
10	兼目 裕充	植物化学調節学会第39回大会・ポスター賞	「ジベレリン生合成中間体ent-カウレンの気相への放出」
11	谷口 克	紫綬褒章	免疫発生学の発展に貢献
11	竹市 雅俊	文化功労者	発生生物学の発展に貢献
11	金 丙鎬	Best Presentation Award (IECON'04)	「A Model of Soft Contact-Based Manipulation Systems and Its Application to Writing Tasks」
11	生方 俊	Poster Award for Young Researcher (Korea-Japan Joint Forum 2004 (KJF2004) Organic materials for electronics and Photonics)	「Wavelength Programmable Organic Distributed Feedback laser using a Photoinduced Surface Relief Grating」
11	北村 英男	兵庫県科学賞	優れた挿入光源の開発を通じてのスプリング8における研究に対する貢献、及び放射光利用分野で新たな装置の開発に取り組むなどの科学技術の向上と産業界の発展への尽力
11	豊島 久真男	大阪市市民表彰	これまでのウイルスがん遺伝子研究での成果、及び医学の振興と発展への貢献
11	長谷 耕二	Grand Excellence Award (The 2nd Pfizer Science and Research Symposium)	論文「Gene expression profiling of follicle-associated epithelium and M cells based on cDNA microarray analysis (腸管関連免疫組織に接する腸管上皮細胞に特異的に発現する遺伝子群の解析)」
11	西山 裕介	第43回NMR討論会・優秀若手ポスター賞	「個体NMRにおける位相強度変調rf磁場によるスピン相互作用の選択的recoupling法」
11	御子柴 克彦	武田医学賞	脳神経系の発生・分化機構の研究
11	野田 悟子	日本微生物生態学会第20回大会・優秀発表賞	「シロアリ腸内原生物とその共生CFBグループ細菌の系統・進化」
11	田原 太平	日本IBM科学賞	新しい時間分解分光法の開発と凝縮相超高速分子現象の解明
11	竹市 雅俊	L'Ordre des Palmes Academiques-Officier (フランス教育功労章-オフィシエ)	日仏の学術交流への貢献
11	上田 泰己	日本イノベーター大賞・優秀賞	不眠症やうつ病などの現代病の解決につながる「体内時計」測定方法としての「分子時刻法」の開発
12	市田 裕之	日本DNA多型学会・優秀研究賞	「キャベツ萎黄病抵抗性DNAマーカーの作出」
	松山 知樹		
	阿部 知子		
	吉田 茂男		
12	蔡 兆申	第50回仁科記念賞	ジョセフソン接合素子を用いた二個の量子ビット間の量子もつれ状態の実現
12	福田 光則	日本唾液腺学会・奨励賞	「ラット耳下腺腺房細胞のアミラーゼ分泌におけるRab27およびSlac2-cによる制御」
12	清水 裕彦	日本中性子科学会・第2回技術賞	中性子磁気光学素子などの開発と応用
12	北口 雅暁	日本中性子科学会・第2回奨励賞	多層膜ビーム分岐エタロンを用いた高精度冷中性子干渉法の開拓

※本表は、理化学研究所に在籍したことのある者及び在籍中の者が、その設立（昭和33年10月21日）以降受賞したものの一覧である。ただし、在籍したことのある者の離職後の受賞については、わかる範囲のみ掲載してある。

# 建物使用区分の概要

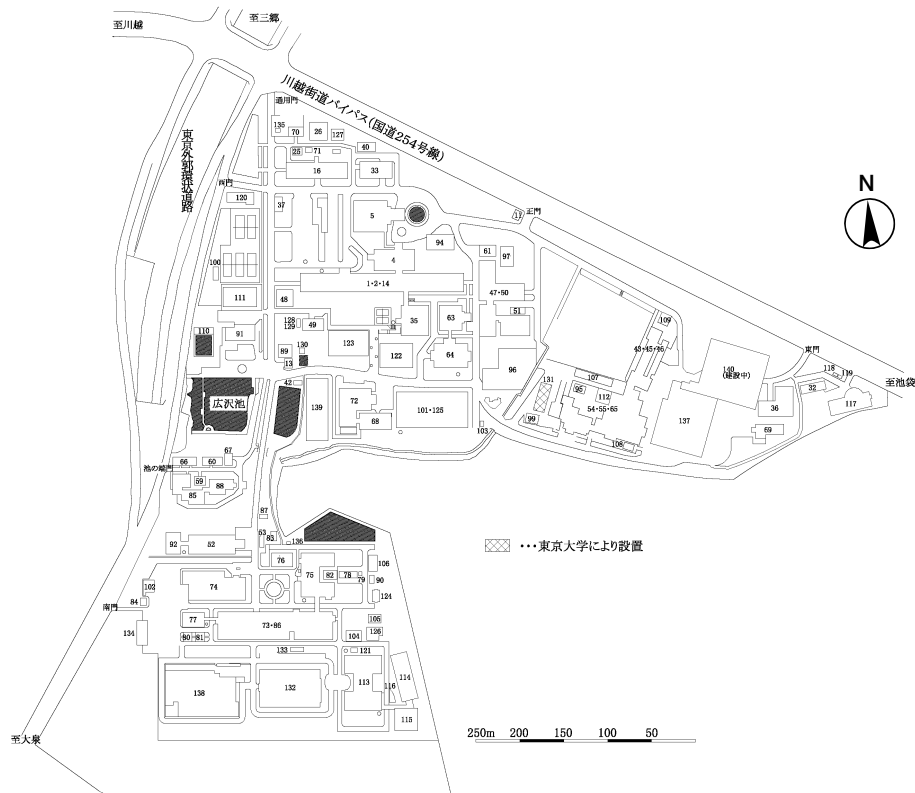
## 【本所及び和光研究所】

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要 (研究室等)
1	研究本館 (その1)	1964.10.14		実験室・研究室
2	研究本館 (その2)	1966.4.10		実験室・研究室
3	サイクロトロン本棟	1965.2.15	1999	研究装置機械室
4	電気機械棟	1965.11.30		機械室
5	事務棟	1966.9.30		事務室
6	食堂	1966.9.30	2000	厚生施設
7	発電機棟	1966.9.30	1992	機械室
8	サイクロ附属研究棟 (原子物理棟)	1966.9.15	1992	実験室・研究室
9	守衛所 (西)	1966.9.30	1992	守衛室
10	守衛所 (東)	1966.9.30	2000	守衛室
11	守衛所 (中央)	1966.9.30		守衛室
12	ベーター線スペクトロメーター建屋	1967.3.31	1992	実験室・研究室
13	危険物倉庫	1967.6.15		倉庫
14	研究本館 (その3)	1968.6.30		実験室・研究室・事務室
15	バンデグラフ棟	1968.3.31	1993	実験室・研究室
16	工学実験棟	1968.6.30		実験室・研究室
17	変電機械室 (継電器室)	1964.11.15	1992	機械室
18	ファンジトロン棟	1968.8.31	1992	実験室・研究室
19	コバルト棟	1968.10.31	1993	実験室・研究室
20	副電気機械棟 (農薬)	1968.8.31	1992	機械室
21	インセクトロン棟	1969.2.28	1992	実験室・研究室
22	研究温室 (2棟)	1968.9.30	1992	植物栽培室
23	動物飼育棟	1969.5.31	1992	実験室・研究室
24	醗酵棟	1969.9.30	1992	実験室・研究室
25	工学実験棟附属実験棟 (プレス棟)	1969.4.20		倉庫
26	倉庫 (工学実験棟北側)	1969.3.31		倉庫
27	研究基盤技術部棟 (工作棟)	1970.6.30	1992	実験室・研究室
28	ファイトトロン棟	1970.6.15	1992	実験室・研究室
29	放射性同位元素実験棟 (RI 棟)	1970.9.25	1992	実験室・研究室
30	单身寮	1970.12.15	2000	宿舎
31	農薬研究棟	1971.5.31	1992	実験室・研究室
32	国際交流会館F棟	1972.4.30		宿舎
33	太陽光エネルギー実験棟 (第二事務棟)	1972.5.30		事務室
34	倉庫 (偏極イオン源室)	1972.11.30	1999	倉庫
35	図書館	1972.11.30		図書室
36	高温プラズマ実験棟	1974.7.31		実験室・研究室
37	守衛所	1973.12.22		守衛室
38	バンデ機械室	1975.2.14	1993	機械室
39	廃液処理棟 (安全管理棟)	1975.1.9	1992	機械室
40	倉庫 (高圧棟)	1972.11.30		倉庫
41	ジグボーラ室	1973.9.17	1992	実験室・研究室
42	排水監視盤室	1975.6.15		機械室
43	線型加速器棟 (I期)	1976.10.5		研究装置機械室
44	線型加速器棟 (I期) 電源室	1976.10.5	1999	機械室
45	線型加速器棟 (II期)	1978.11.20		実験室・研究室
46	線型加速器棟塔屋	1976.10.5		機械室
47	レーザー研究棟 (I期)	1978.11.20		実験室・研究室
48	医務棟	1979.3.30		厚生施設
49	共済クラブ	1980.3.31		厚生施設
50	レーザー研究棟 (II期)	1980.7.31		実験室・研究室
51	レーザー附属倉庫	1980.9.30		実験室・研究室
52	微生物系統保存棟	1980.10.31		実験室・研究室
53	微生物系統保存棟機械室	1980.10.31		倉庫
54	サイクロトロン棟 (I期)	1984.5.30		研究装置機械室
55	サイクロトロン棟 (II期)	1986.5.31		研究装置機械室
56	サイクロトロン附属電源棟	1985.5.31	1999	機械室

(平成16年3月末日現在)

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要 (研究室等)
57	仮設動物実験棟	1983.12.16	1992	実験室・研究室
58	放射性有機廃液焼却炉室	1983.12.16	1992	機械室
59	国際交流会館A棟	1987.1.22		宿舎
60	国際交流会館B棟	1987.1.22		宿舎
61	仮設フロンティア研究棟	—		実験室・研究室
62	仮設植物栽培実験棟	1987.1.22	1992	植物栽培室
63	フロンティア中央研究棟	1988.3.29		実験室・研究室
64	フロンティア材料科学実験棟	1988.3.29		実験室・研究室
65	サイクロトロン棟(Ⅲ期)	1989.2.6		研究装置機械室
66	国際交流会館C棟	1988.3.29		宿舎
67	国際交流会館D棟(託児所)	1988.3.29		宿舎
68	フロンティア生物科学実験棟	1989.1.31		実験室・研究室
69	仁科ロッジ	1990.6.29		宿舎
70	特高変電所電気棟	—		機械室
71	倉庫棟(ゴミ捨て場)	—		倉庫
72	思考機能研究棟	1991.6.11		実験室・研究室
73	生物研究棟(I期)	1990.12.27		実験室・研究室
74	研究基盤技術棟	1990.12.27		実験室・研究室
75	RI実験棟	1990.12.27		実験室・研究室
76	サブエネルギーセンター	1990.12.27		機械室
77	ジャー室	1990.12.27		実験室・研究室
78	RI廃棄物保管庫	1990.12.27		倉庫
79	有機廃液保管庫	1990.12.27		倉庫
80	研究温室1	1990.12.27		植物栽培室
81	研究温室2	1990.12.27		植物栽培室
82	RI廃液処理施設	1990.12.27		機械室
83	上水井水受水槽	1990.12.27		機械室
84	守衛室(南門)	1990.12.27		守衛室
85	国際交流会館E棟	1991.3.28		宿舎
86	生物研究棟(Ⅱ期)	1992.12.25		実験室・研究室
87	ガバナーマーター室	1992.8.3		機械室
88	国際交流会館G棟	1994.3.31		宿舎
89	研究廃液保管庫	1994.3.31		倉庫
90	有機溶剤貯蔵庫	1994.3.31		倉庫
91	広沢クラブ	1994.7.22		厚生施設
92	液体窒素保存施設	1994.8.31		実験室・研究室
93	ワークステーション室棟(安全管理室)	1994.12.20		事務室
94	展示事務棟	1996.6.28		展示施設・事務室
95	RIビーム実験準備室	—		事務室
96	脳科学東研究棟	1997.8.8		実験室・研究室
97	脳科学プレハブ棟	1997.3.25		実験室・研究室
98	機器分析棟(JST)	1997.3.		実験室・研究室
99	RIBFプレハブ棟	1997.8.14		事務室
100	テニスコート器具倉庫	1997.10.24		厚生施設
101	脳科学中央研究棟(I期)	1999.4.16		実験室・研究室
102	研究基盤技術部クリーンルーム棟	1998.3.31		実験室・研究室
103	イカ長期飼育施設	1998.10.15		実験室・研究室
104	タンパク質構造研究棟	1999.1.14		実験室・研究室
105	核科学研究室	1999.1.14		実験室・研究室
106	旧サイクロ保管庫	1999.1.14		倉庫
107	リングリニアック変電電源室	1999.1.14		機械室
108	リングサイクロRF電源室	1999.1.14		機械室
109	給水消火機械室	1999.1.14		機械室
110	プール附属棟	1998.12.10		厚生施設
111	実用化施設	1999.3.30		実験室・研究室
112	仁科・偏極イオン源室	1999.5.10		実験室・研究室

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要 (研究室等)
113	研究交流推進棟	2000.11.30		実験室・研究室
114	研究交流東棟	2000.11.30		実験室・研究室
115	研究交流南棟	2000.11.30		実験室・研究室
116	研究交流機械棟	2000.11.30		機械室
117	国際交流会館H棟	2000.3.27		宿舎
118	国際交流会館H棟電気室・ポンプ室	2000.3.27		機械室
119	国際交流会館H棟ゴミ置場	2000.3.27		倉庫
120	上水受水槽ポンプ室	1999.8.31		倉庫
121	研究交流推進棟ポンプ室	2000.11.30		機械室
122	情報基盤研究棟	1999.11.25		実験室・研究室
123	統合研究支援施設	2000.1.14		厚生施設
124	屋外型植物培養室	2000.3.15		植物栽培室
125	脳科学中央研究棟(Ⅱ期)	2000.7.28		実験室・研究室
126	液化ヘリウム供給回収設備棟	2000.12.6		機械室
127	倉庫(1)	—		倉庫
128	シャワー室	—		厚生施設
129	トイレ	—		厚生施設
130	ばっき槽機械室	—		機械室
131	東京大学原子核科学研究センター	—		実験室・研究室
132	物質科学研究棟	2002.3.27		実験室・研究室
133	物質科学研究棟機械室	2002.3.27		機械室
134	サイエンスタウン機械室	2002.3.27		機械室
135	特高変電所内機械室	2002.3.27		機械室
136	カート用車庫	2002.10.31		実験室・研究室
137	RIBF棟(Ⅰ期)	2003.3.20		研究装置機械室
138	ナノサイエンス実験棟	2003.2.28		実験室・研究室
139	脳科学池の端研究棟	2004.2.23		実験室・研究室
140	RIBF棟(Ⅱ期) <建設中>	—		研究装置機械室・実験室・研究室

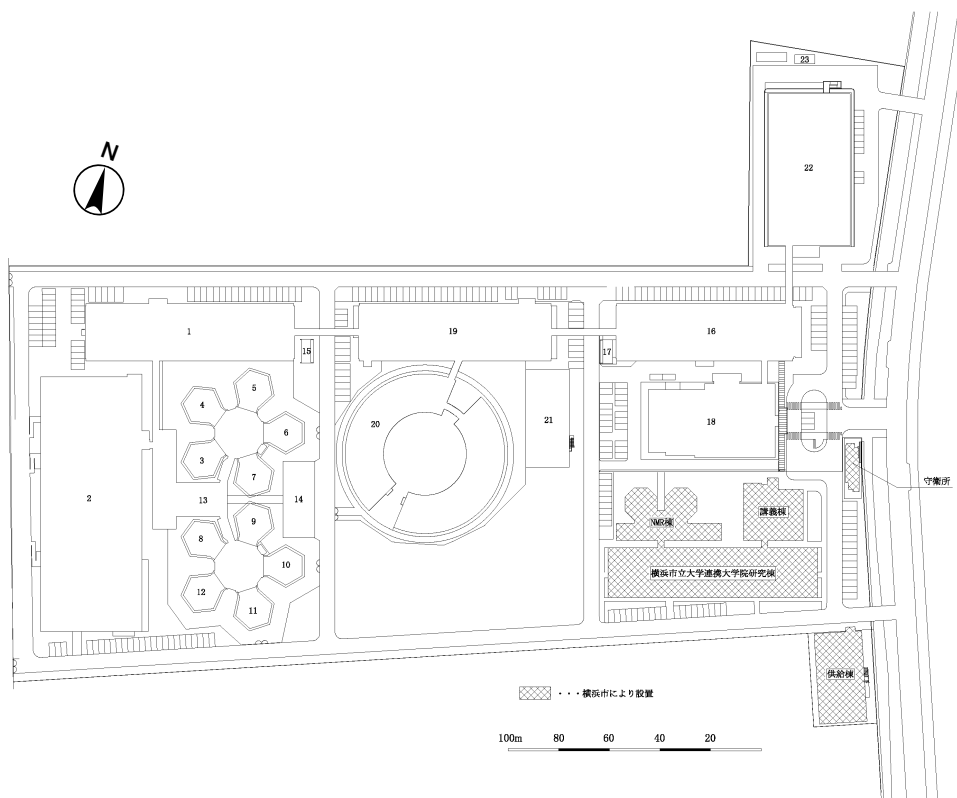




【横浜研究所】

(平成16年3月末日現在)

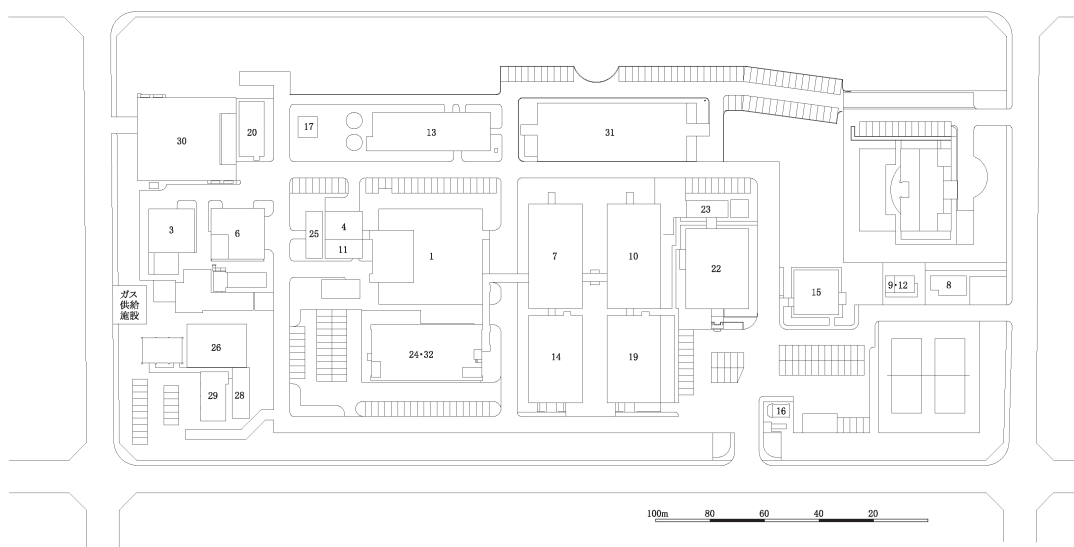
	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要（研究室等）
1	西研究棟	2000.8.10		実験室・研究室
2	南研究棟	2000.8.10		実験室・研究室
3	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
4	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
5	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
6	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
7	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
8	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
9	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
10	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
11	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
12	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
13	NMR棟	2000.4.10		研究装置機械室
14	低温センター	2000.4.10		機械室
15	ゴミ置場	2000.8.10		倉庫
16	東研究棟	2002.3.25		実験室・研究室
17	ゴミ置場	2002.3.25		倉庫
18	交流棟	2001.10.31		厚生施設・事務室
19	中央研究棟	2003.2.5		実験室・研究室
20	中央NMR棟	2002.10.16		研究装置機械室
21	機械設備棟	2002.10.16		機械室
22	北研究棟	2003.9.24		実験室・研究室
23	ゴミ置場	2003.9.24		倉庫



## 【筑波研究所】

(平成16年3月末日現在)

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要 (研究室等)
1	組換えDNA実験棟	1984.3.30		実験室・研究室
2	RIモニター・ポンプ室			機械室
3	実験排水処理棟	1985.5.20		機械室
4	RIモニター・高圧滅菌棟	1985.5.20		機械室
5	蓄熱槽・ポンプ室	1985.5.20		機械室
6	エネルギー棟	1984.5.31		機械室
7	研究棟第I期	1986.1.31		実験室・研究室
8	職員宿舎(世帯用)	1985.12.26		宿舎
9	職員宿舎(単身者用)	1985.12.26		宿舎
10	遺伝子・細胞保存施設	1986.11.30		実験室・研究室
11	RI廃棄物処理倉庫	1987.3.20		倉庫
12	職員宿舎(単身者用2室)増築	1987.3.20		宿舎
13	実験動物維持施設	1987.10.23		動物飼育施設
14	研究棟第II期	1988.11.30		実験室・研究室
15	食堂	1988.3.30		厚生施設
16	守衛所	1988.3.30		守衛室
17	有機溶剤倉庫	1988.3.31		倉庫
18	実験排水処理棟第二系統	1989.8.31		機械室
19	情報・研修棟	1990.3.28		実験室・研究室
20	シークエンス試験室	1991.3.25		実験室・研究室
21	エネルギー棟附属建屋	1991.3.25		機械室
22	管理棟	1992.4.28		事務棟
23	倉庫棟	1992.4.28		倉庫
24	材料供給棟	1995.5.30		実験室・研究室
25	RI処理施設上屋	1996.3.29		機械室
26	解析研究棟	1998.11.25		実験室・研究室
27	機械化研究所既存A棟	1998.11.25		実験室・研究室
28	機械化研究所既存B棟	1998.11.25		実験室・研究室
29	エネルギー棟附属建屋増築	1999.2.26		事務棟
30	立体駐車場	1999.3.26		駐車施設
31	バイオリソースセンター	2000.12.25		実験室・研究室
32	ヒト疾患モデル動物開発研究棟	2003.9.25		実験室・研究室

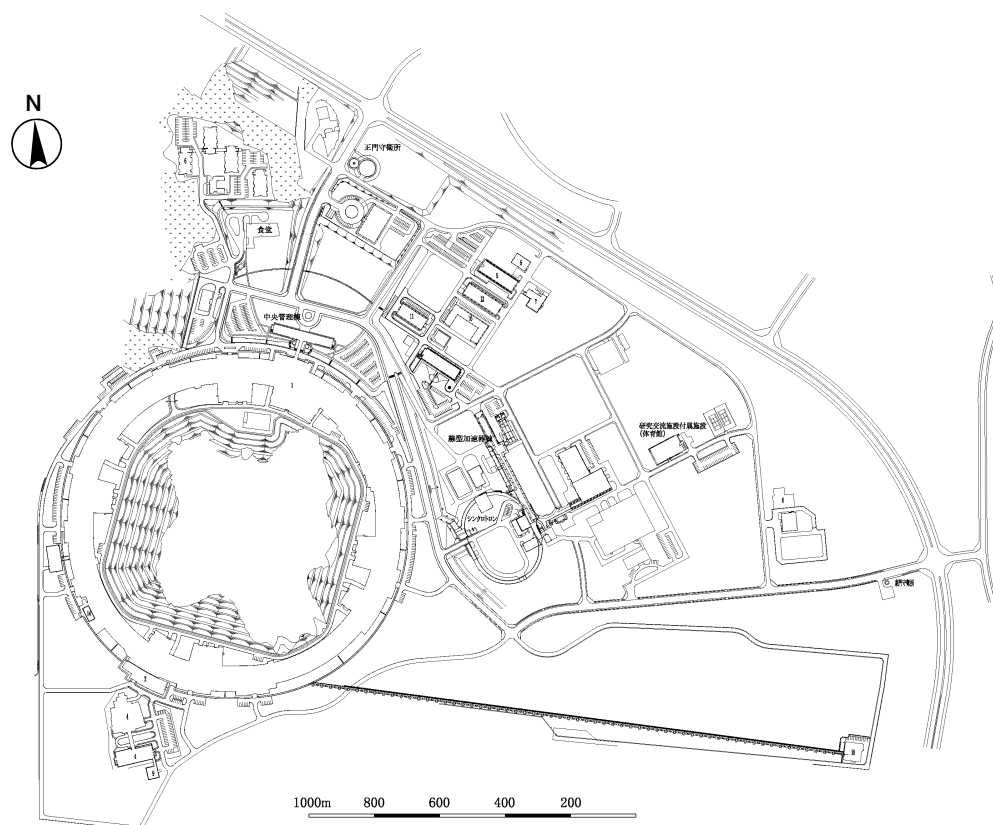


【播磨研究所】

(平成16年3月末日現在)

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要（研究室等）
1	蓄積リング棟	1996.10.29		研究装置機械室
2	RI実験棟	1996.12.27		実験室・研究室
3	研究交流施設A棟	1996.3.29		宿舎
4	医学利用実験施設	1997.6.30		実験室・研究室
5	構造生物学研究棟	1997.6.30		実験室・研究室
6	構造生物学研究棟動力棟			機械室
7	生物系特殊実験施設	1999.3.30		実験室・研究室
8	危険物貯蔵庫	1999.3.30		倉庫
9	実験動物維持施設	1999.11.30		動物飼育施設
10	長尺ビームライン実験施設	1999.12.27		実験室・研究室
11	利用実験施設	2000.2.29		実験室・研究室
12	物理科学研究棟	2000.6.30		実験室・研究室
13	真空機器覆い			実験室・研究室
14	蓄積リング棟附属施設W	2000.10.30		実験室・研究室
15	共用ビームライン覆い建屋			実験室・研究室
16	ハイスルーブット棟	2001.12.20		実験室・研究室

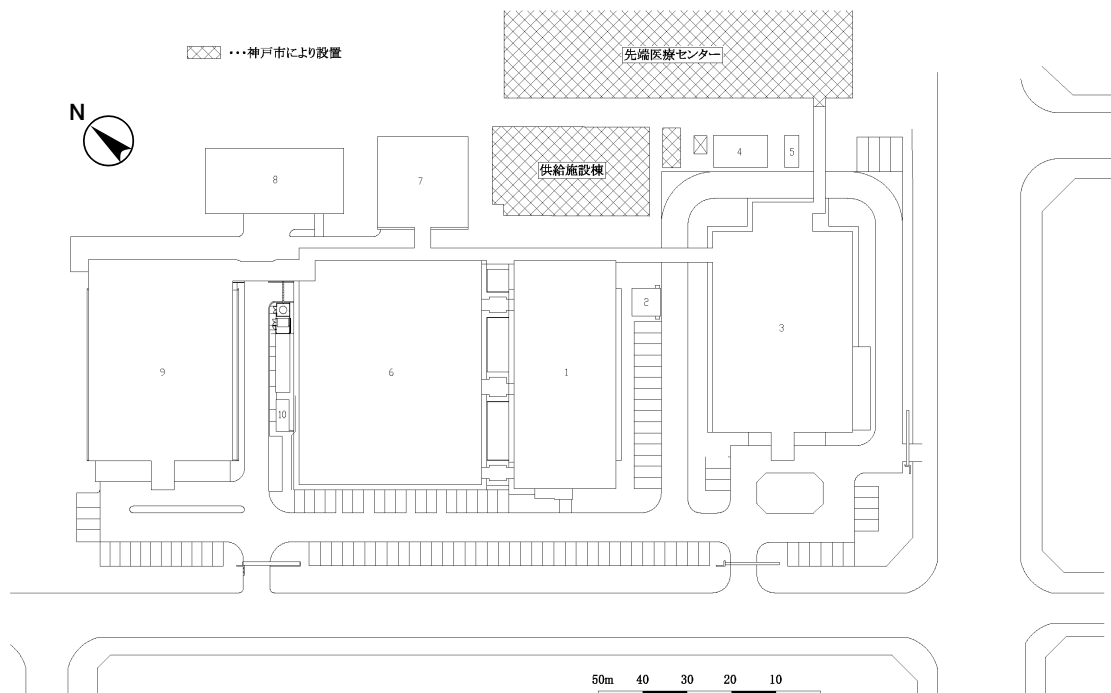
※図中の数字記載建物は理研が設置。



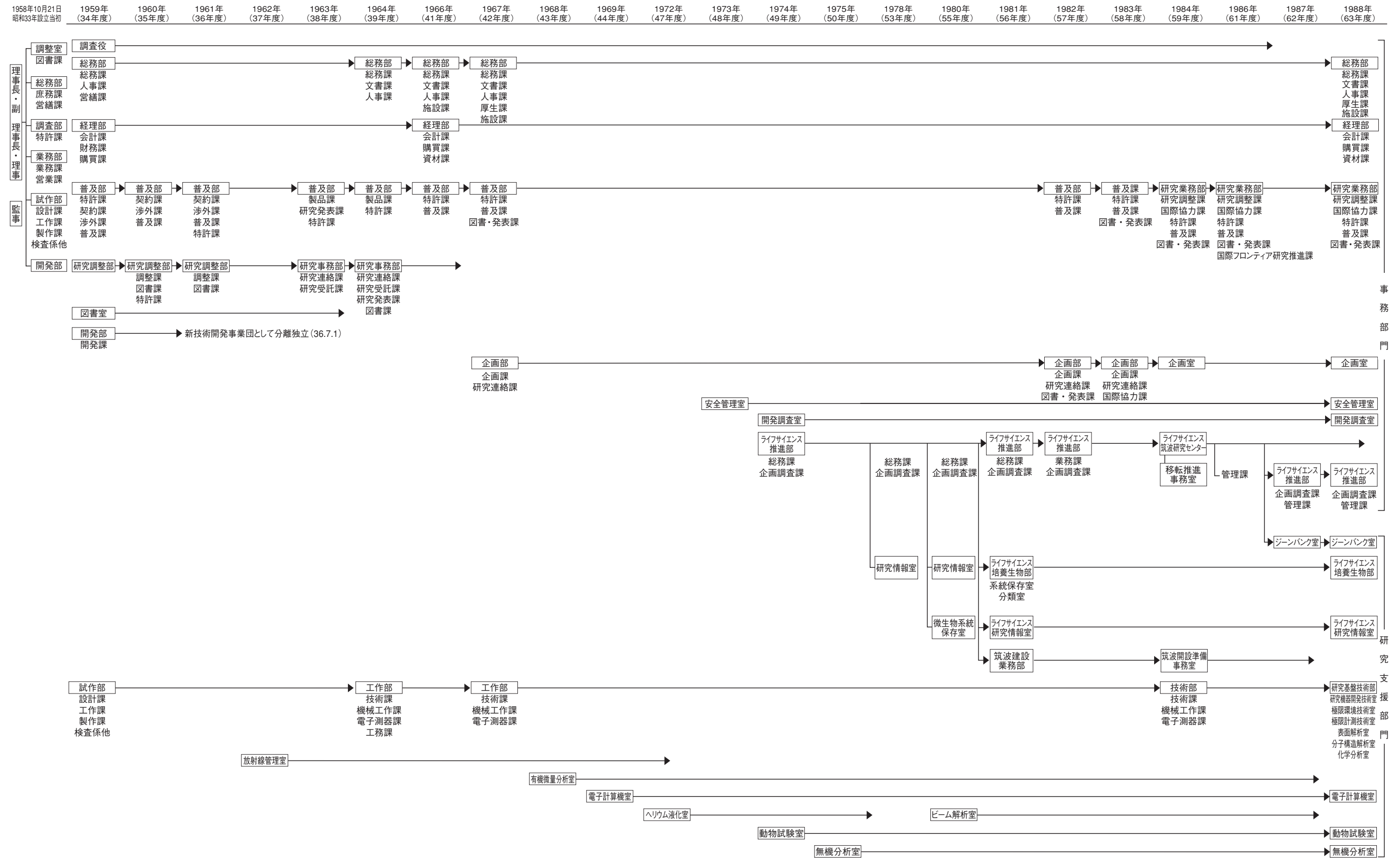
## 【神戸研究所】

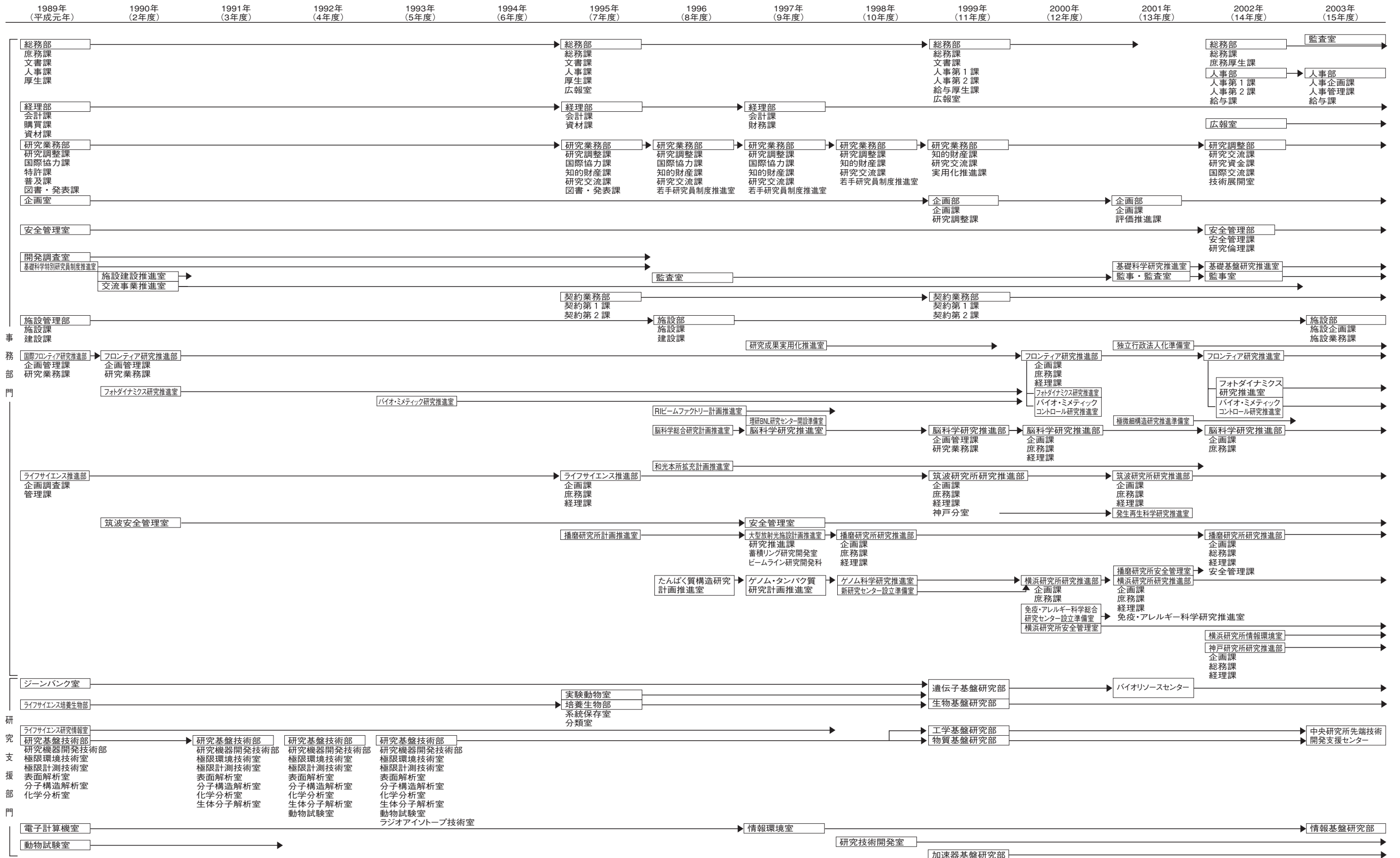
(平成16年3月末日現在)

	建物名称	竣工年月日	除却年	使用区分概要 (研究室等)
1	発生・再生第二研究棟 (BuildingB)	2001.1.16		実験室・研究室
2	一般廃棄物倉庫	2001.1.16		倉庫
3	発生・再生研究棟 (BuildingA)	2002.3.22		実験室・研究室
4	危険物倉庫	2002.3.22		倉庫
5	産業廃棄物倉庫	2002.3.22		倉庫
6	動物飼育実験棟 (動物棟)	2002.3.22		動物飼育施設
7	エネルギー棟	2002.3.22		機械室
8	水棲動物実験棟	2002.9		動物飼育施設
9	発生・再生北研究棟 (BuildingC)	2002.12.6		実験室・研究室
10	廃棄物倉庫			倉庫



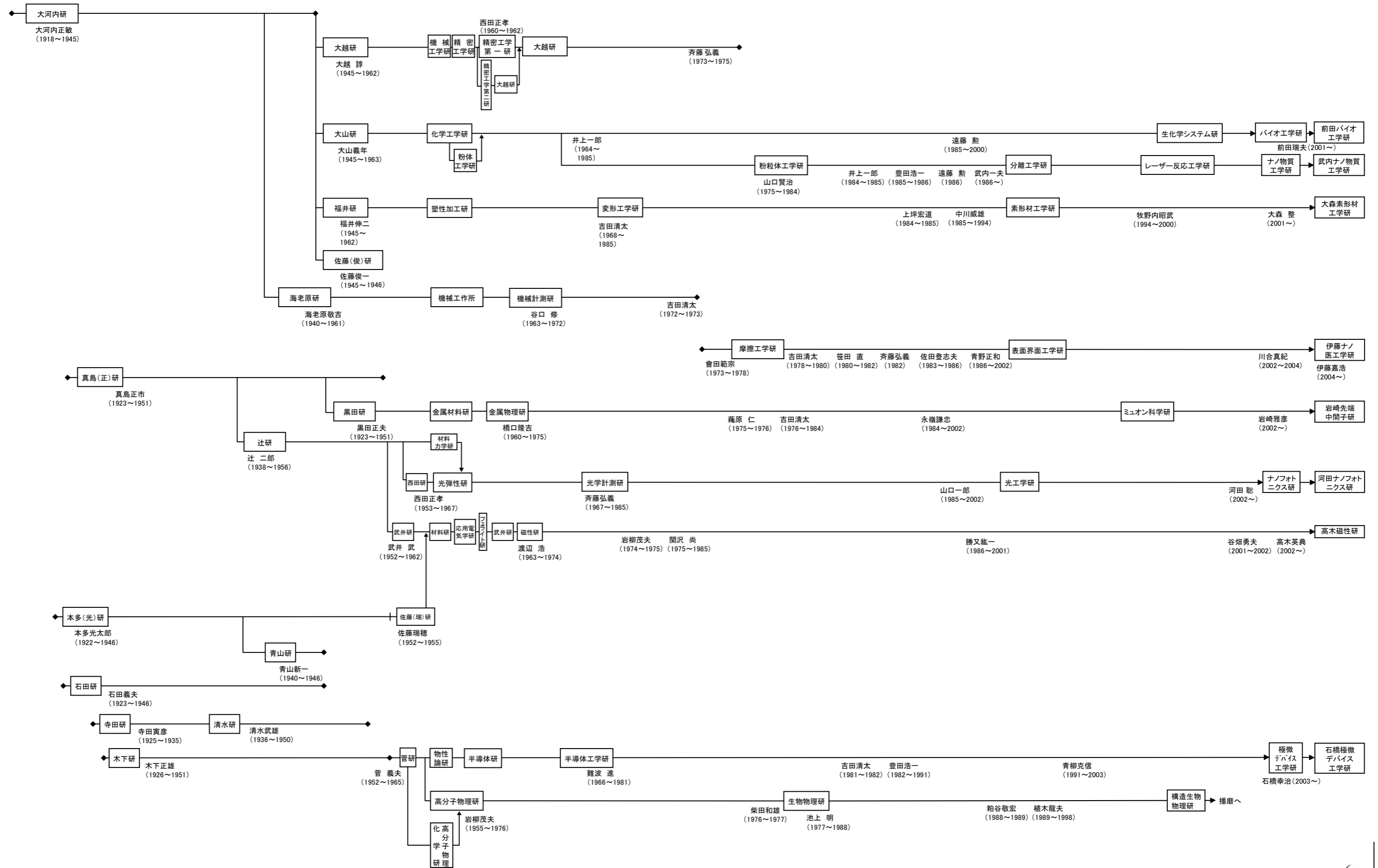
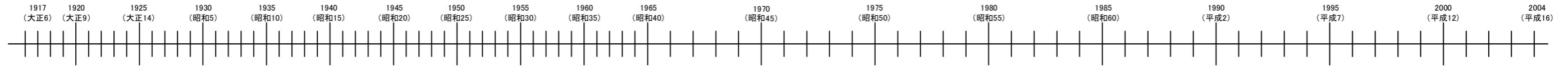
# 組織の推移

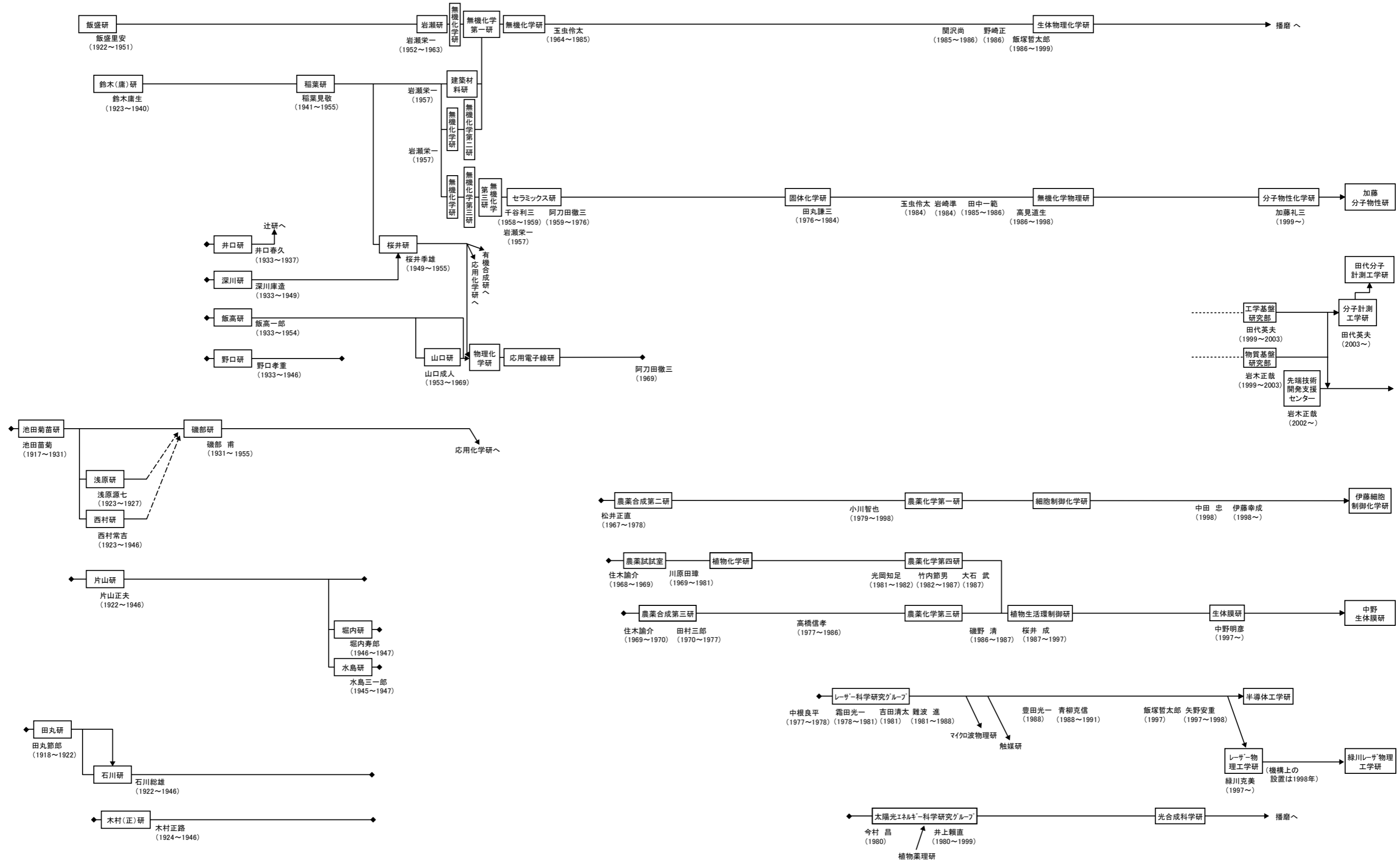




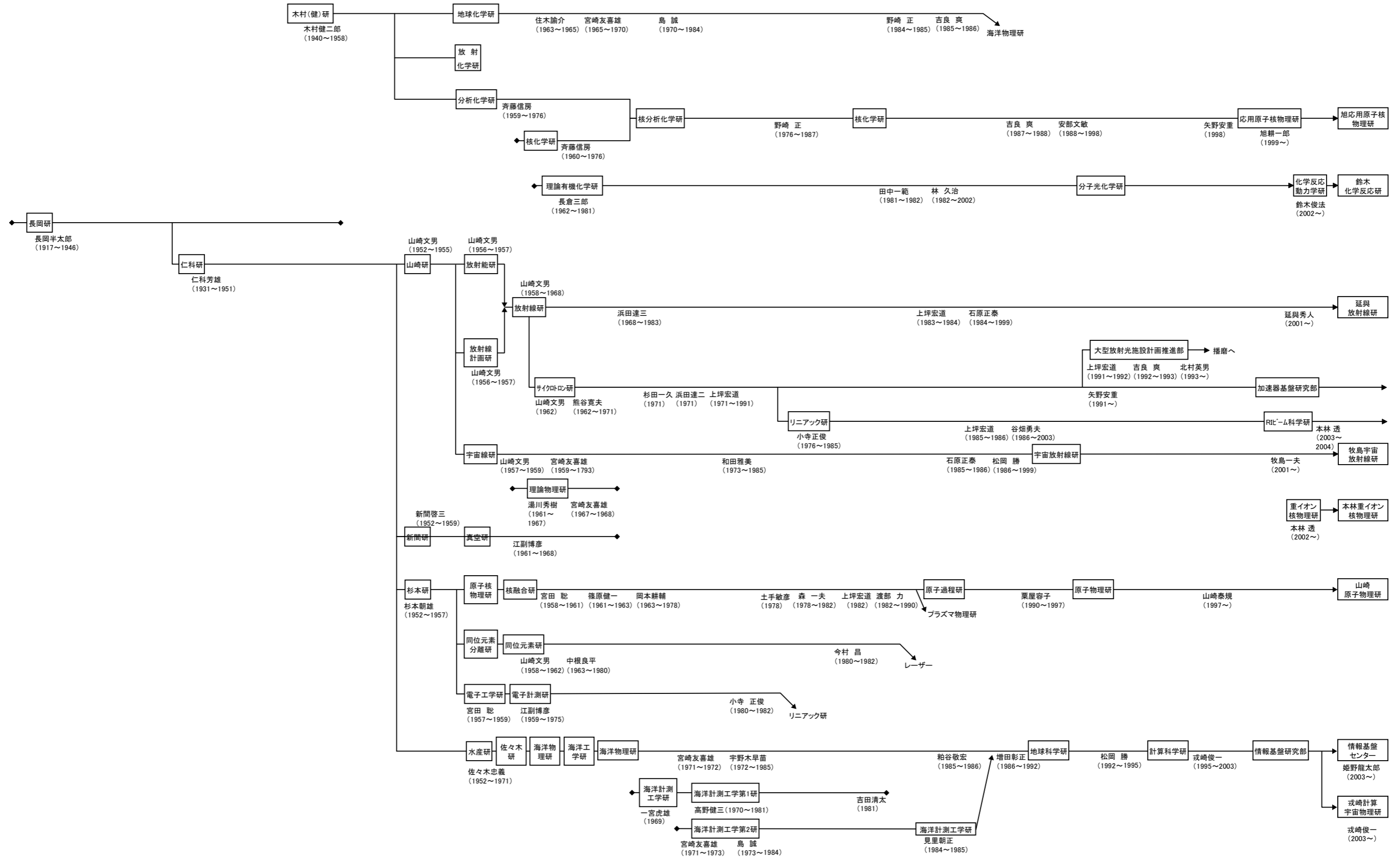
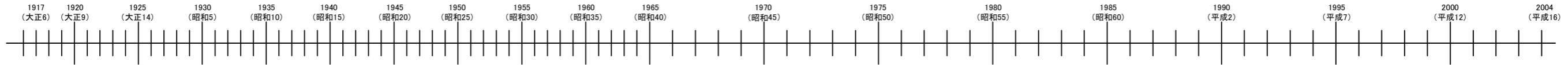
# 研究室の系統図

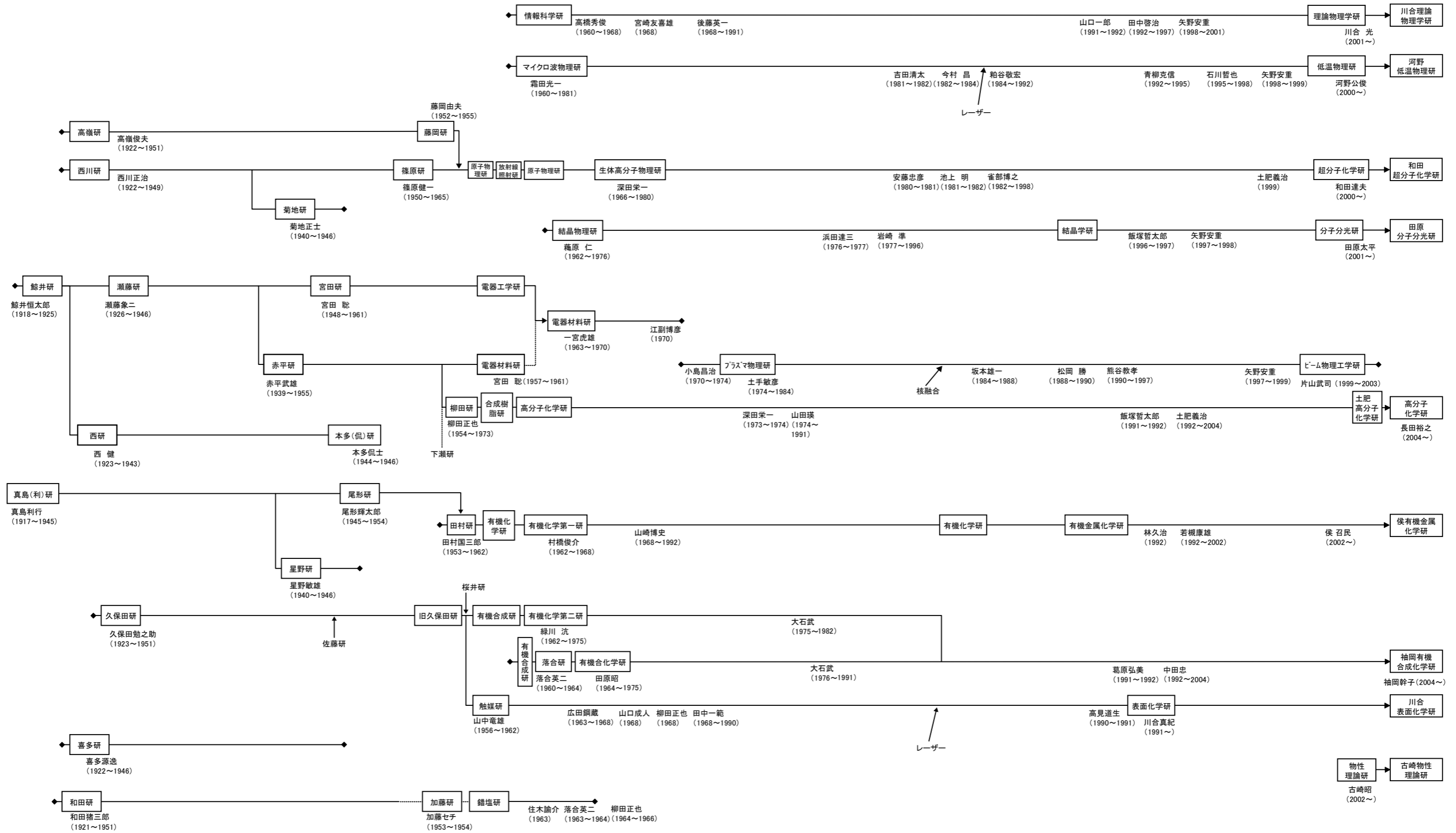
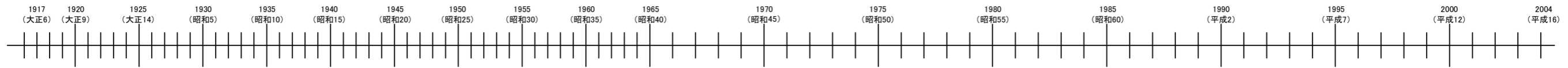
[氏名下の( )内の期間は主任研究員在職期間]

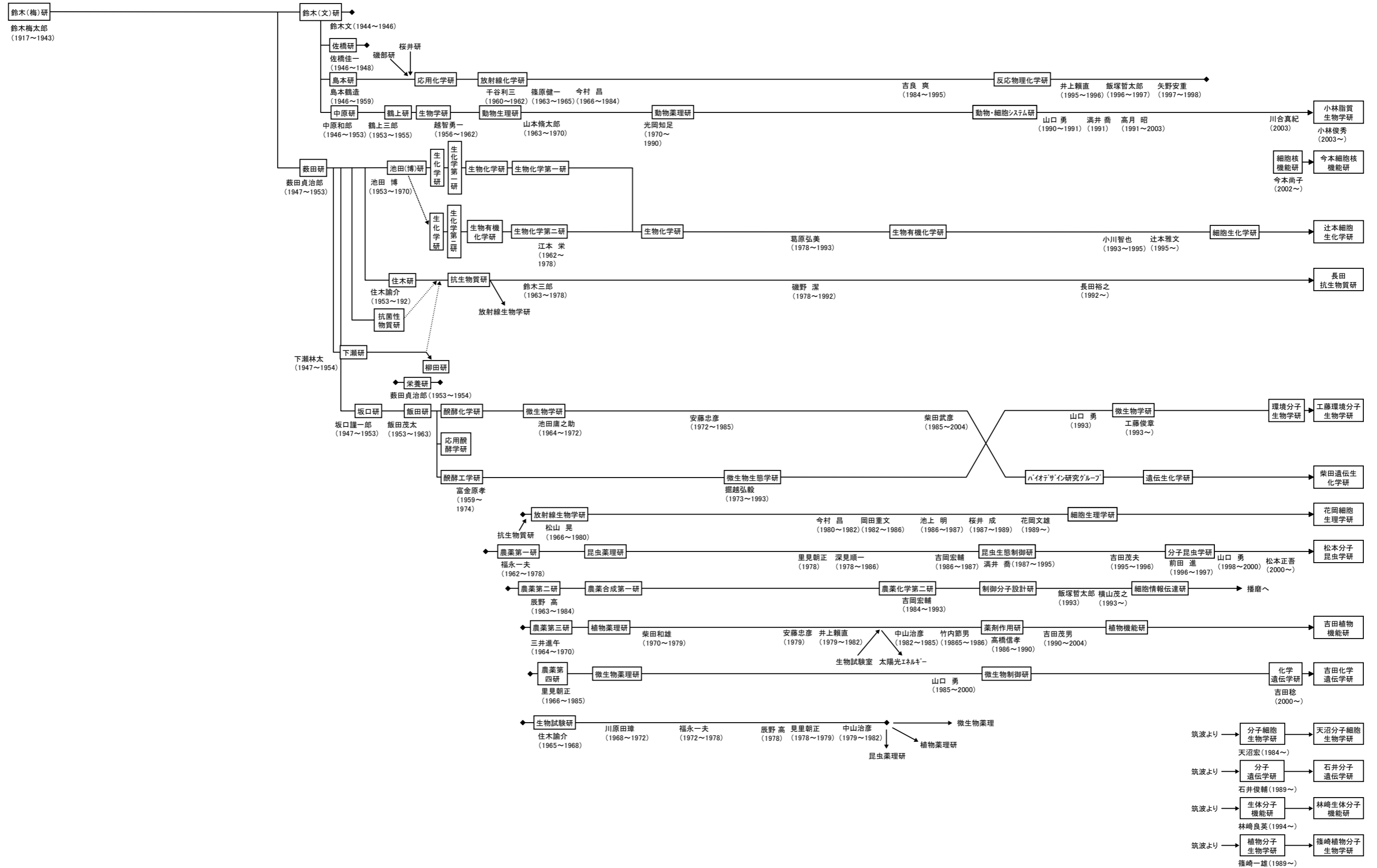
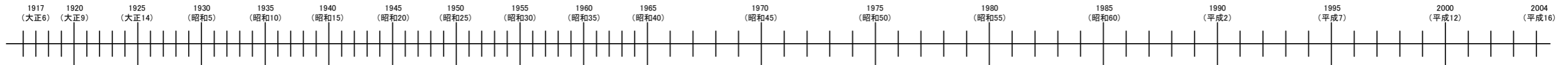




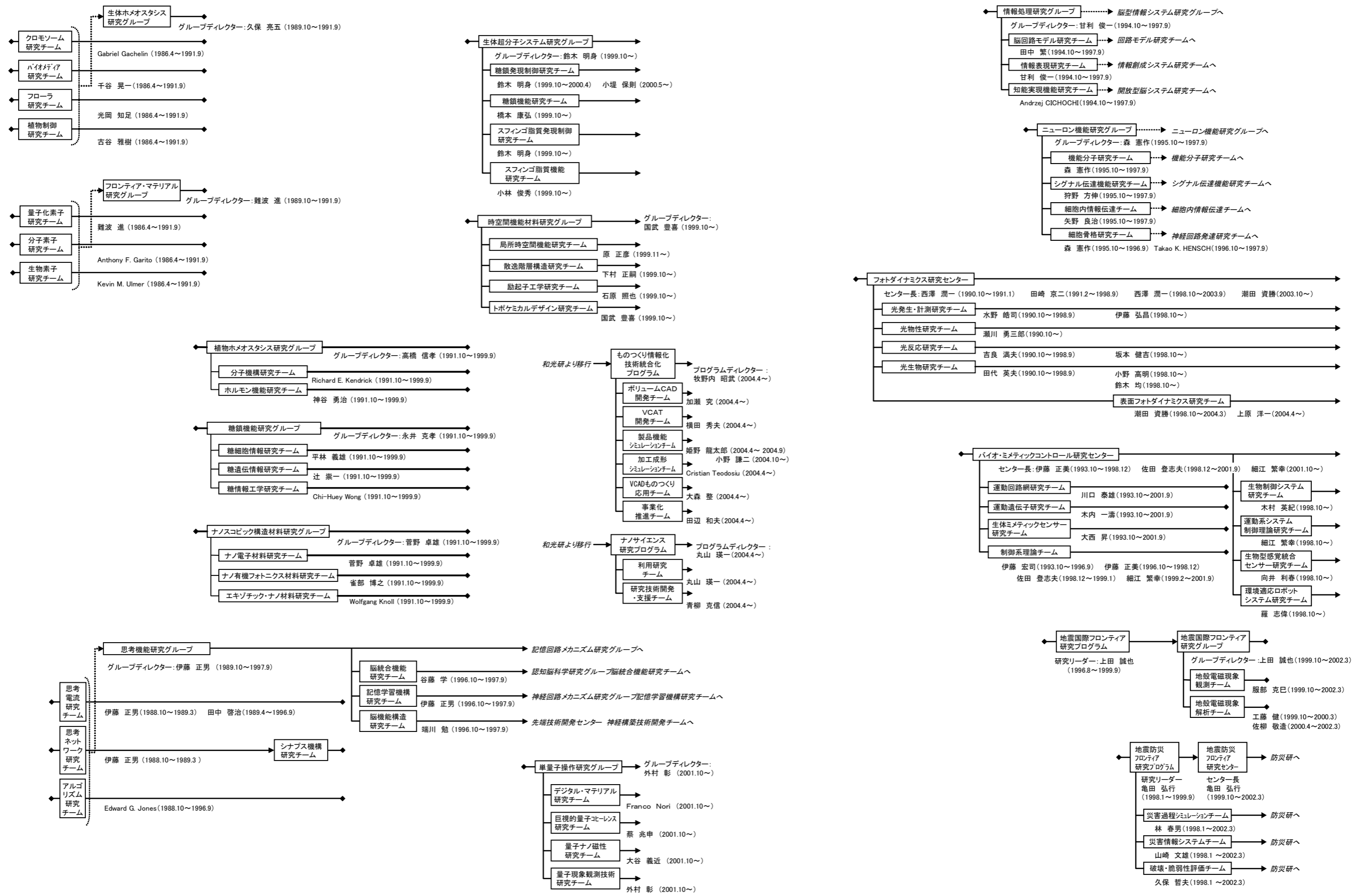
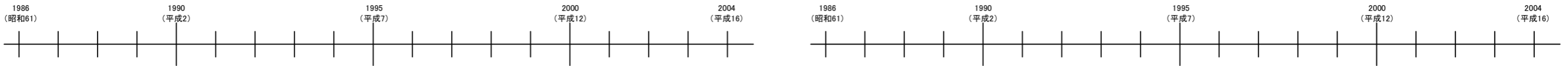




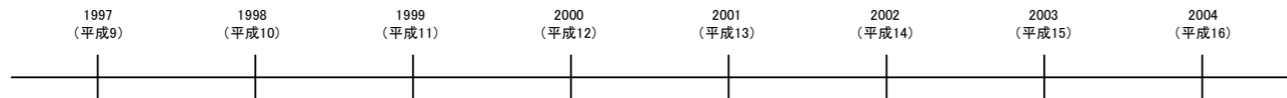




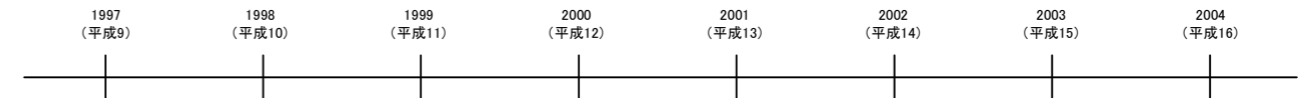
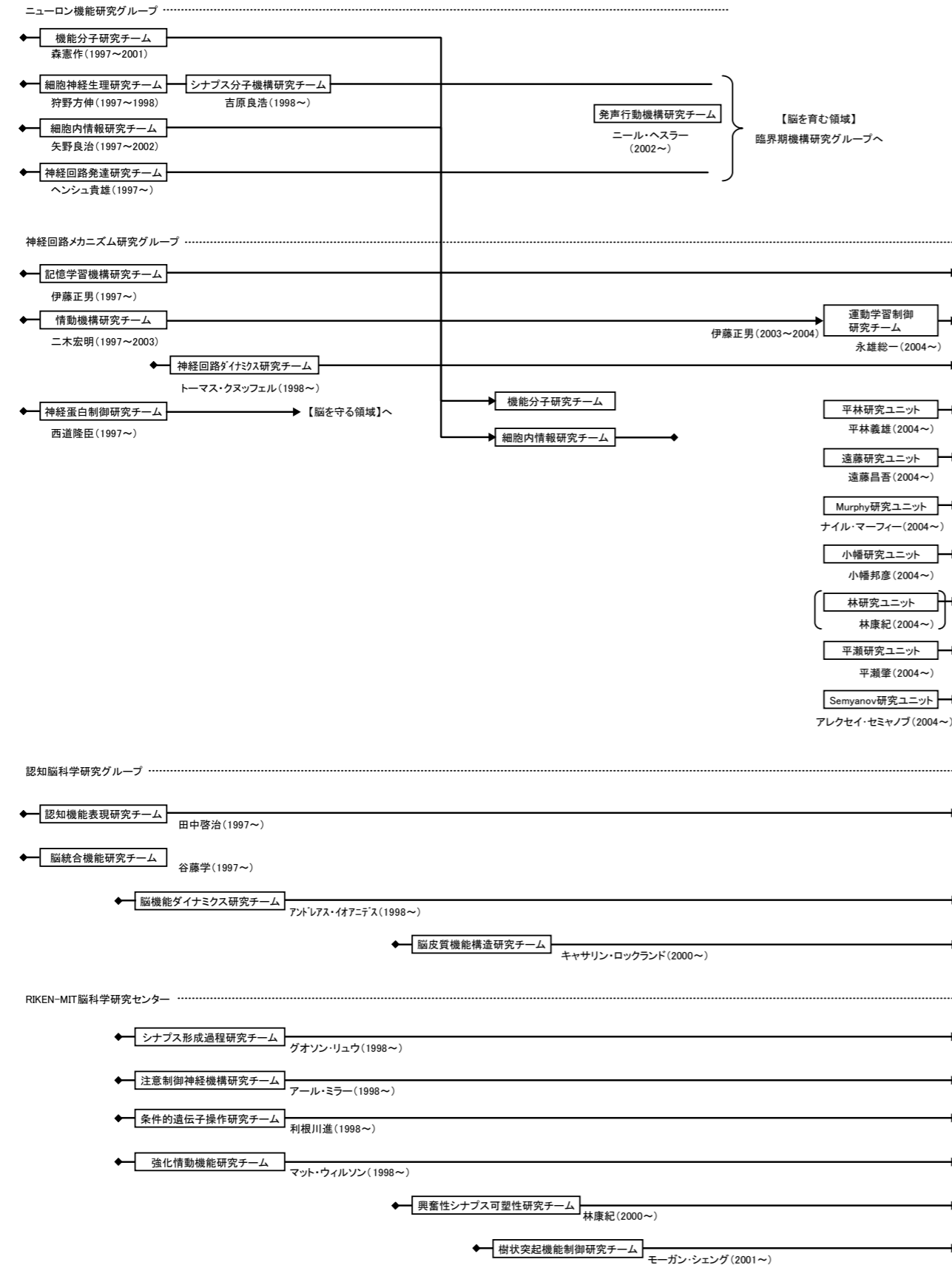
# 【フロンティア】



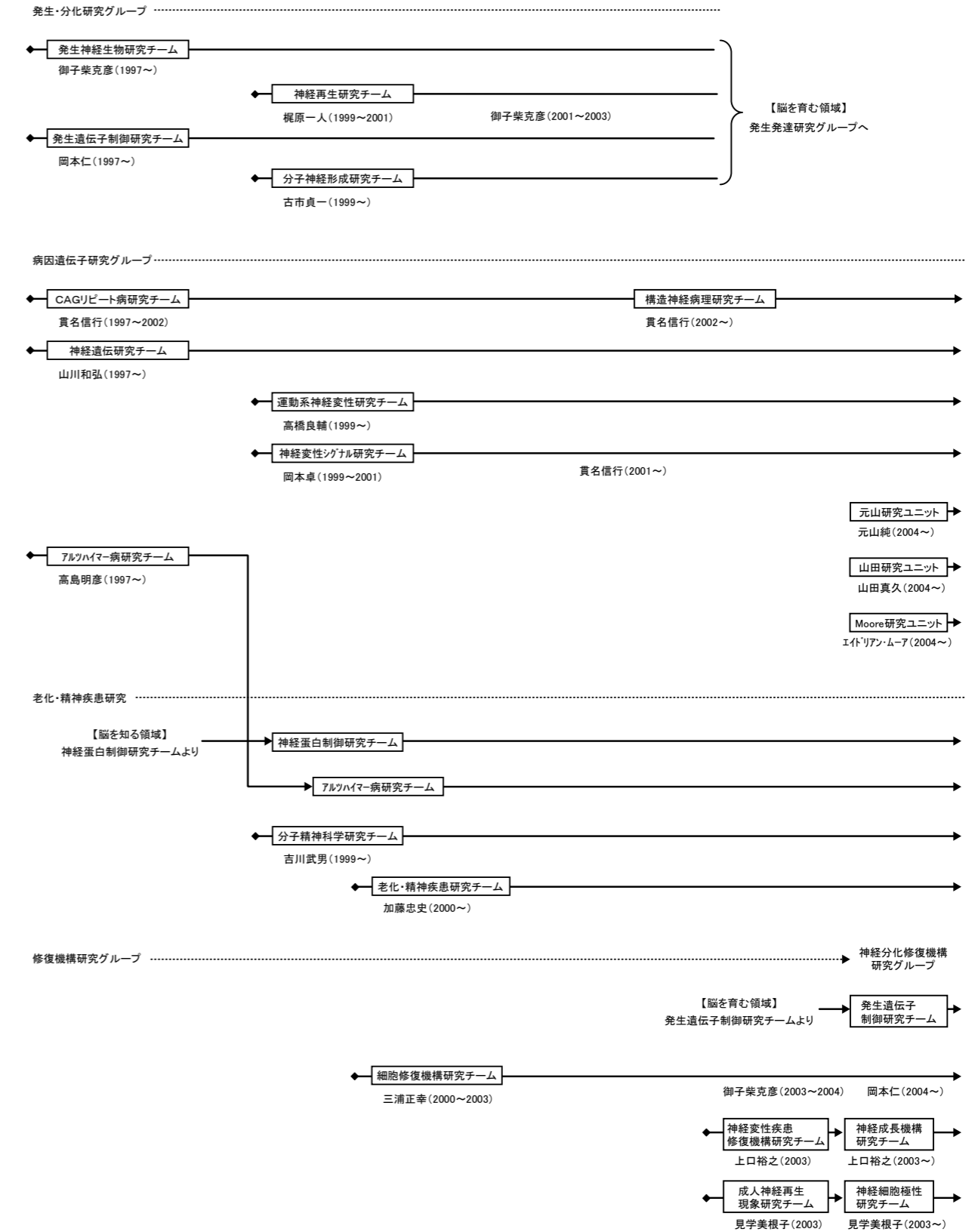
# 【脳科学総合研究センター】



## 【脳を知る領域】



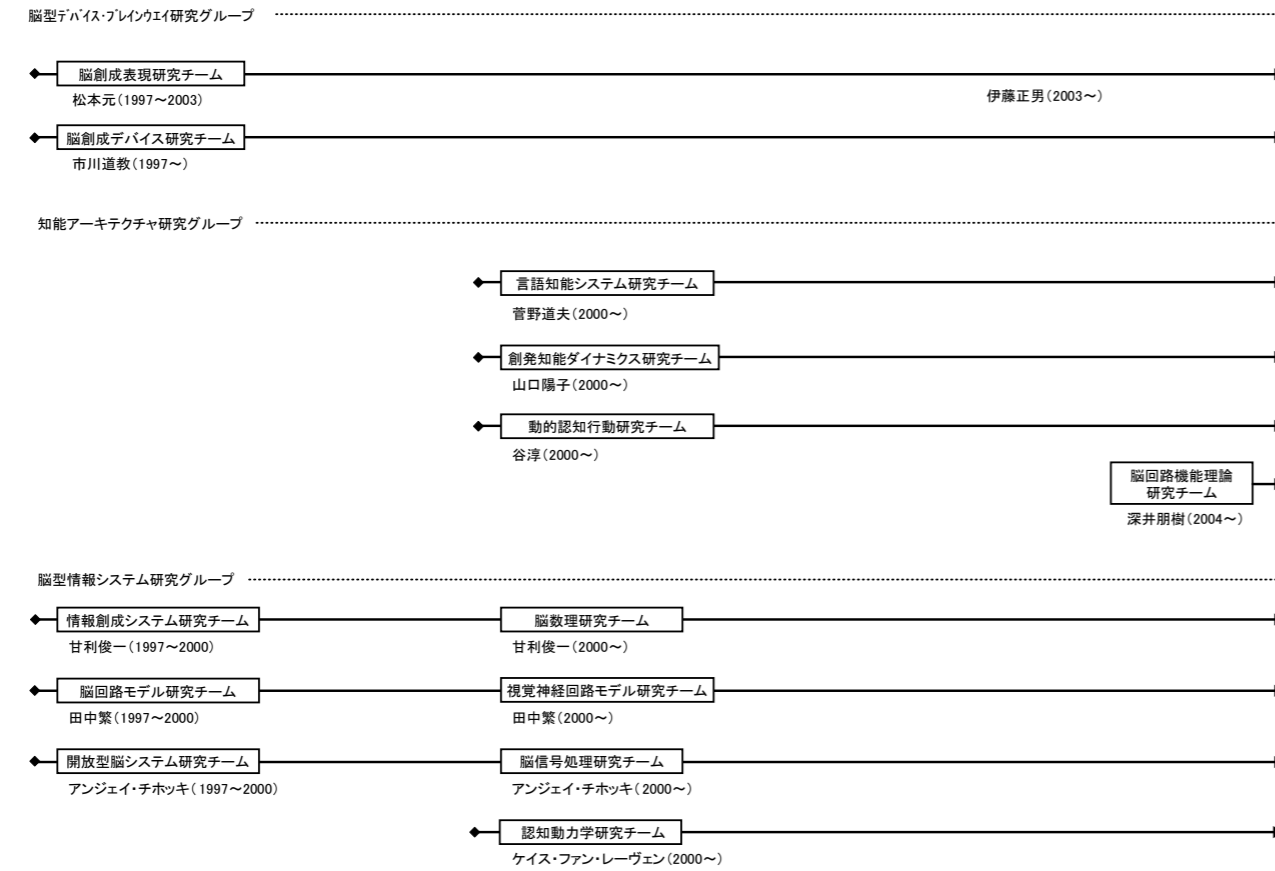
## 【脳を守る領域】



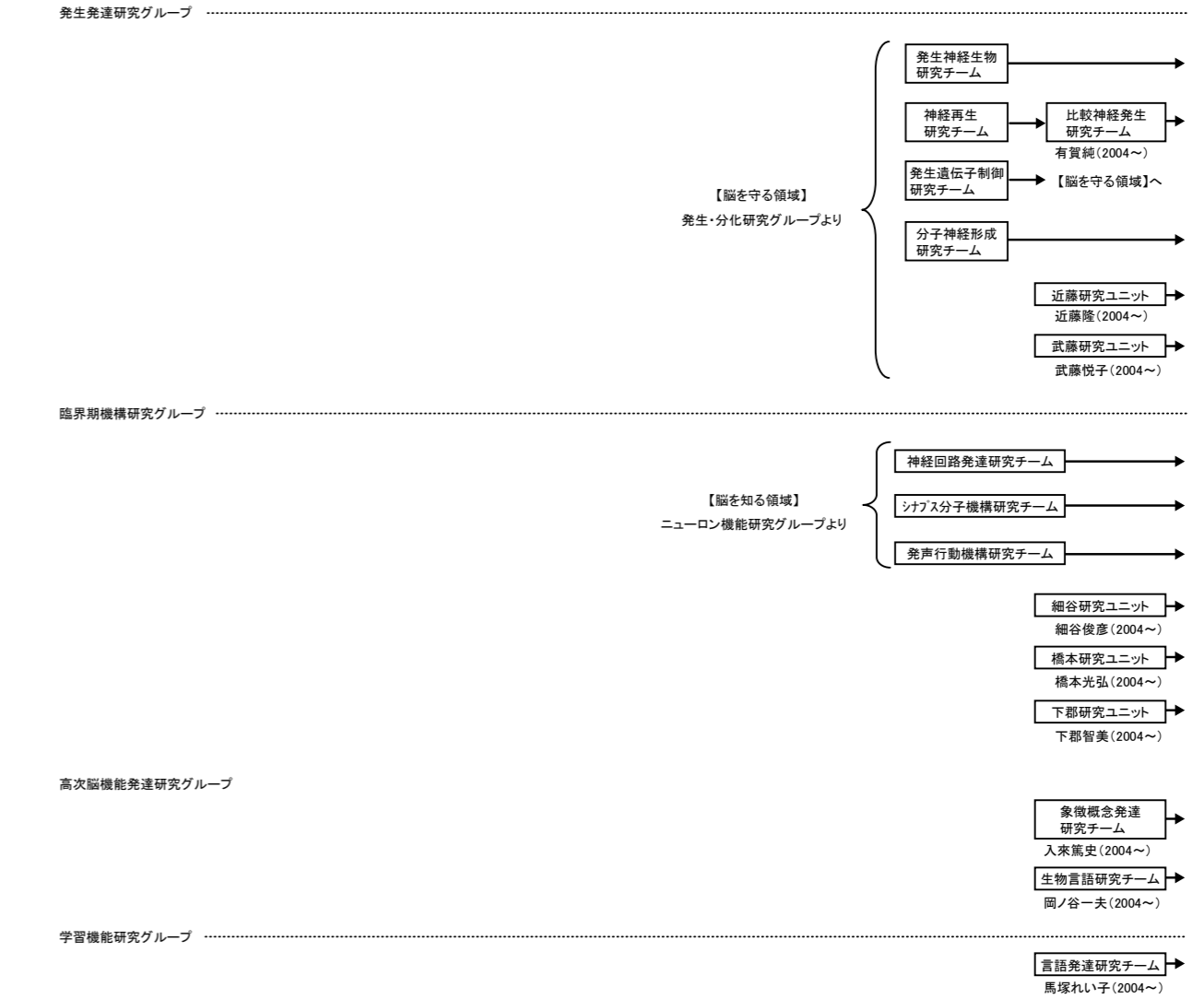
# 【脳科学総合研究センター】



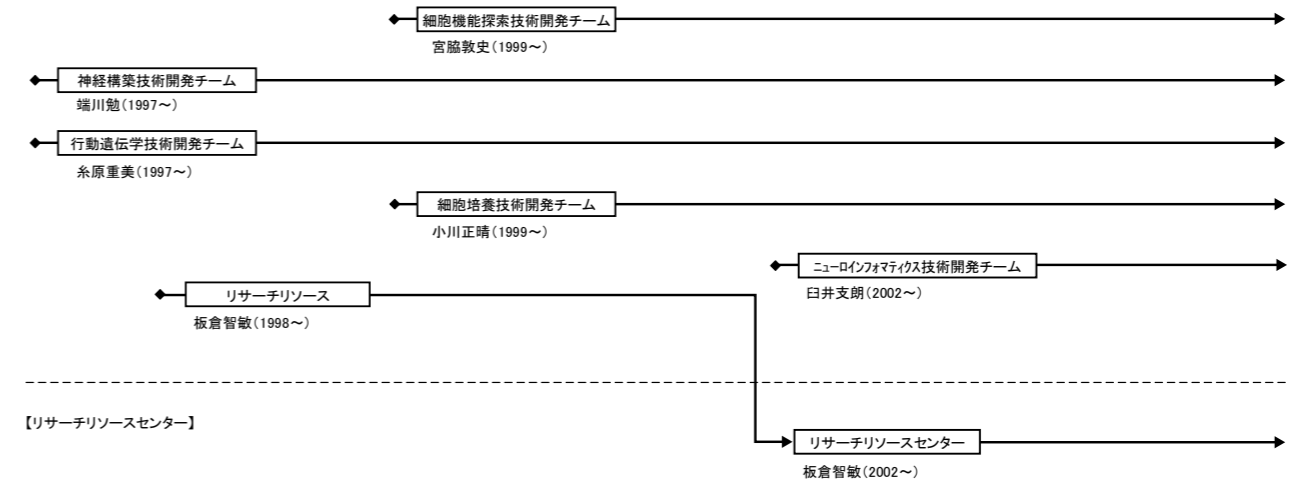
## 【脳を創る領域】



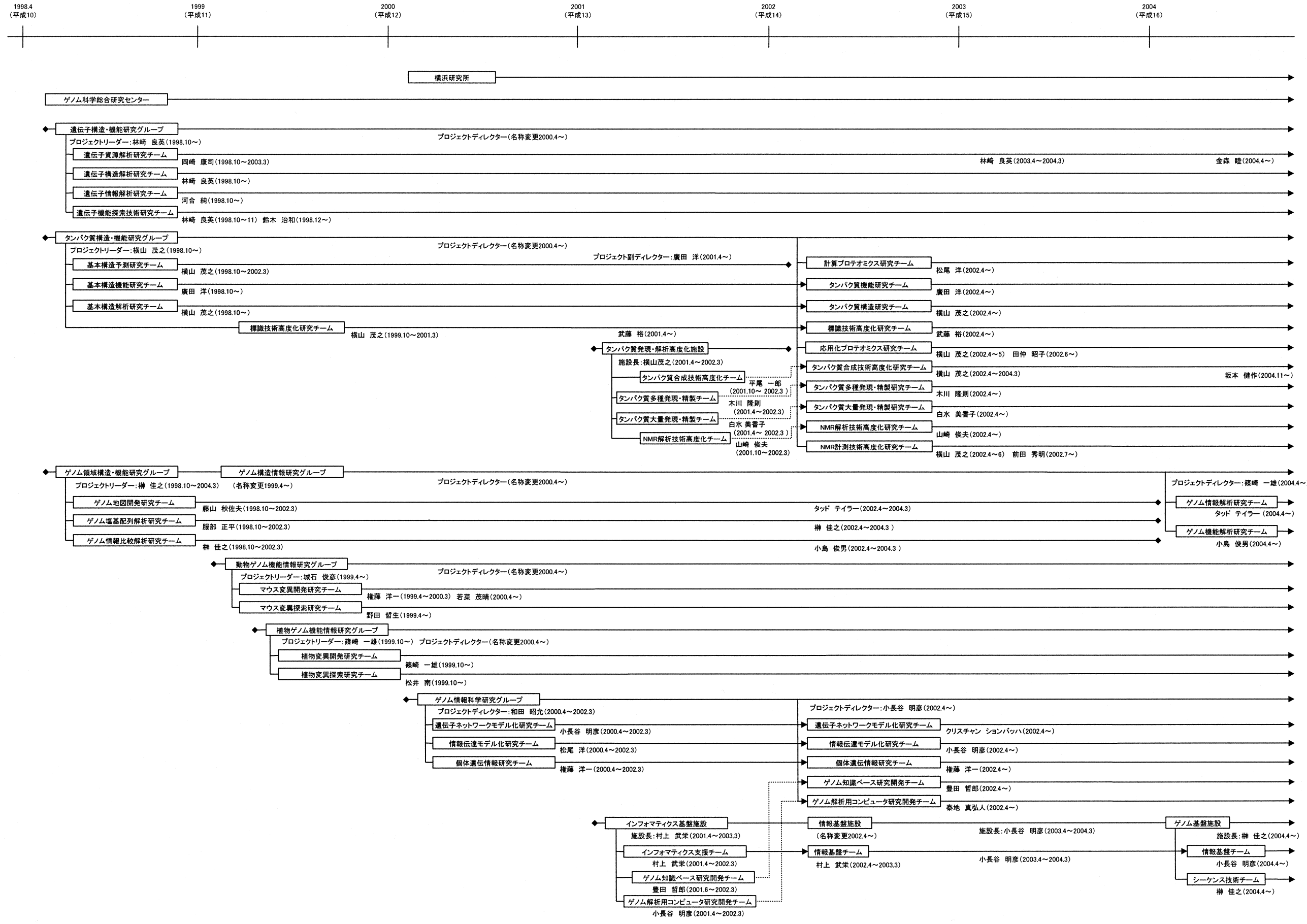
## 【脳を育む領域】



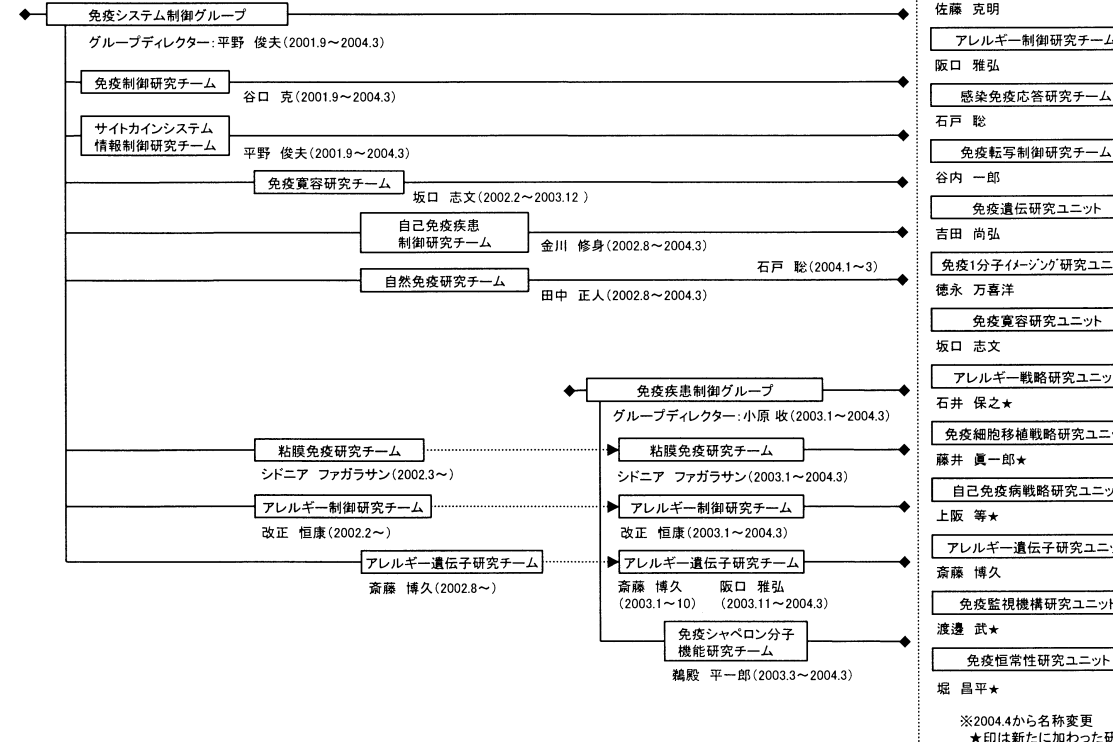
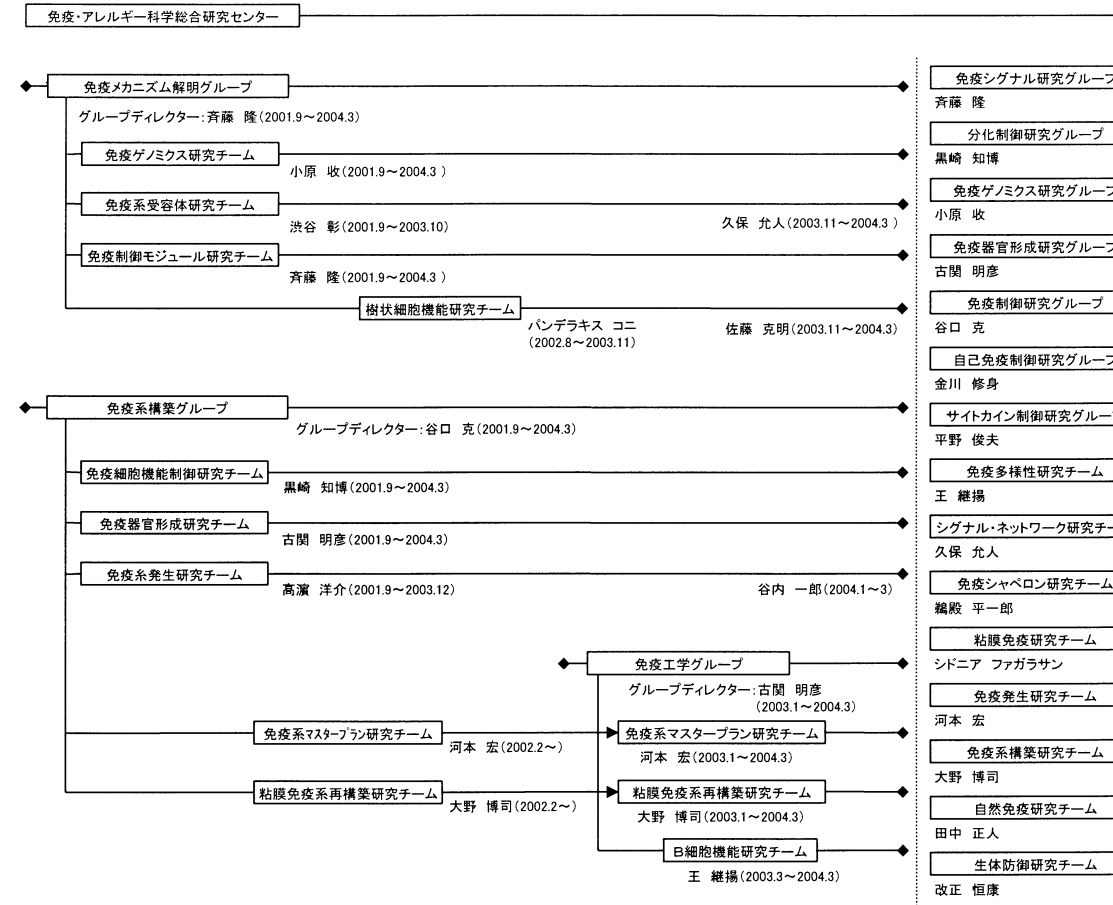
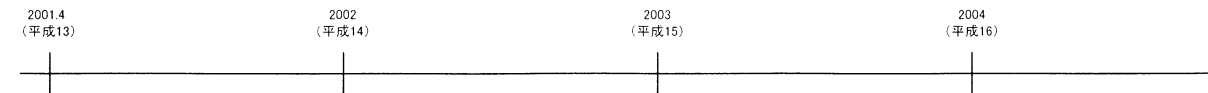
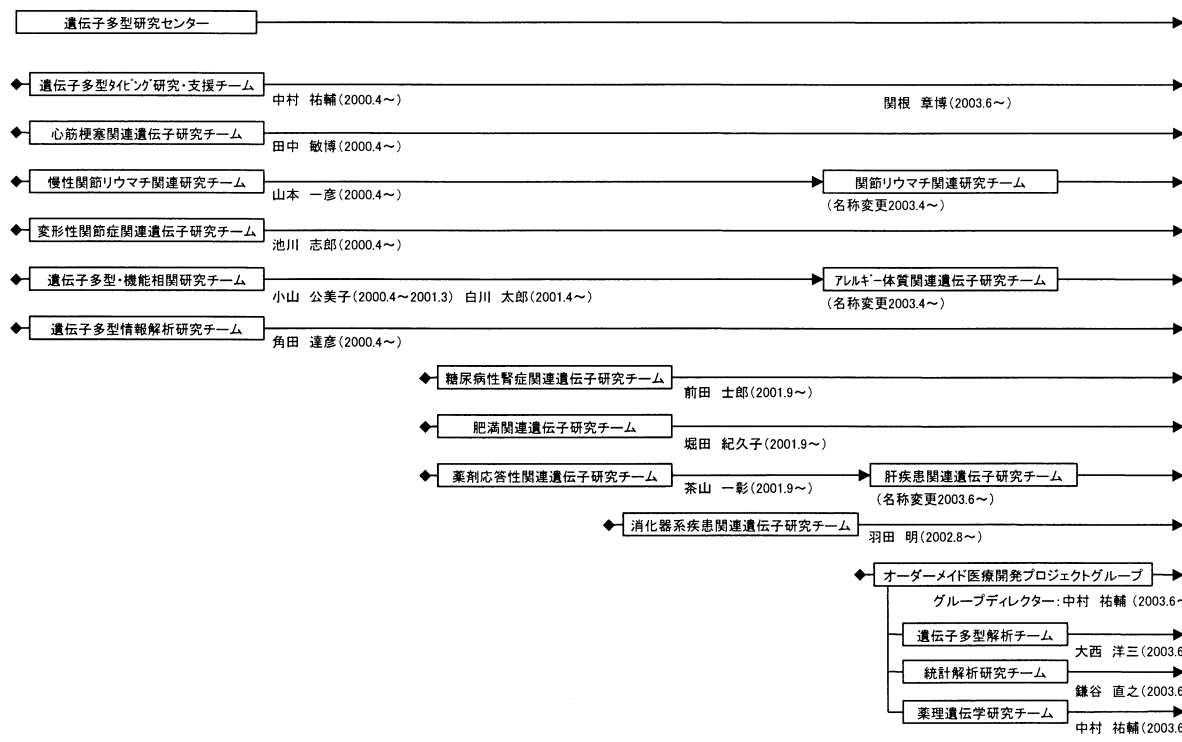
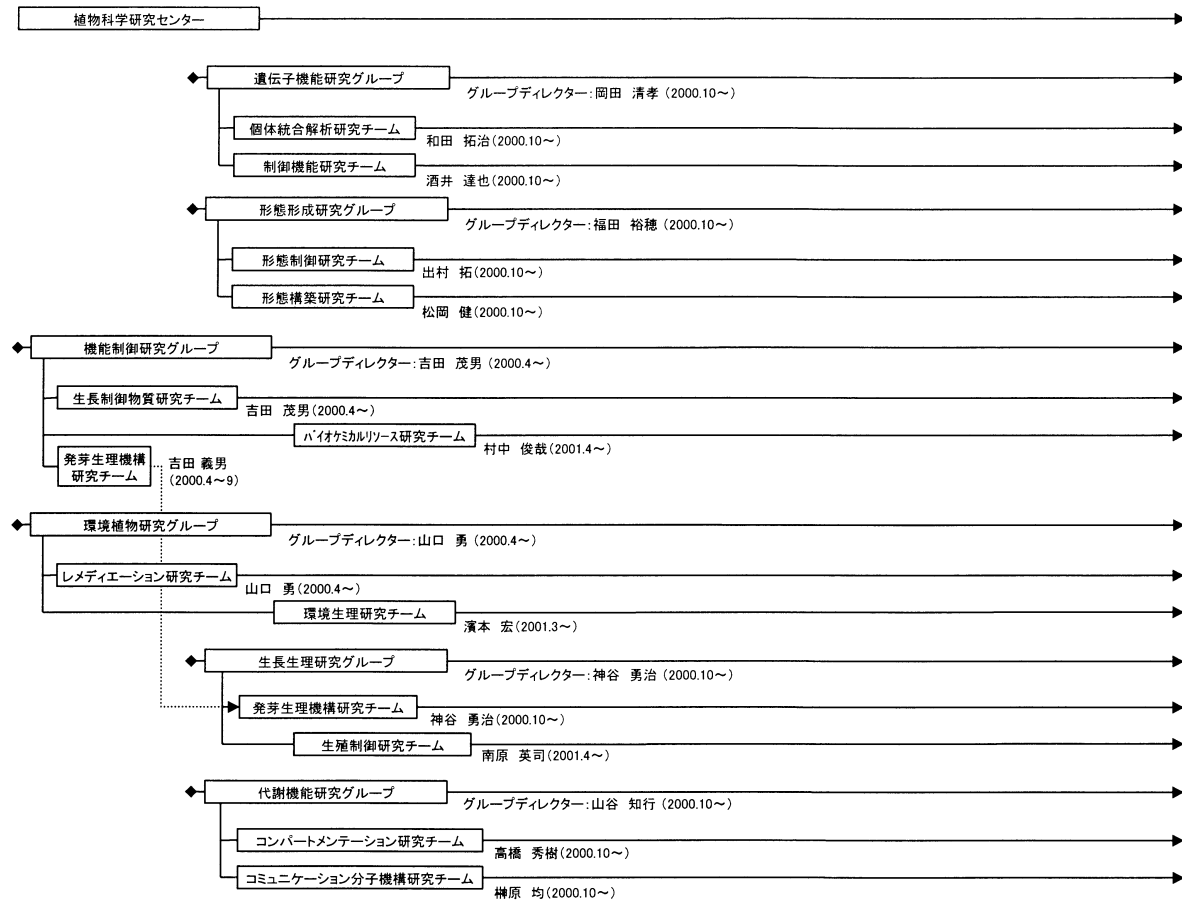
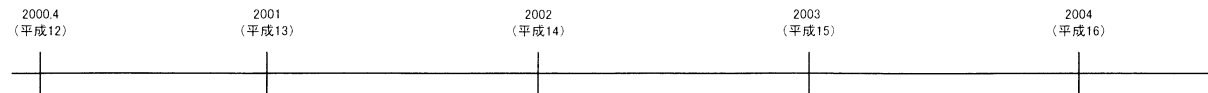
## 【先端技術開発センター】 → 先端技術開発グループ



# 【横浜研究所】



# 【横浜研究所】

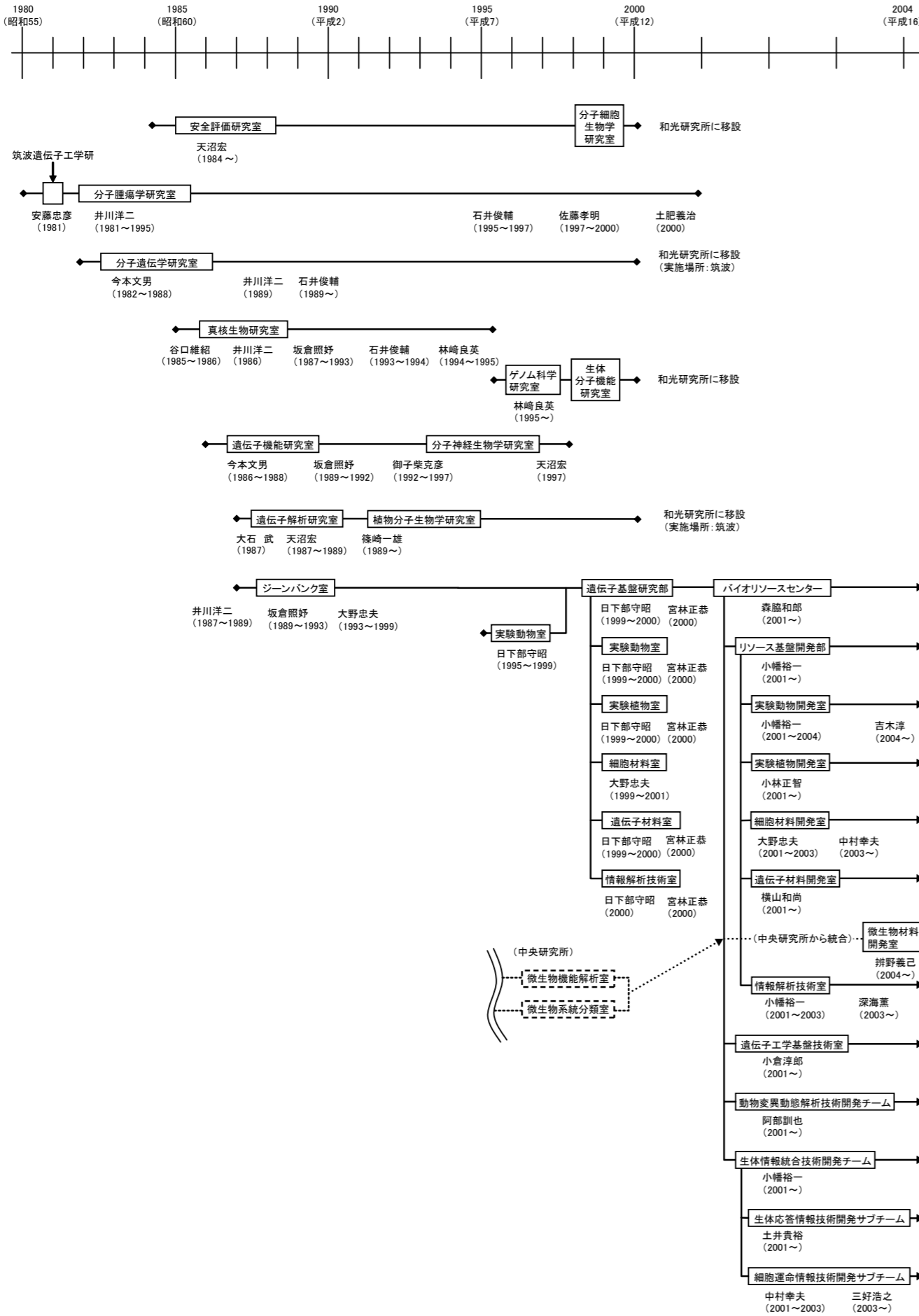


- 免疫シグナル研究グループ (斉藤 隆)
- 分化制御研究グループ (黒崎 知博)
- 免疫ゲノミクス研究グループ (小原 収)
- 免疫器官形成研究グループ (古閑 明彦)
- 免疫制御研究グループ (谷口 克)
- 自己免疫制御研究グループ (金川 修身)
- サイトカイン制御研究グループ (平野 俊夫)
- 免疫多様性研究チーム (王 継揚)
- シグナル・ネットワーク研究チーム (久保 允人)
- 免疫シャペロン研究チーム (鶴殿 平一郎)
- 粘膜免疫研究チーム (シドニア ファガラサン)
- 免疫発生研究チーム (河本 宏)
- 免疫系構築研究チーム (大野 博司)
- 自然免疫研究チーム (田中 正人)
- 生体防御研究チーム (改正 恒康)
- 樹状細胞機能研究チーム (佐藤 克明)
- アレルギー制御研究チーム (阪口 雅弘)
- 感染免疫応答研究チーム (石戸 聡)
- 免疫転写制御研究チーム (谷内 一郎)
- 免疫遺伝研究ユニット (吉田 尚弘)
- 免疫1分子イメージング研究ユニット (徳永 万喜洋)
- 免疫寛容研究ユニット (坂口 志文)
- アレルギー戦略研究ユニット (石井 保之\*)
- 免疫細胞移植戦略研究ユニット (藤井 真一郎\*)
- 自己免疫病戦略研究ユニット (上阪 等\*)
- アレルギー遺伝子研究ユニット (斎藤 博久)
- 免疫監視機構研究ユニット (渡邊 武\*)
- 免疫恒常性研究ユニット (堀 昌平\*)

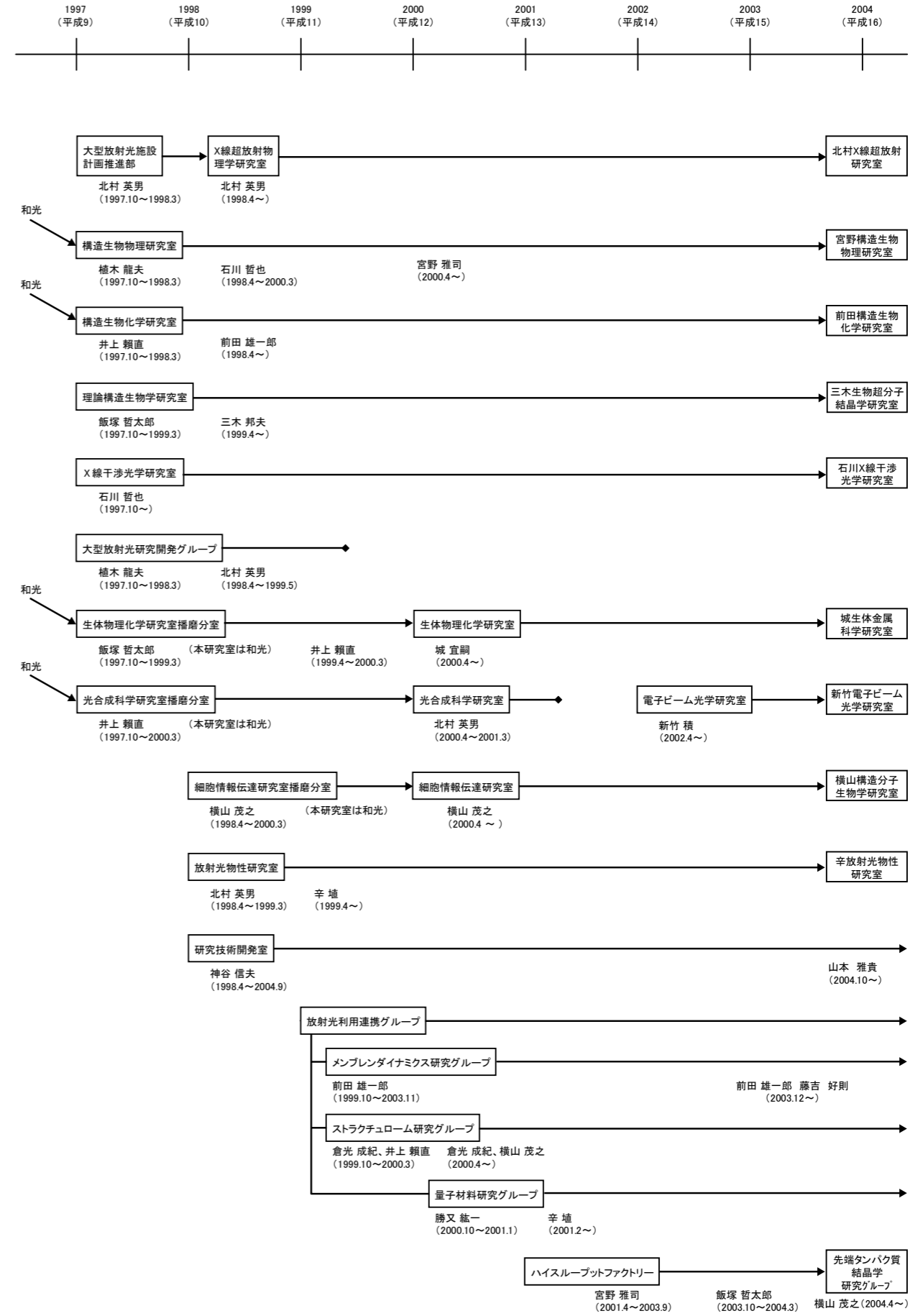
※2004.4から名称変更  
★印は新たに加わった研究者



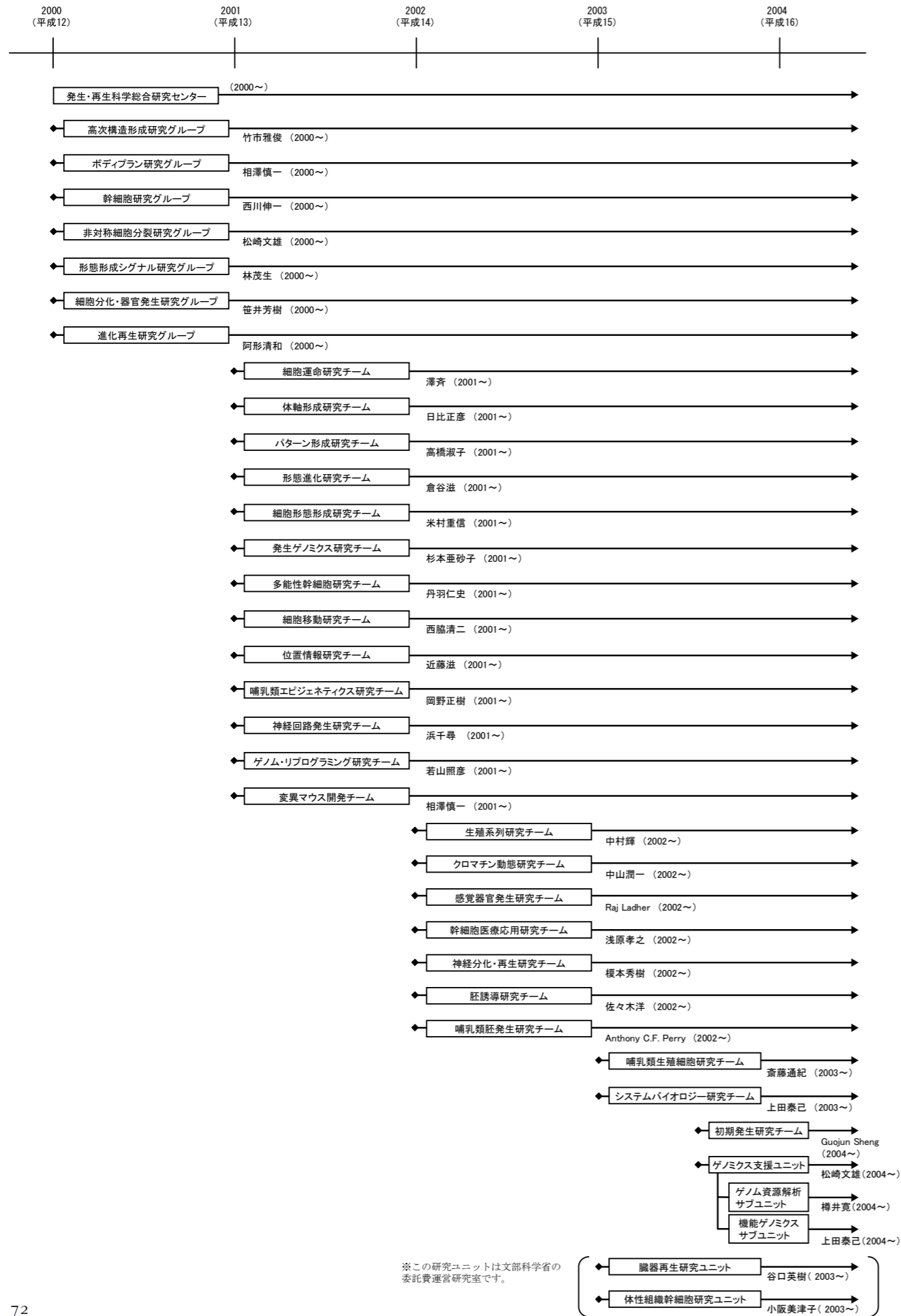
# 【筑波研究所】



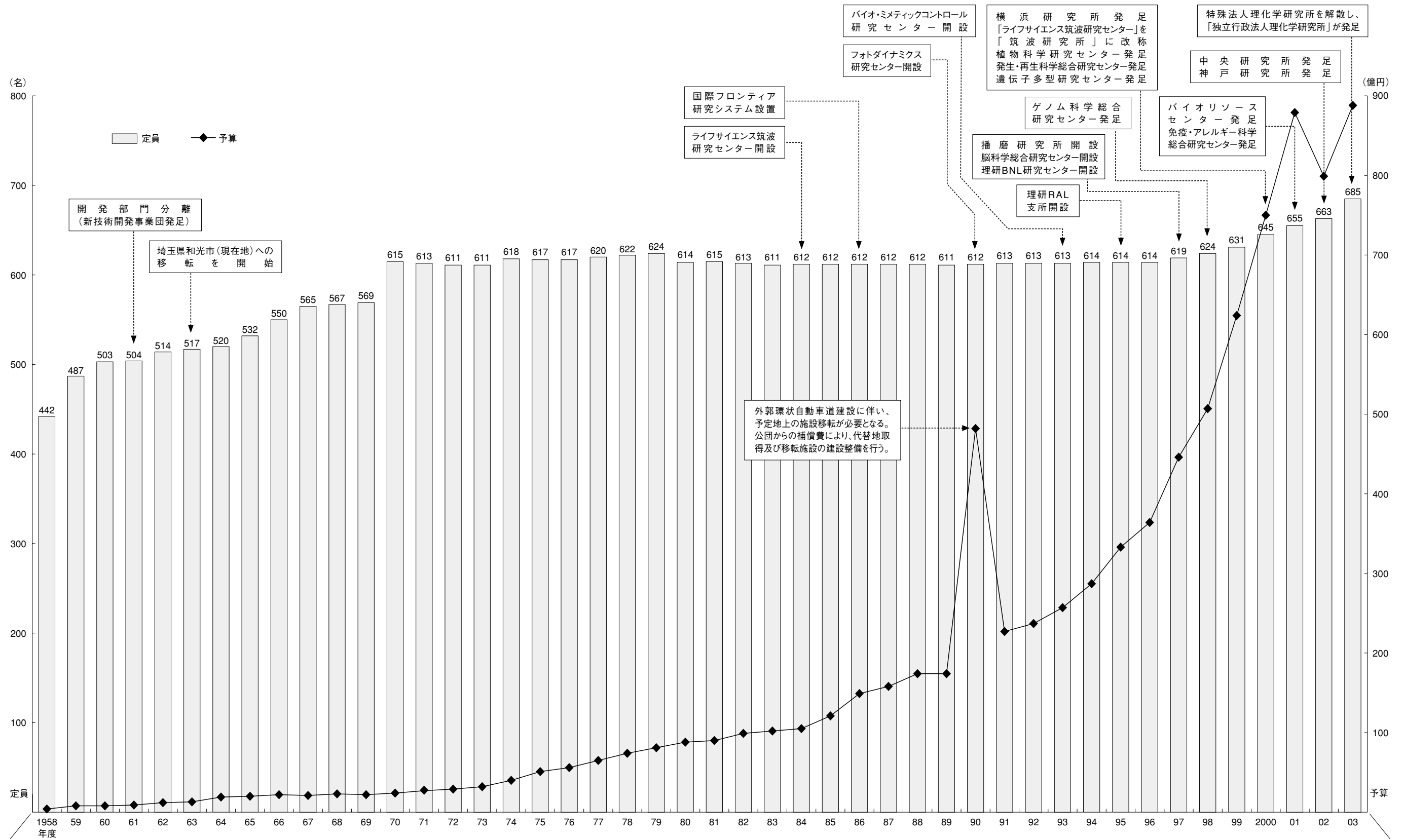
# 【播磨研究所】



# 【神戸研究所】



# 認可予算及び定員の推移



注) 平成15年度については10月1日発足の独立行政法人理化学研究所の予算を含む。